

城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事

図面リスト

01	建築工事特記仕様書 1	21	電気設備工事特記仕様書・電灯分電盤類結線図・照明器具一覧表
02	建築工事特記仕様書 2	22	構内配電線路図
03	仕上表、案内図	23	幹線・照明・コンセント・表示・警報設備図
04	配置図、現況図	24	機械設備工事特記仕様書 1
05	求積図	25	機械設備工事特記仕様書 2
06	求積図、建物位置図	26	機械設備工事特記仕様書 3
07	平面図、屋根伏図、天井伏図	27	機械設備 機器・器具一覧表
08	立面図、断面図	28	配置図・空調設備図
09	矩計図、部分詳細図	29	衛生設備図
10	展開図 1		
11	展開図 2		
12	建具リスト、サイン一覧		
13	構造図 各図		
14	軸組図		
15	壁量検討図、金物検討図		
16	解体建物 各図		
17	外構・造成図		
18	外構各図		
19	複合発酵式循環水処理装置 各図		
20	複合発酵式循環水処理装置 〔循環処理フロー図〕		

保木建築設計事務所

建築工事特記仕様書 1

1. 工 事 名 称
2. 建 築 場 所
3. 地 域
4. 構 造、規 模
5. 別 途 工 事
- 城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事
- 高山市城山町
- 都市計画区域内 ・用途指定無し ・22条区域
・風致地区 ・積雪1.2m
- ・木造平屋建て鉄筋コンクリートベタ基礎
- ・無し

1. 一般共通事項

- ①適用範囲
- ②設計図書順位
- ③質疑及び軽微な変更
4. 別途工事との取合い
- ⑤提出書類
- ※. 工事書類の簡素化について
- ⑥工事現場管理
- ⑦工事公害
- ⑧下請契約及び使用資材について
- 本工事の仕様は現場説明事項〔設計説明書を含む以下現場説明書と言う。〕、添付特記仕様書による以外は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修公共木造建築工事標準仕様書〔令和7年度版〕〔以下「木標仕」〕、公共建築改修工事標準仕様書〔建築・電気・機械〕〔令和7年度版〕〔以下「改標仕」〕、公共建築工事標準仕様書〔建築・電気・機械設備〕〔令和7年度版〕〔以下「標仕」〕、建築物解体工事共通仕様書〔令和4年度版〕〔以下「解共仕」〕による。設計図書に記載なき場合でも、意匠、構造、設備の機能の上から当然必要と認められるものは、監督員の指示により請負金額の範囲内において施工すること。又、図中明記なき箇所及び疑わしき箇所がある場合は監督員と協議の上承認を得た後に施工すること。特記事項は ○ 印の付いたものを適用する。○ 印のない場合は ※ 印の付いたものを適用する。○ 印 ※ 印のある場合は共に適用する。
- 1) 質疑応答(添付されたときに限る)
- 2) 現場説明書
- 3) 特記仕様書
- 4) 設 計 図
- 5) 標準仕様書
- 6) 共通規格及びこれに準ずる規格
- 図面、仕様書の内容に相違のある場合、明記のない場合は、全て監督員と協議し、その指示により行なう。この場合、請負金額は、増減しないことを原則とする。
- 別途発注される工事を受注した業者と、施工時期・施工方法を調整の上、施工すること。
- 1) A、工事着工時及び工事中
- 全体施工計画書、現場代理人届、同経歴書、主任技術者届、同経歴書
- 有資格者名簿、材料発注予定表、下請人名簿、工程表、工事費内訳書、火災保険証書、施工図、工作図、施工計画書、その他監督員の指示による。
- B、工事完成時
- 完成届、完成写真、竣工図〔CADデータ〕、鍵等引渡書、
- その他材料試験結果、品質性能証明書、各保証書等、その他工事関係書類
- 提出部数・提出期限については監督員の指示により速やかに提出すること。
- 2) 工事写真
- 着工時―敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。
- 工事中―進捗状況の撮影記録をすると共に、特に施工後、隠ぺい又は埋設される被写真に中広テープをそえて撮影する。
- 完成時―全景及び屋内外の主要をカラー撮影
- 竣工図はA2版の製本 3部、提出図面は〔意匠図、構造図〕及びCADデータ
- 実施にあつては「工事書類簡素化要領」〔技191号平成22年6月30日改正〕に基づいて実施すること。
- 工事現場の安全衛生管理、工事用電力の保全、火災防止は、関係法令に従い適切な処置をすること。
- 工事搬入撤去による公共道路の清掃、保全、修繕は施工者に於いて行うこと。工事による周辺の汚損は直ちに修繕すること。尚、工事公害の解決は施工者に於いて行うこと。
- 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手側を高山市内に本店〔建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する営業所を含む。〕を有する者の中から選定するよう努めること。
- 本工事において、工事材料に係る納入契約をする場合には、当該契約の相手には、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めると共に、調達する工事材料は高山市内での生産品〔高山市内での生産のない物にあつては、岐阜県産〕を選定するよう努めること。

⑨規格・材料選定

⑩工事着手前協議

⑪実施状況の提出について

⑫電子メールの利用

- ⑬重点監督対象工事
- ⑭諸官庁手続き
- ⑮発生材の処理

再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書

分別収集
再資源化施設
への搬出

⑯ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について

⑰工事実績情報の登録

⑱登録・保険
⑲電気保安技術者

⑳技能士

㉑施工の検査等

㉒契約不適合責任

㉓現地確認、建物配置

㉔ベンチマーク

㉕障害物の処理

㉖週休2日制工事の実施

㉗環境への配慮

㉘追記事項
施工時の注意事項

設計図書に「JIS〔日本工業規格〕などのマーク表示品と指定された材料及び機器は、それぞれのマーク表示のあるもの又は規格証明書の添付されたものとする。

設計図書に記載のある品番等は全て参考品番であり、本工事に使用する材料の採用に際しては、これらと同等のものとす。同等品の採用に際しては監督員の承諾を受けること。

本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。

協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側から事前に監督員と連絡を取り決定しておくこと。

協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。

協議時、施工打ち合わせ記録簿」の回答〔その他〕欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人〔主任技術者〕が受け取ること。

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価出来る項目として、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。

「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取り扱いによるものとする。工事に必要な申請、届出等の諸手続き及びその費用は請負者に行うこと。

引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡し。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項、及び関係法令等に従い適正に処理する。

処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」〔岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例〕〔岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則〕の規定を遵守し適正に処理する。混合物の処理については管理型最終処分場に持込むものとする。

建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着事前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書を提出すること。〔コプリス・プラス〕

・しない ○ する

工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次の物は再資源化施設へ搬出する。

・コンクリート塊 ・アスファルト塊 ・建設発生木材 ・建設汚泥 ・石膏ボード

また、鉄骨、建具、ダクト、配管、機器等の金属類については積極的に再資源化を図ること。

・ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。

・ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

請負業者は、工事請負金額500万円以上の工事については工事実績情報の実績情報〔CORINS〕に契約後10日以内に登録すること。

下請業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。

建設工事保険の加入を行う。〔完成期限後15日まで〕

○ 適用する ・適用しない

技能士の適用は、次の職種による。

○ 建築大工 ○ 左官 ○ 建築板金

本工事は指定する職種別に1名以上の一級又は二級技能士が作業をするともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うよう努めること。

○ 行う ・行わない

本工事請負者は契約約款に基づき工事竣工引渡し後、満2年間の保証を有する。また保証期間中に発生した施工上の欠陥に対しては、工事請負者の負担で保証を行う。

・現地に於て敷地状況、既存建築物等の状況を確認する。

・建築物等の配置は、縄張りにて監督員立会いのうえ決定する。

・設計GLの決定は監督員立会いのうえ決定する。

・支障物の処理にあつては、監督員・関係者の承認を受ける。

・設計図書に記載がなく、工地上に必要な仮設、撤去、移設、養生等が発生した場合は、監督員の指示のもとに速やかに対処すること。

・本工事は、完全週休2日を原則とした週休2日制工事〔現場開所〕とする。詳細は「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」に従うこと。

使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。

上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。

・本工事は、城山公園内での工事のため、公園利用者の安全を最優先として工事を行うこと。

・工事工程表の作成には、公園管理者の予定と関係者との協議をもとに作製する。

・埋蔵文化財包蔵地内の為、工事を行う際は監督員、関係者と協議すること。

・本工事における伝統的土工技術(大工、建具、左官、造園等)については、地域における伝統的土工技術等を継承する為、市内事業者による施工に努めること。

2. 仮 設 工 事

1. 監督員事務所
- ② 工事用電力・用水
- ③ 仮囲い・工事区画
4. 危 険 防 止
- ⑤ 足 場
- ⑥ 工事用進入路
- ・ m²程度 ○ 設けない
- 種 別 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号
- 備 品 ()
- 工事用電力 ○ 利用出来る (○ 有償 ・無償) ・ 利用出来ない
- 工事用用水 ○ 利用出来る (○ 有償 ・無償) ・ 利用出来ない
- ※事前に施設管理者に了解を得ること。
- ・ 波形鉄板 H=1.80m ・ 成形鋼板 H=3.0m ・ シートゲート
- ・ ガードフェンス H= m ○ バリケード
- ・ シート張り
- ※ 内、外部足場〔手すり先行足場〕
- ・ 工事用進入路は通常、公園利用者の遊歩道となっており車両の通行は原則禁止となっています。工事車両として金竜ヶ丘まで通行する車両には通行許可証を発行すること。
- (ダッシュボード上など外から一目で読める位置に提示)
- 歩行者を優先として、低速で安全運転を心がけること。

3. 土 工 事

- ① 埋戻し及び盛土
- ② 残 土 処 分
- ③ 建物周囲の整地
- 種 別 ・ A種 ○ B種
- ・ 切込砂利又は切込碎石
- 構内処分 (○ 敷均し ・ たい積 ・)
- 場外処分 処分場：大山土木 (高山市前原町)
- ※ 砕取り土を敷均し

4. 地 業 工 事

1. 既製コンクリート
2. くい頭補強
3. くいの手
4. 場所打ちコンクリート
5. 捨コンクリート地業
- ⑥ 割石、玉石及び砂利地業
- 種 別 ・ R C くい ・ 1 種 ・ 2 種
- ・ P C くい ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
- ・ 高強度 P C くい ()
- ・ 鋼管くい ()
- コンクリート 躯体と同強度 ・ 2 4 0 ・
- 鉄 筋 ・ S D 2 9 5 A ・ S D 3 4 5 ・
- ・ アーク溶接 ・
- 強 度 ・ 1 8 0 ・ 1 5 0 ・
- スランプ ・ 1 5 ・ 1 4 ・ (kg・m³)
- 種 別 ※ B 種
- 厚 さ ※ 50 ・
- 種 別 ※ 砕石 ○ 再生クラッシュラン (基礎下、土間下共)

	幅	厚 さ
基礎・防湿ｺﾝｸﾘｰﾄ	ﾌｰﾅｰｼﾞﾝｸﾞ各外部より+100	・ 5 0 ○ 1 5 0
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		・ 5 0 ○ 1 2 0

- ⑦ 防湿シート
- ⑧ 土間断熱
9. 地盤改良
- 深層混合処理工法 (柱状改良)
- 本工事は日本建築センター「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」による。設計基準強度600KN/m² 添加量400 k g / m³ 室内配合試験により決定する。一軸圧縮試験、六価クロム溶出試験を実施する。
- ・ 立合検査 杭止め、柱状改良深度の立合
- ポリエチレンシート ○ 厚0.15
- スタイロフォーム3種(b) ○ 厚50
- ・ 改良材 ・ ラップルコンクリート ・ 砕石
- ・ その他 (柱状地盤改良工事)

5. 鉄 筋 工 事

- ① 異 形 鉄 筋
2. 丸 鋼
3. 溶 接 金 網
- ④ 鉄筋の継手
- ⑤ 立合検査及び報告
- 種 別 (JISG3112) 2種
- 種 別 ・ S D 2 3 5 ○ S D 2 9 5 A ・ S D 3 4 5 ・ S D 3 9 0
- 種 別 ・ A 類 ・ B 類
- 種 別 ・ S D 2 3 5 ・ S R 2 9 5 ・
- ※ J I S規格品 (D6～200×200)
- 使用箇所 (防湿ｺﾝｸﾘｰﾄ・舗装)
- | 接合方法 | 径 | 施工箇所 |
|--------|------------|----------|
| ※ 重ね継手 | ・ D 1 6 以下 | 基礎・土間・躯体 |
| ・ ガス圧接 | ・ D 1 9 以上 | |
- 「立合」配筋検査 ・ ・ ・ 組立て鉄筋の径・本数・継手
- 「立合」金物検査 ・ ・ ・ アンカーボルトの径・長さ・本数

6. コンクリート工事

- ① コンクリート
- ② 設計強度基準
- ③ レディミクスト
- ④ セメント
- ⑤ 混和材料
6. 軽量コンクリート
7. 無筋コンクリート
8. 打放し仕上げ
- ⑨ 型 枠
- | 種 別 | 使用箇所 |
|-------|----------|
| ※ 普 通 | 基礎・土間・躯体 |
| ・ 簡 易 | |
| ・ 暑 中 | |
| ・ 寒 中 | |
- (F o) N・m² ・ 1 8 ○ 2 1 ○ 2 4 (1 8 N+3 N) (2 1 N+3 N)
- 種 別 ※ 1 類 (○ 標準品 ・ 特注品)
- ・ 2 類
- 種 別 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメント A 種
- 混和材 ※ A E 剤及び A E 減水剤及び高性能 A E 減水材とする
- ・ その他
- 種 別 ・ 1 種 ・ 2 種
- 調 合 ・ A 種 ・ B 種
- 種 別 ・ A 種 ・ B 種
- 種 別 (合板せき板) ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板
- 厚 さ ○ 1 2 ・ (mm)
- 工 法 ○ ボルト式 ・ 番線式

7. 防 水 工 事

1. アスファルト防水
2. 合成高分子ルーフィング防水
3. FRP 防 水
- ④ シーリング防水
- | 種 別 | 施工箇所 |
|--------------|---------------------|
| | |
| アスファルト | 種 類 ・ 3 種 ・ 4 種 |
| アスファルトルーフィング | ・ 3 5 kg品 ・ 4 5 kg品 |
- | 種 別 | 施工箇所 |
|------|------------------------------|
| | |
| 種 別 | コロテクト CT-50R ・ ・ ・ GN-1仕様同等品 |
| 施工箇所 | バルコニー床 |
- | 種 別 | 施工箇所 |
|------|--------------------|
| | |
| 種 別 | ・ ポリウレタン ○ 変成シリコーン |
| 施工箇所 | 外壁・サッシ廻り |

8. タイル・石工事

- ① 陶磁器質タイル
2. タイル型枠
- 役 物
- 伸縮目地
- 保水剤
- 検 査
3. 石材
- | 形 状 | 寸 法 | モザイクタイル、内装タイル |
|---------|---------|---------------|
| 磁器質床タイル | 300x300 | (規格品) |
| 内装壁タイル | | (規格品) |
- ※目地材：防カビ目地材とする
- | 内 壁 | 使用箇所 |
|----------------|------|
| ・ 使用する ・ 使用しない | |
| 外 壁 | 使用箇所 |
| ・ 使用する ・ 使用しない | |
- 位 置 外壁 ・縦横直線に設ける ・
- ・ メチルセルローズの類 ・
- ・ 行なう ・ 行なわない
- | 名 称 | 寸 法 | 仕 様 ・ 施工箇所 |
|------|---------|------------|
| 汚垂れ石 | 600x900 | 御影石(本磨き) |
| | | |

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	建築工事特記仕様書 1		
縮 尺	－	番号	29枚の内 1号
設計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

9. 木 工 事

① 木 材	※木材の継手・仕口等は手ざぎみ加工とする(機械プレカット加工材は使用しない) ※小屋組は折置組とする。
	含水率 ※ A種 ・ B種
	等 級 ※ 特1等
	樹 種 檜・杉
造作材	等 級 ※ A種 ・ B種
	樹 種 杉
	等 級 ※ 特1等
下地材	樹 種 杉
	市内で合法的に伐採された木材、可能な限り市産材とする。 ・ 構造用集成材 ・ 大断面集成材 ・ 板状集成材
2. 集 成 材	防 腐 防 蟻 : 防腐、防蟻塗装 キシラモン同等品
③ 防腐、防蟻処理	: 木材保護塗装 キシラデコール・ サドリン同等品 処理範囲 : GL+1,000 構造、下地、仕上げ材
④ 断 面 寸 法	設計図書中の記入ある木材寸法は全て造作材は仕上り寸法とし、構造材・ 下地材は挽立て寸法とする。
⑤ 立合検査及び報告	「立合」製材完了時の検査・・・樹種、等級、材質の確認 「立合」木材現場搬入時の検査・・・含水率及び木材寸法の確認 「立合」建方完了後の検査・・・筋かい、火打ち梁、土台、金物等の確認 「立合」防蟻塗装完了時の検査・・・処理範囲の確認
⑥ 検査及び報告	① 含水率検査 ② 構造金物の全数検査 ③ 防蟻塗装完了時の検査

10. 屋根及びとい工事

① ガルバリウム鋼板	屋根ふき形式 ・ 長尺横葺 ① 瓦棒葺 厚さ ※ 0.4mm (遮熱性能品)
2. 折 版 ぶ き	種 類 ・ 重ね型 ・ はぜ締め型 厚さ 0.8
3. スレート波板ぶき	種 類
④ と い	材 種 カラーGL鋼板 堅 樋 : 角型150、受金物・専用亜鉛メッキ市販品 軒樋 : φ75、掴金物・専用亜鉛メッキ市販品 板止め : 耐摩カラーGL鋼板
⑤ 保 証	10年以上保証 (保証内容は保証書に明記する)

11. 左 官 工 事

1. ALCパネル用 特殊プaster	種 別 ・ A種 ・ B種 塗り厚 ・ 3 ・ 5～7 (mm)
2. 仕 上 塗 材	種 別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 仕上げ 工 法
③ モルタル塗	普通モルタル : セメントはJIS規格品による普通ポルトランドセメント
④ しっくい塗	使用材料 : ・ 現場調合材料 ① 既調合材料 調合及び塗厚 : 標仕15.10.3 既調合材料使用の場合はメーカー仕様による

12. 建 具 工 事

① アルミニウム製建具	種 別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ① E種 気密性種類 ① A-3 ・ A-4 水密性種類 ① W-3 ・ W-4 ・ W-5 枠の見込寸法 ※ 70, 80又は100 (mm)
② 網 戸	適 用 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製
3. 鋼 製 建 具	鋼板厚さ ・ (mm)
4. 鋼製軽量建具	材 質 ・ 鋼板製 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム合金
5. ステンレス製建具	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
6. 自 動 扉	開閉方法 種別
⑦ 木 製 建 具	種 別 ① A種 ・ B種 ・ C種 15%以下 樹 種 表面材は見本提出により決定とする。 合 板 表面材及び下地材の合板のホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆ 以上とし、接着剤等についても十分注意し資材の選定行うこと。

⑧ 建 具 金 物 種 類	マスターキー ① 有 (3組) ・ 無 玄関 モノロック レバーハンドル ヒンジクローザー 本締り付き ドアクローザー 表示付き空錠 シリンダー箱錠 ピボットヒンジ 丁番
⑨ ガ ラ ス	1) フロート板ガラス ・ A級品 ・ B級品 ② 型板ガラス 3) 網入板ガラス 4) 合せガラス 5) 強化ガラス 6) 熱線吸収板ガラス ⑦ 複層ガラス ガラス留め材 ※ シーリング ・
10. 重量シャッター	種 類 ・ 防火シャッター ・ 防煙シャッター ・ 開閉方式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
① ① 軽量シャッター	開閉方式 ① 手動式 バランスシャッター
12. オーバーヘッドドア	セクション材料による種類 ・ スチール ・ アルミニウム ・ ファイバークラス 開閉機能による種類 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

13. 塗 装 工 事

① 素地ごしらえ	木 部 ① 木部の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し 油類は溶剤等で拭き取る。 ② ヤニは削り取り又は電気ゴテ焼きのうえ、溶剤等で拭き取る。 ③ カンナ目、逆目、けば等は研磨紙P120～220を使用し研磨する。 せっこうボード及び その他ボード面 ① 釘頭、タタキ跡、傷等はパテ処理のうえ、研磨紙P120～220を 使用し研磨する。 ② 石膏ボードの目地処理材はジョイントコンパウンドとし不陸 を調整する。
2. さび止め塗料	鉄 面 ・ A種 (屋外) ・ B種 (屋内) 亜鉛メッキ面
3. 合成樹脂調合ペイント (SOP)	屋 外 ・ 1種 ・ 2種 屋 内 ・ 1種 ・ 2種 木 部 鉄 面 ・ A種 ・ B種 亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種
4. クリヤラッカー (CL)	木 部 ・ A種 ※ B種
5. フタル酸樹脂エナメル (FE)	木 部 ・ A種 ・ B種 鉄 面 ・ A種 ・ B種 亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種
6. 塩化ビニル樹脂 エナメル	コンクリート モルタル面等 ・ A種 ・ B種
7. アクリル樹脂エナメル (AEP)	コンクリート ボード面等 ・ A種 ・ B種
⑧ つや有合成樹脂 エマルジョンペイント (EPG)	コンクリート ボード面等 ・ A種 ① B種
9. 合成樹脂 エマルジョンペイント (EP)	コンクリート ボード面等 ・ A種 ※ B種
① ① ウレタン樹脂ワニス (UC)	木 部 ・ A種 ① B種
11. 油性ステイン (OS)	木 部
① ② 木材保護塗料 (WP)	木 部 ・ A種 ※ B種 (キシラデコール同等品)

14. 内 外 装 工 事

材 種	色 柄	厚 さ (mm)	使用箇所
1. ビニール床シート	・ 無地 ・ 柄有	・ 2.5 ・ 3.0 ・	
2. ビニール床タイル	・ 無地 ・ 柄有	・ 2.0 ・ 3.0 ・	
3. ゴム系タイル	・ 無地 ・ 柄有	・ 3.0 ・ 5.0 ・	
4. 合成樹脂塗り床	弾性ウレタン ・ 平滑仕上げ エポキシ樹脂 ・		
⑤ 石膏ボードその他 ボード及び合板張り	石 膏 製 品 不 燃 製 品 化粧板製品	Vカット石膏ボード t=12.5・9.5・・・一流メーカー品 ロックウール吸音板 t=9・・・一流メーカー品 化粧化粧板 t=3～6・・・一流メーカー品	
6. フローリング張り	工 法 ※ 乾式工法 (・ 釘どめ工法 ・ 接着工法) ・ 湿式工法 樹 種 ※ なら F☆☆☆☆ 厚 さ ※ 12 塗装品		
7. 壁 紙 張 り	品 質 ※ ビニールクロス A A級 F☆☆☆☆		
8. 畳 敷 き	種 別 ・ A種 ・ B種 ・ C種		
9. カーペット敷き	織じゅうたん ・ A種 ・ B種 ・ C種 タフテッドカーペット ニードルパンチカーペット タイルカーペット ・ A種 ・ B種		

材 種	厚 さ (mm)	使用箇所
グラスウール14K	・ 50 ① 105	内壁廻り
グラスフェルト1種	・ 25 ・ 30 ・ 75	
スタイロフォーム3種(B)	① 50 ① 65	外壁廻り・屋根断熱面

11. 外装サイディング	金属サイディング (断熱) 表面材 : ガルバ鋼板 厚15
--------------	-------------------------------

① ② 合 板	標仕19.7.2による 外部 : 特類t=12 内部 : 特類t=9
---------	---------------------------------------

15. 雑 工 事

1. コーナービート	・ ステンレス製 ・
2. 階段滑り止め	・ ステンレス製 (ゴムクッション付) ・
3. 鏡	
4. 室 名 札	
⑤ ピクトサイン 案内板 (触知板)	① 集成板材 t=25 サイン : カラー、カッティングシート ① 集成板材t=25+アクリル板張り t=3.0 点字加工、画面 : インクジェットプリント+UV点字
6. 防護柵	・ 支柱 : φ60.5x3.2 (STK400・STK500)
7. 手すり	・ 支柱 : φ60.5x3.2 (SUS)
8. 鋳鋼板	・ SS400、t=4.5、錆止め+DP塗装
9. グレーチング	・ SS400溶融亜鉛メッキ、細目ブレンタイプ歩行用U-120

16. 外 構・舗装工事

① 路盤材料	※ 再生クラッシャラン R C-40
2. アスファルト舗装	表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) 基 層 ※ 再生粗粒度アスファルト混合物 (20) ・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)
3. 自然石積み	・ 材質、形状については、監督員と協議して承認を得ること。
④ ブロック系舗装	・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 ・ 縦石平板ブロック舗装 (参考品番 : N Tアイ-日本興業) 300x600x60 ① 視覚障害者誘導用ブロック 300x600x60 ・ 砂目地 ① モルタル目地

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	建築工事特記仕様書 2		
縮 尺	－	番号	29枚の内 2号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

建物概要	
建物名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事
用途	公衆便所
工事種別	改築工事
構造	木造平屋建
延べ床面積	22.35 m ²
建築面積	22.35 m ²
別途工事	無し

外部仕上

名称		仕 上	名称	仕 上
屋根		耐摩カラーGL鉄板瓦棒葺t=0.4（通熱塗装品、塗膜保証10年以上）、Aルーフィング940.	開口部	木製ハンガー引戸、アルミサッシカラー（木適用）
		断熱材スタイロフォーム（3種）t=65. 破風カラー鉄板、板止めカラー鉄板巻き	軒裏	化粧野地板WP
			破風	木 WP
外壁	東面	壁：構造用合板厚12ラスモルタル下地漆喰塗り、透湿防水シートt=0.2、断熱材スタイロフォームt=65 腰壁：透湿防水シートt=0.2、下見板張りt=120P、断熱材スタイロフォームt=65	軒樋	GLカラー鉄板角型150、集水器
	西面	壁：構造用合板厚12ラスモルタル下地漆喰塗り、透湿防水シートt=0.2、断熱材スタイロフォームt=65 腰壁：透湿防水シートt=0.2、下見板張りt=120P、断熱材スタイロフォームt=65	縦樋	GLカラー鉄板φ75
	南面	壁：構造用合板厚12ラスモルタル下地漆喰塗り、透湿防水シートt=0.2、断熱材スタイロフォームt=65 腰壁：透湿防水シートt=0.2、下見板張りt=120P、断熱材スタイロフォームt=65	巾木	基礎巾木保護塗装（ポリマーセメント系弾性塗材）
	北面	壁：構造用合板厚12ラスモルタル下地漆喰塗り、透湿防水シートt=0.2、断熱材スタイロフォームt=65 腰壁：透湿防水シートt=0.2、下見板張りt=120P、断熱材スタイロフォームt=65	ポーチ	コンクリート金ゴテ

- ・内装仕上材・接着剤は全てF☆☆☆☆品を使用する。
- ・クロルピリホス含有建材は使用しない。

- ・アスベスト含有建材（全工事に適用）の使用禁止。

防火材料		
石膏ボード	厚12.5	NM-8619
石膏ボード	厚9.5	QM-9828
耐水石膏ボード	厚9.5	QM-0898
化粧ケイ酸カルシウム板		NM-4227

※スタイロフォーム性能
土間下・天井・壁：3種b

内部仕上

[illegible]

保管内記号 (仕上)			
IRV	高度耐水ラワン合板	IP	木材保護塗装
A B	無石棉セメント珪酸カルシウム板	OSV	オイルステインニス
化粧A8	化粧珪酸カルシウム板	SOP	合成樹脂調合ベイト塗り
G B-R	石膏ボード	EP	合成樹脂化粧珪酸カルシウムベイト塗り
G B-D	化粧石膏ボード	EP-G	つや有り合成樹脂化粧珪酸カルシウムベイト塗り
G B-S	シーリング石膏ボード		
G B-F	強化石膏ボード		
G B-H	硬質石膏ボード		

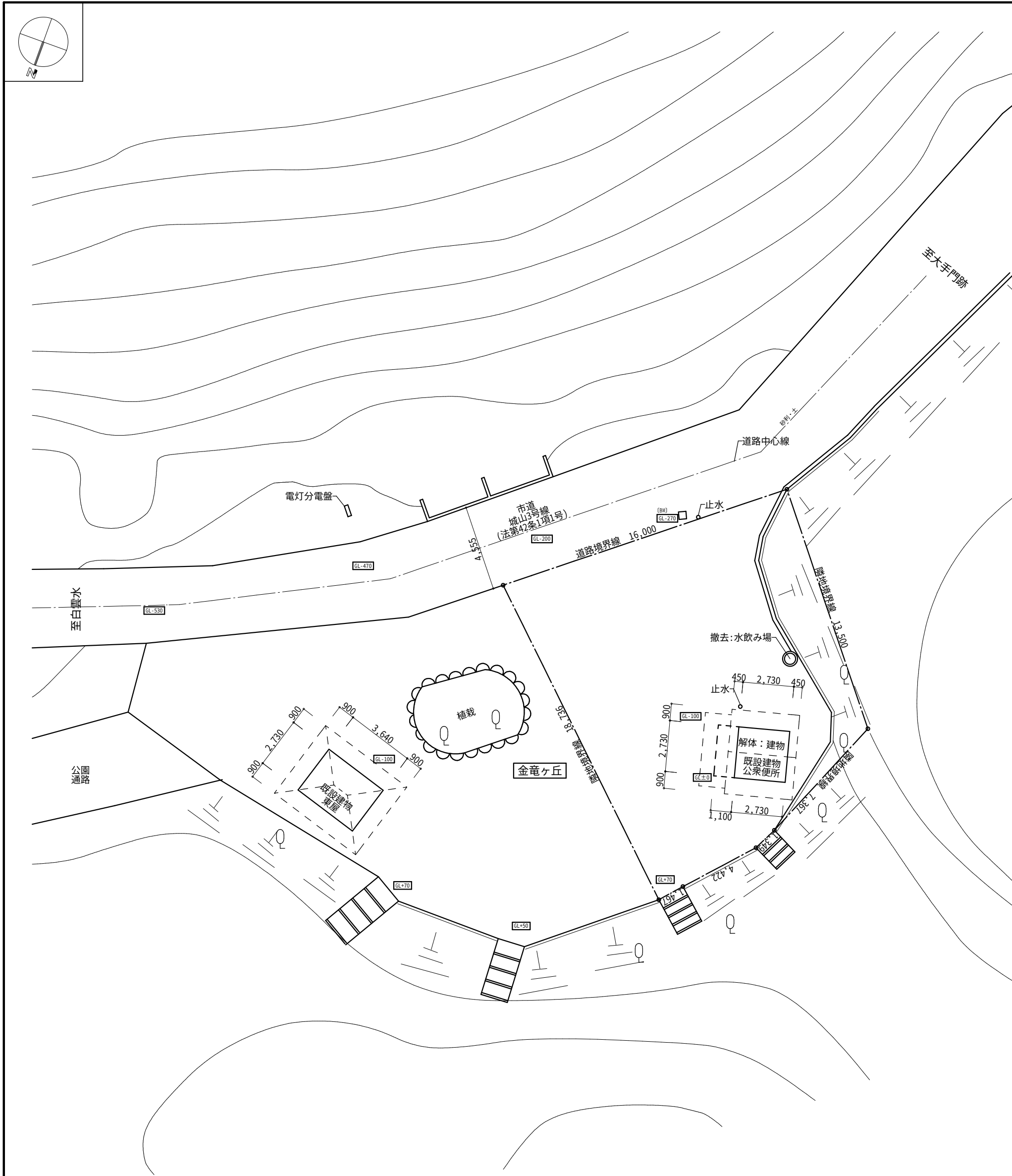
(備 考)

案内図

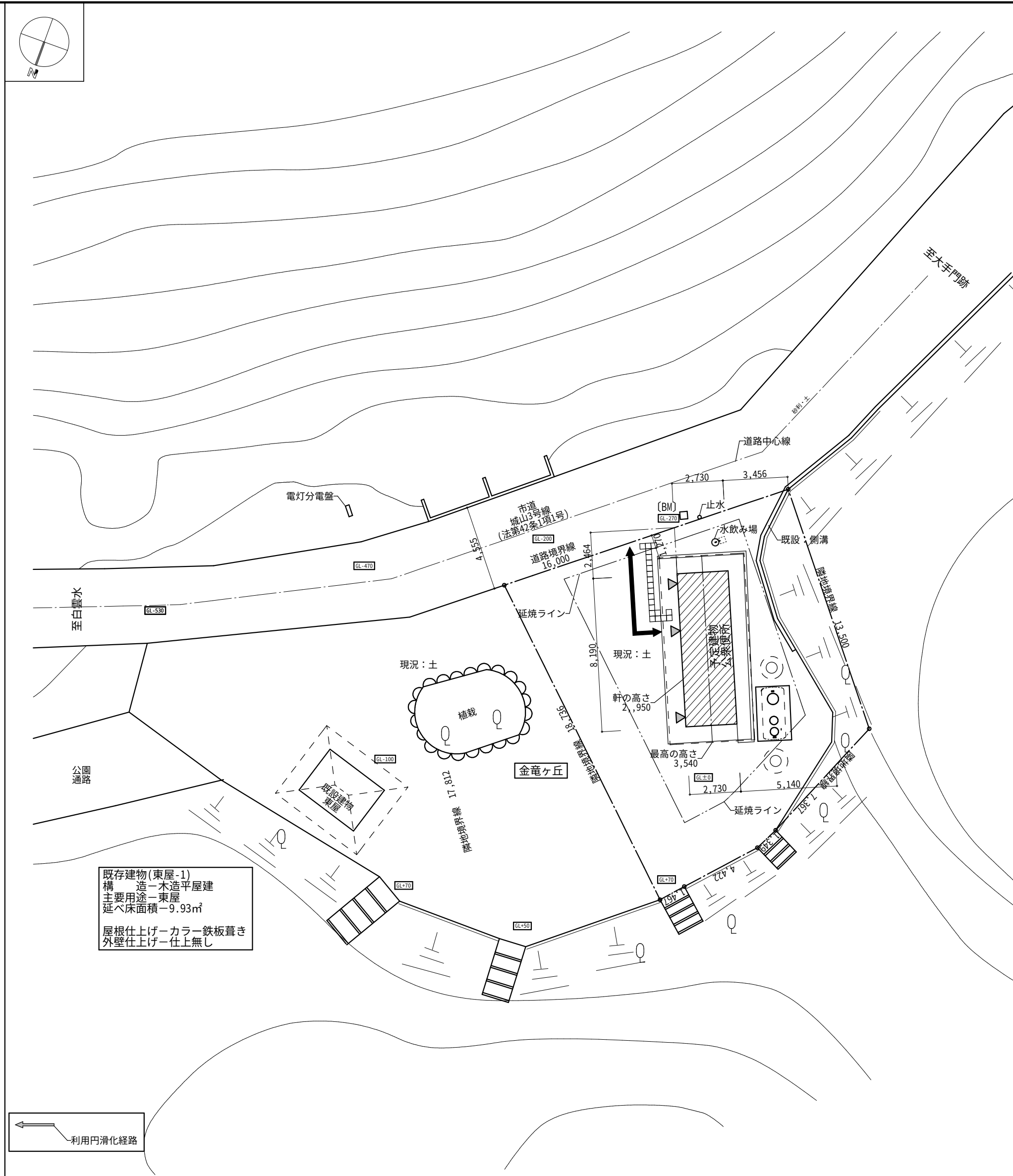


原設計図
【A 2】
A 2→A 3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	仕上表、案内図		
縮 尺	－	番号	29枚の内 3号
設 年 月 日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



現況図 1/200

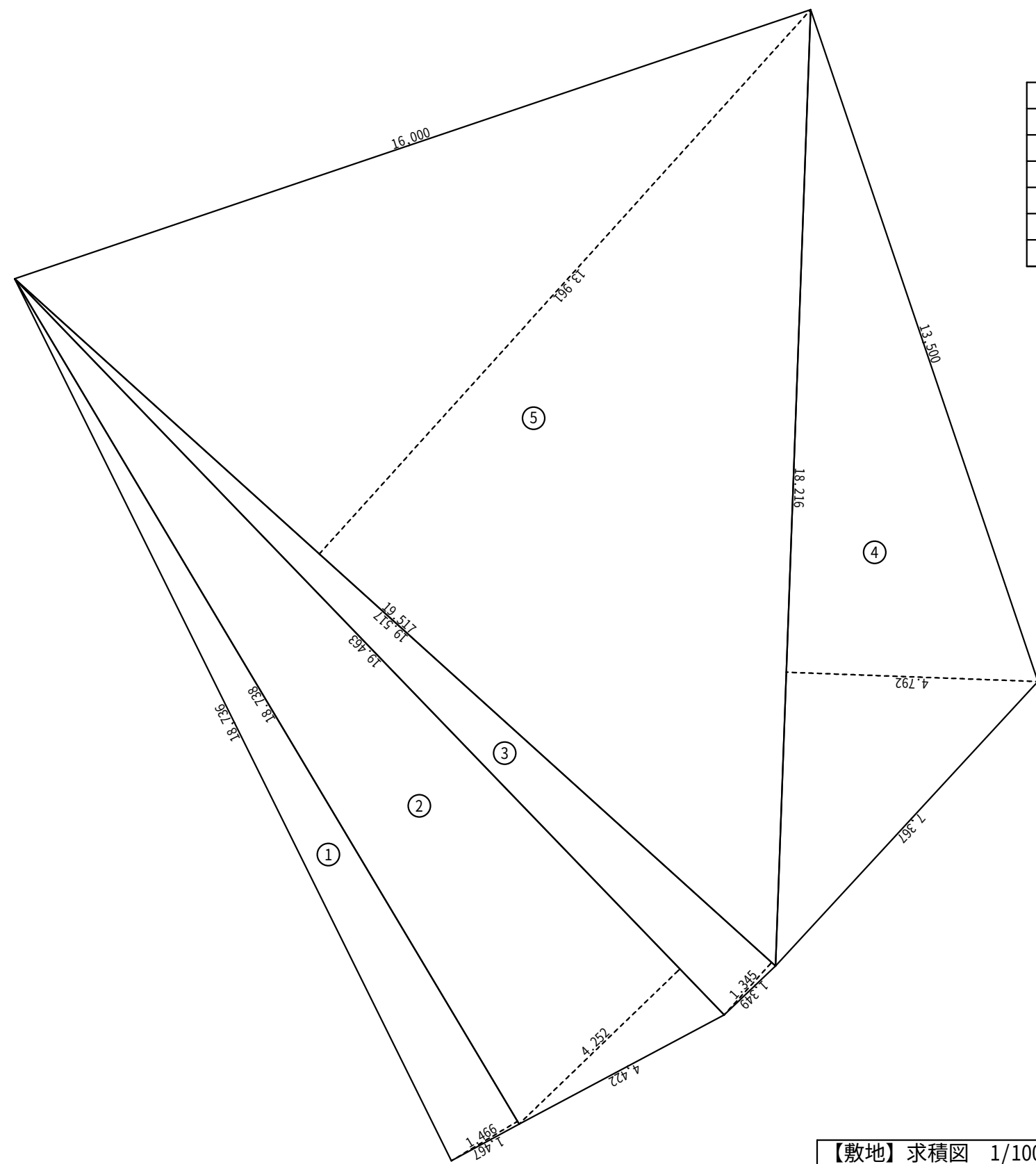


配置図 1/200

既存建物(東屋-1)
構 造 木造平屋建
主要用途 東屋
延べ床面積 9.93㎡
屋根仕上げ カラー鉄板葺き
外壁仕上げ 仕上無し

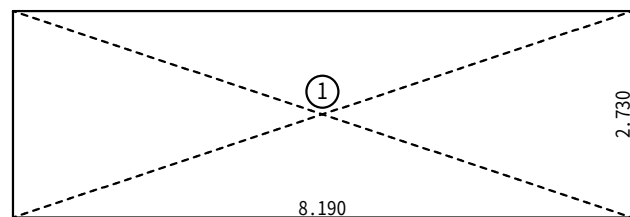
工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	配置図、現況図		
縮 尺	1/200	番号	29枚の内 4号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)



記号	計算式(m)	面積 (㎡)
1	$18.738 \times 1.466 \div 2$	13.7349
2	$19.463 \times 4.252 \div 2$	41.3783
3	$19.517 \times 1.345 \div 2$	13.1251
4	$18.216 \times 4.792 \div 2$	43.6455
5	$19.517 \times 13.961 \div 2$	136.2384
合計面積		248.122

【敷地】求積図 1/100



記号	計算式(m)	面積 (㎡)
1	2.730×8.190	22.3587
合計面積		22.358

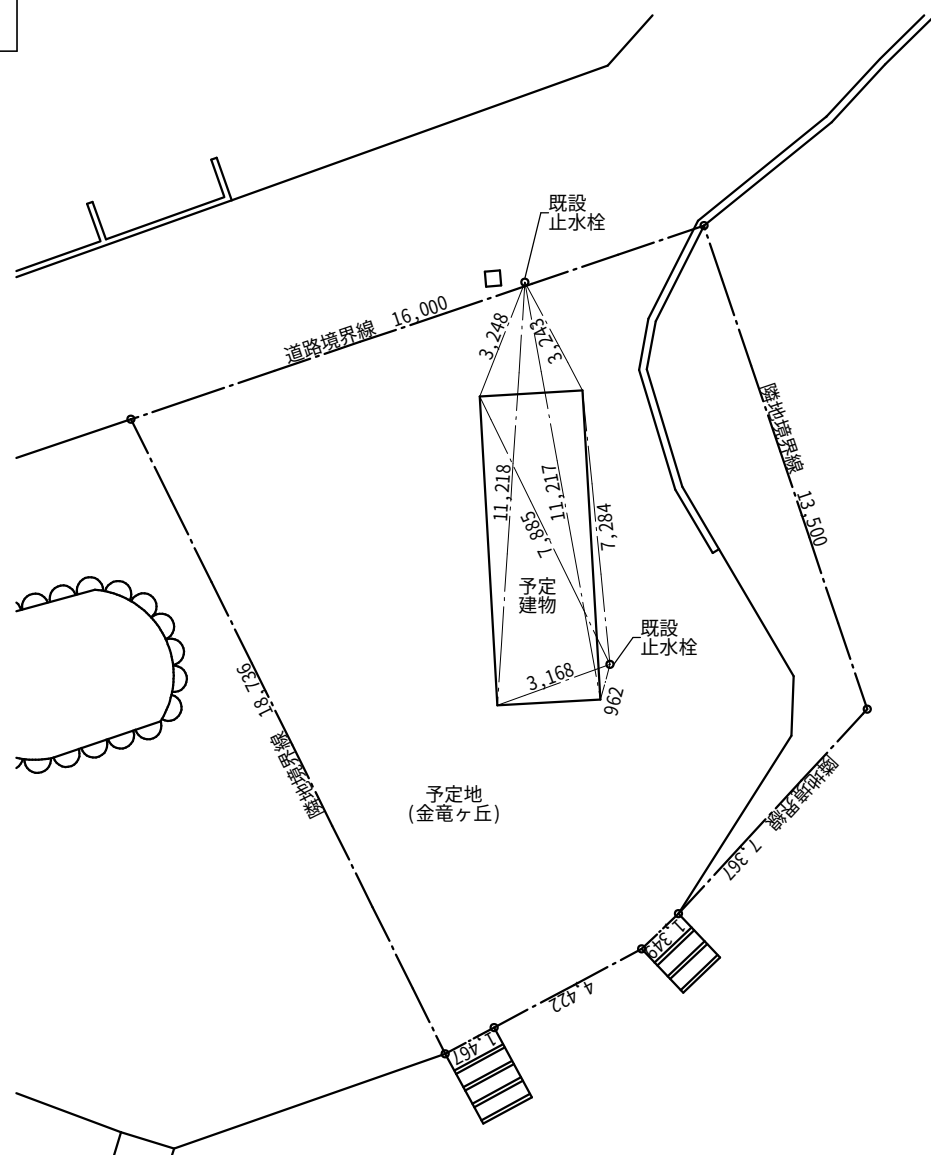
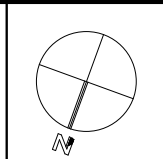
【申請建物(公衆便所)】求積図 1/100

面 積 表

建 物	申請建物(公衆便所)		計
1階床面積 (㎡)	22.35 ㎡		22.35 ㎡
床面積合計 (㎡)	22.35 ㎡		22.35 ㎡
建築面積 (㎡)	22.35 ㎡		22.35 ㎡
延べ床面積算定	22.35 ㎡		22.35 ㎡
敷地面積 (㎡)	248.122 ㎡		

9.01 %
9.01 %

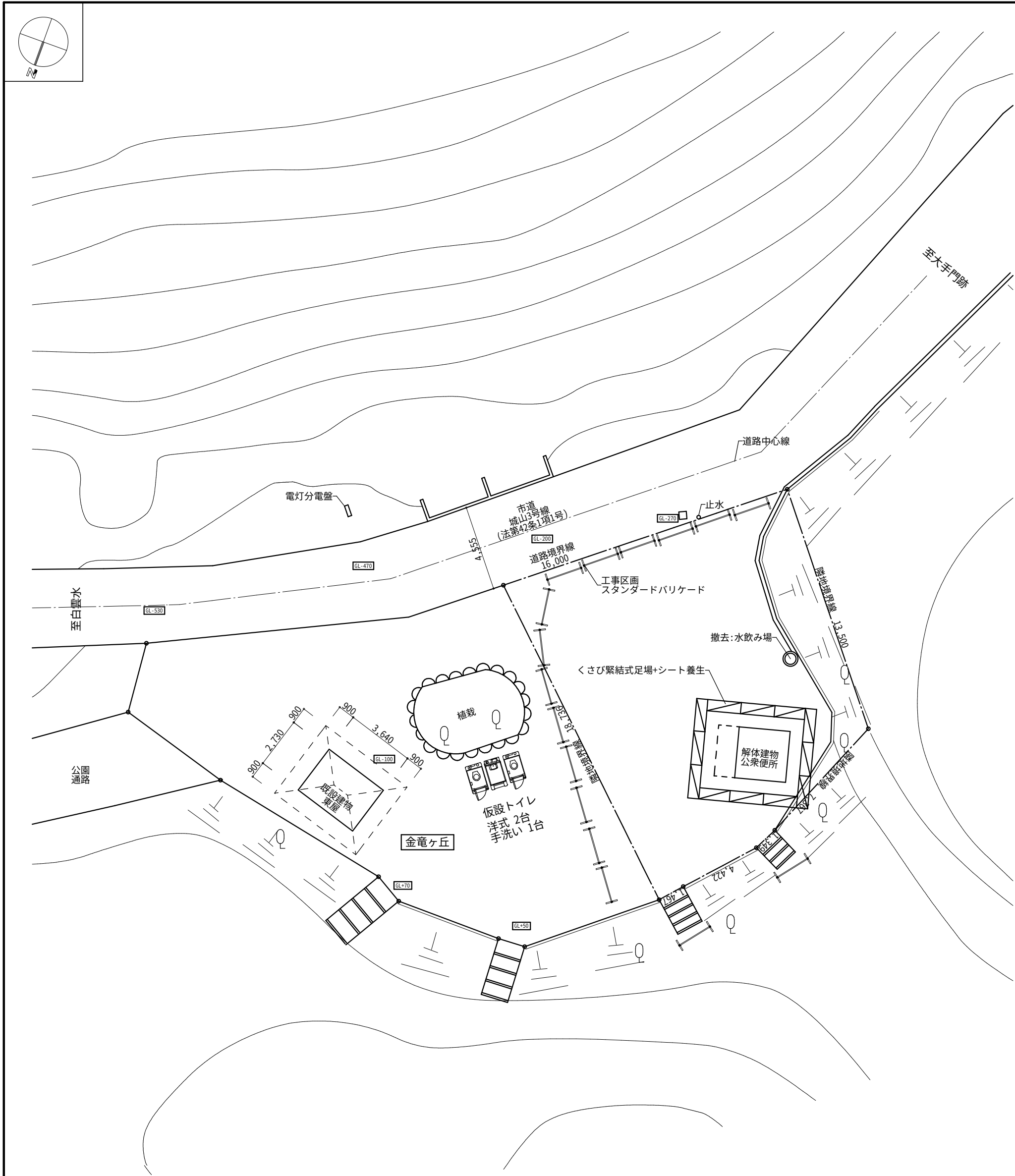
248.122



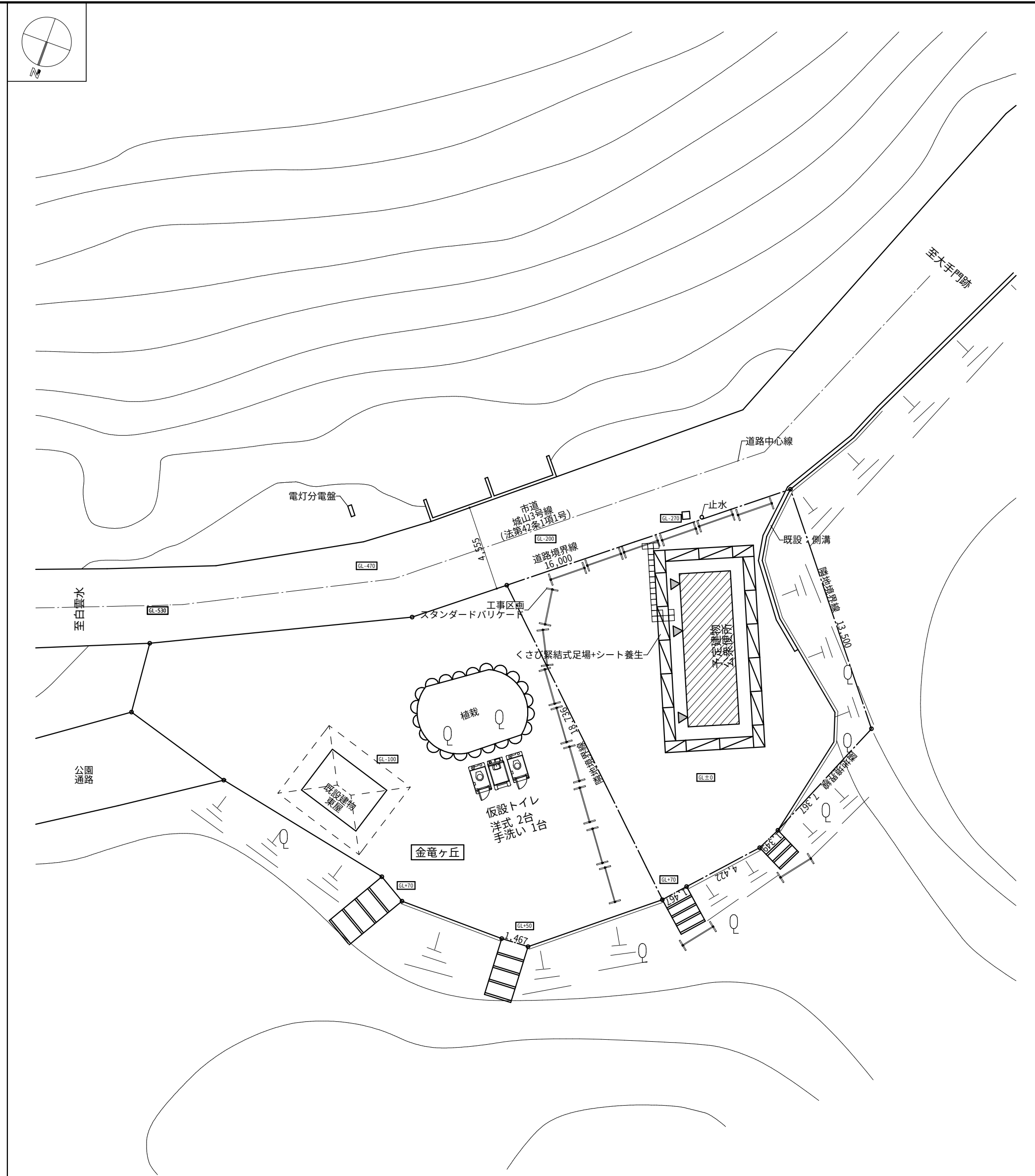
建物位置図 1/200 建物配置は既設止水栓(2箇所)を基準に配置する。

原設計図
【A 2】
A 2 → A 3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	求積図、建物位置図		
縮 尺	1/100、200	番号	29枚の内 5号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			



仮設図【参考】(解体) 1/200



仮設図【参考】 1/200

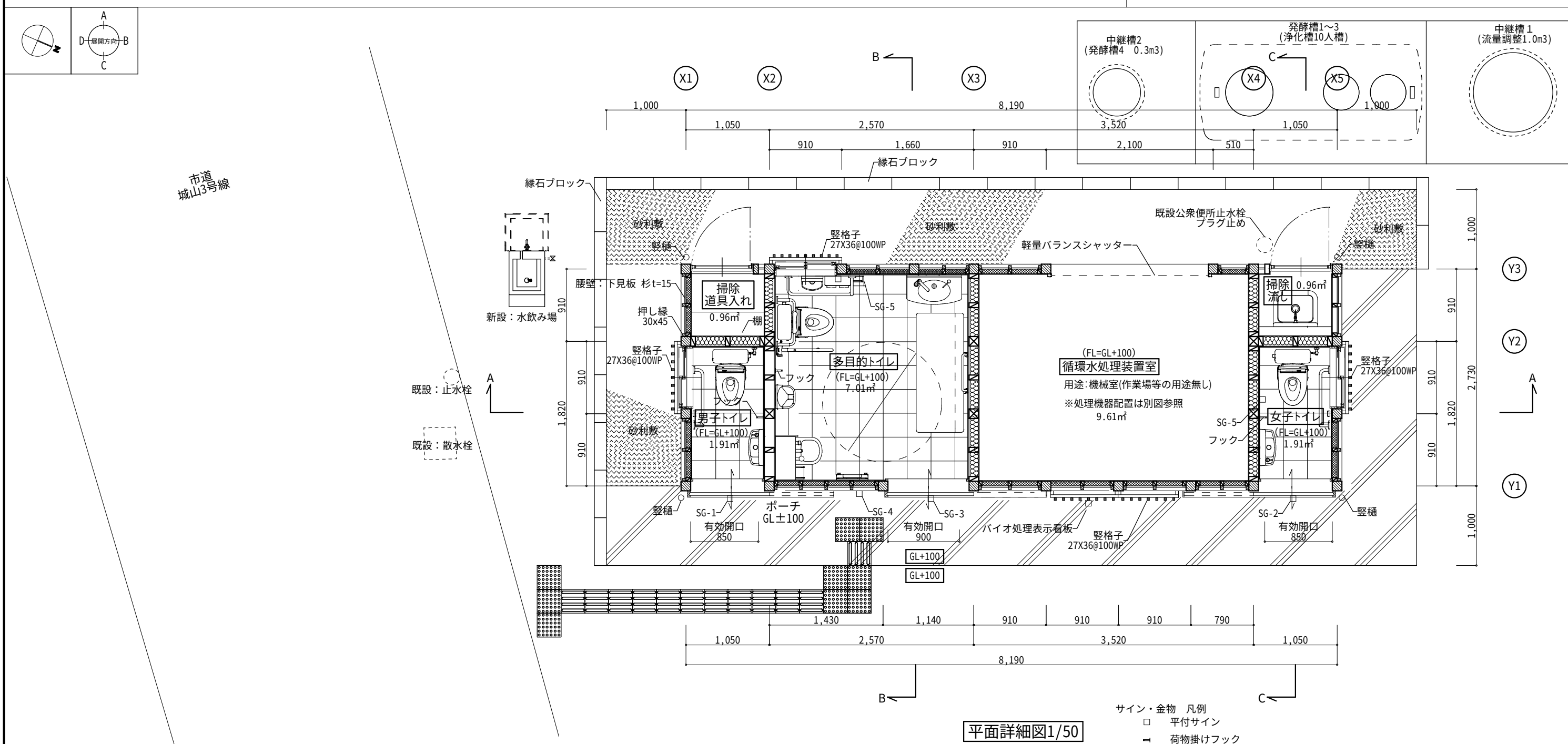
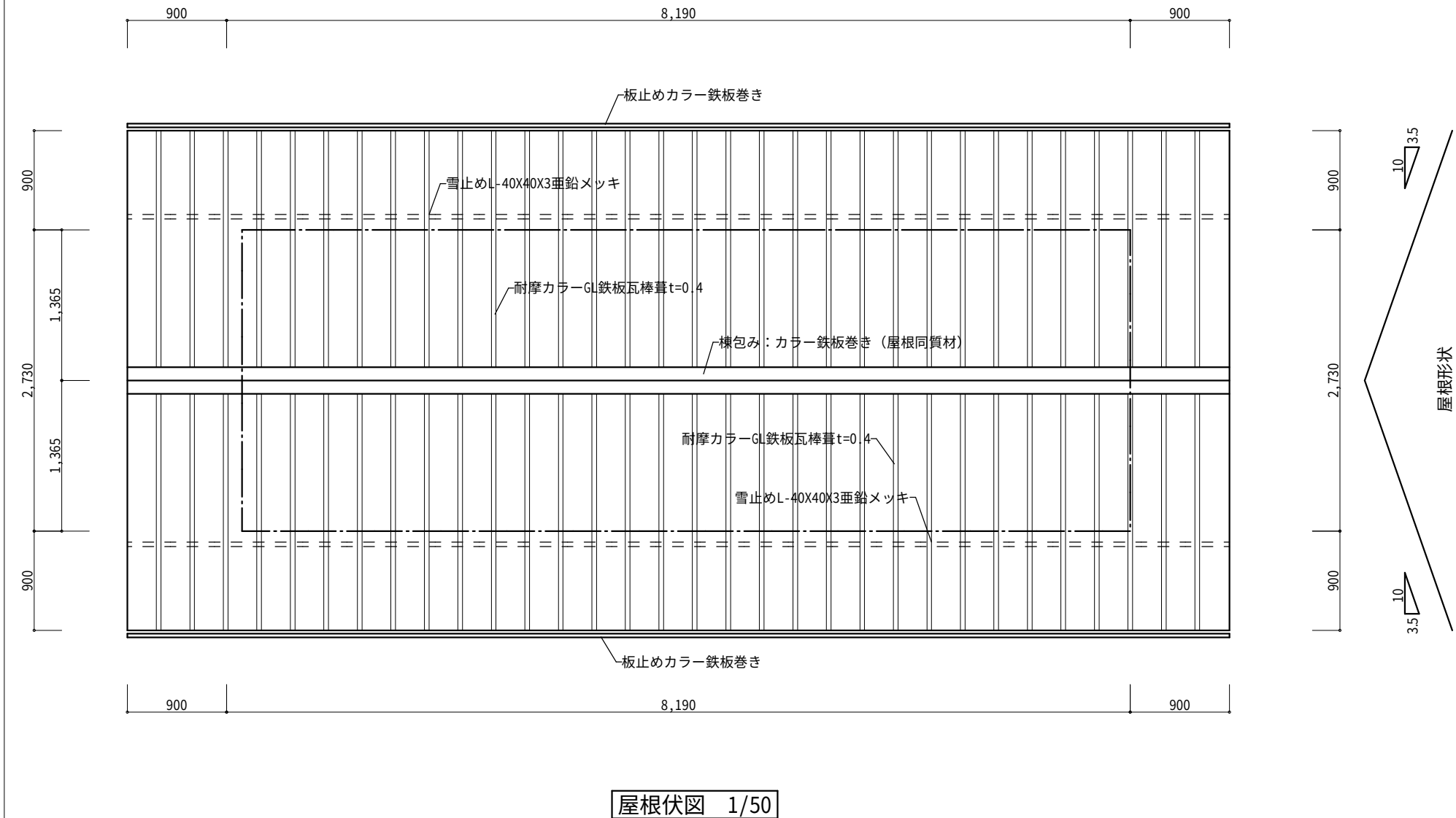
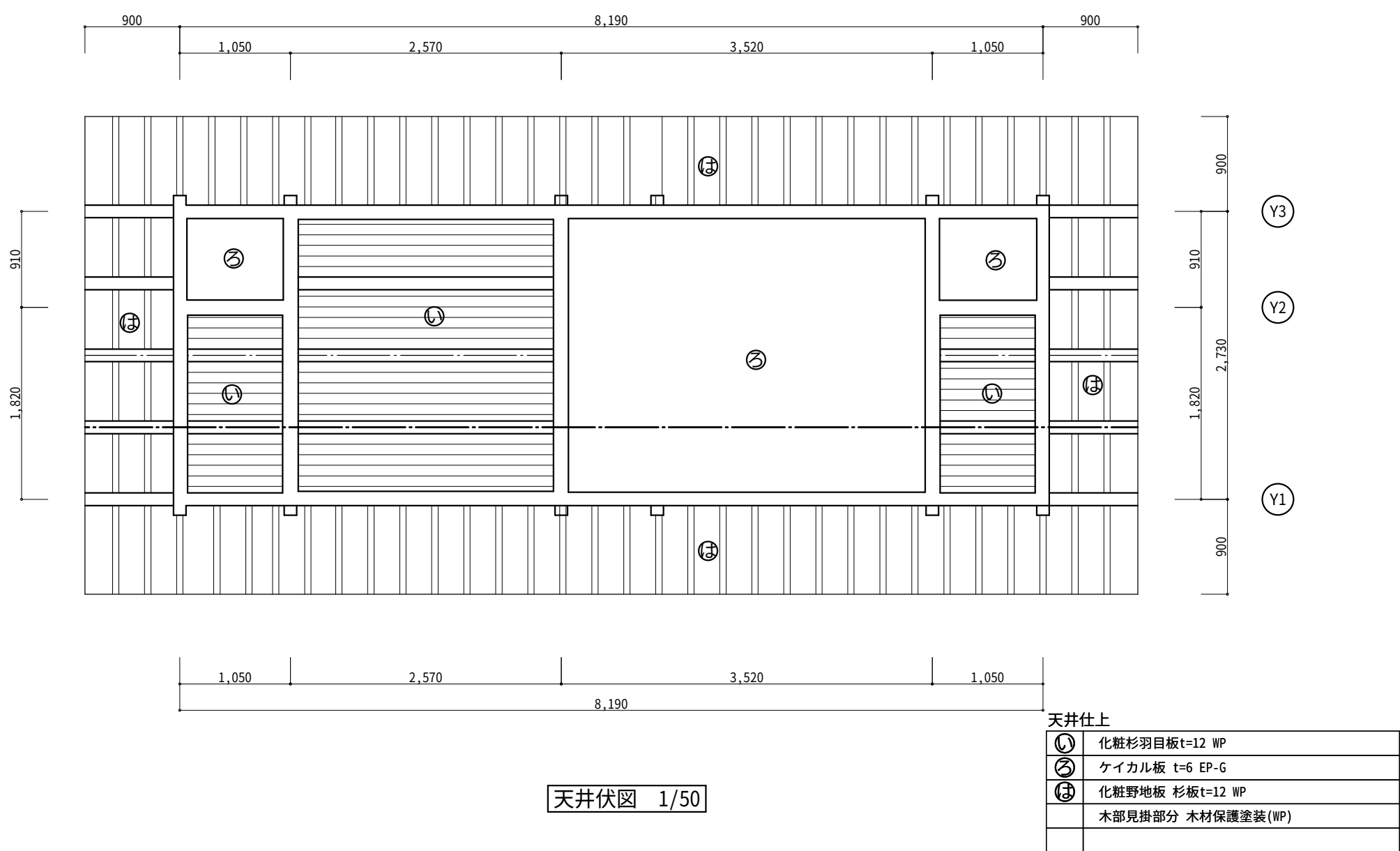
【公園利用者用仮設トイレの設置】

- ・仮設トイレユニット(洋式簡易水洗式)× 2台
- ・仮設手洗いユニット(タンク式簡易水洗) × 1台
- ・仮設トイレ維持管理用仮設用水は、既存水道(水飲み場)を仮設用水とする。

※設置場所については監督員との協議により決定する。

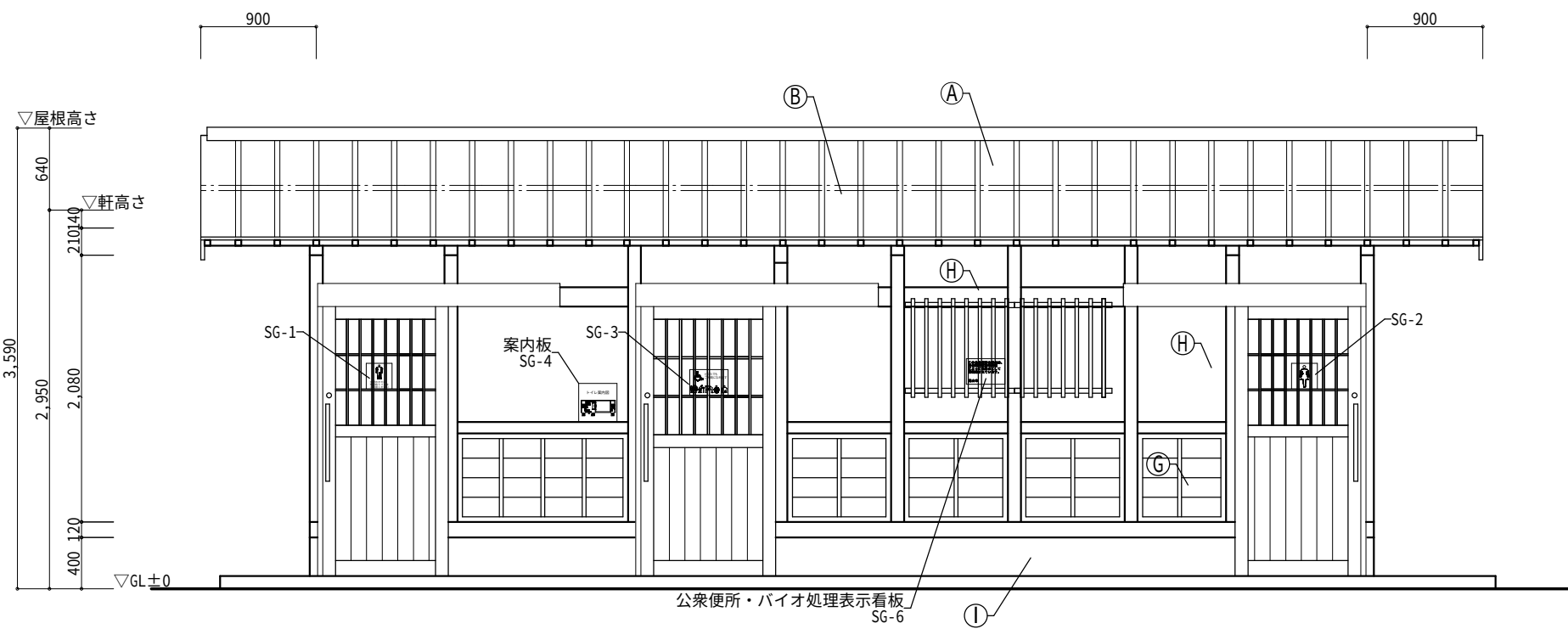
原設計図
【A 2】
A 2→A 3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	仮設図		
縮 尺	1/200	番号	29枚の内 6号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所 2級建築士登録第8503号 保木 和幸		
高 山 市			

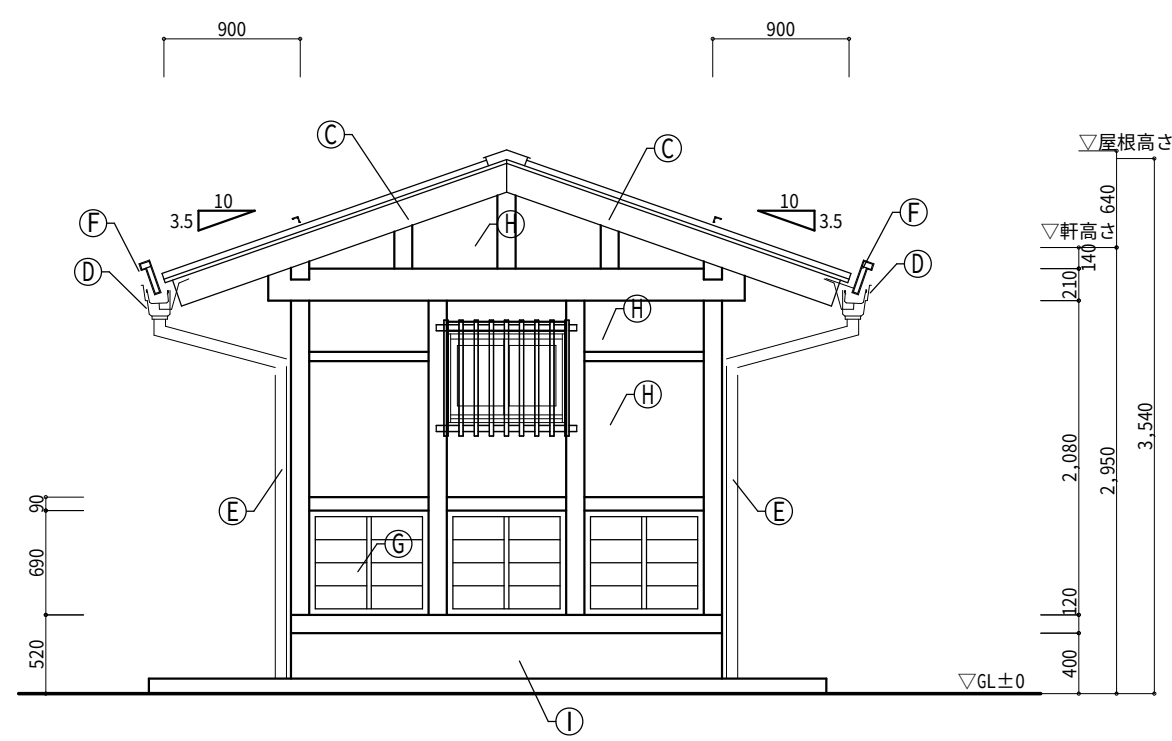


原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

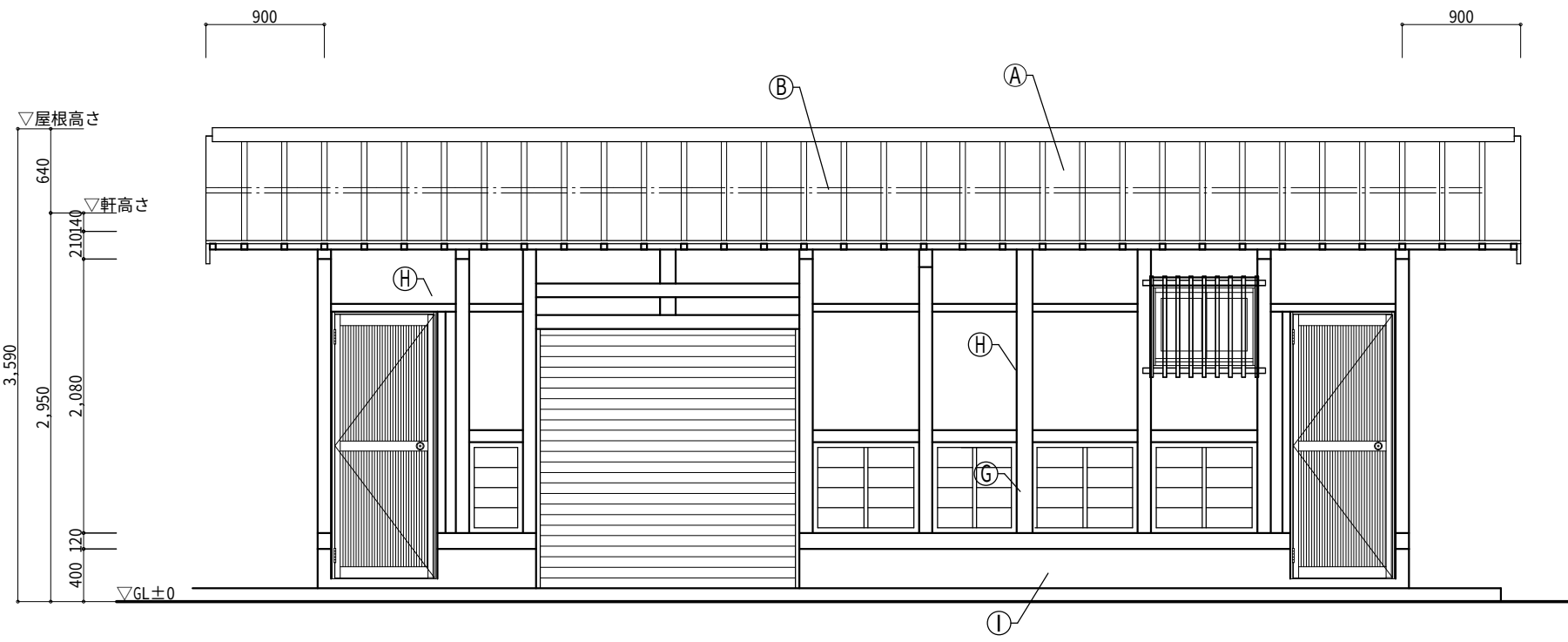
工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	平面図、屋根伏図、天井伏図		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 7号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



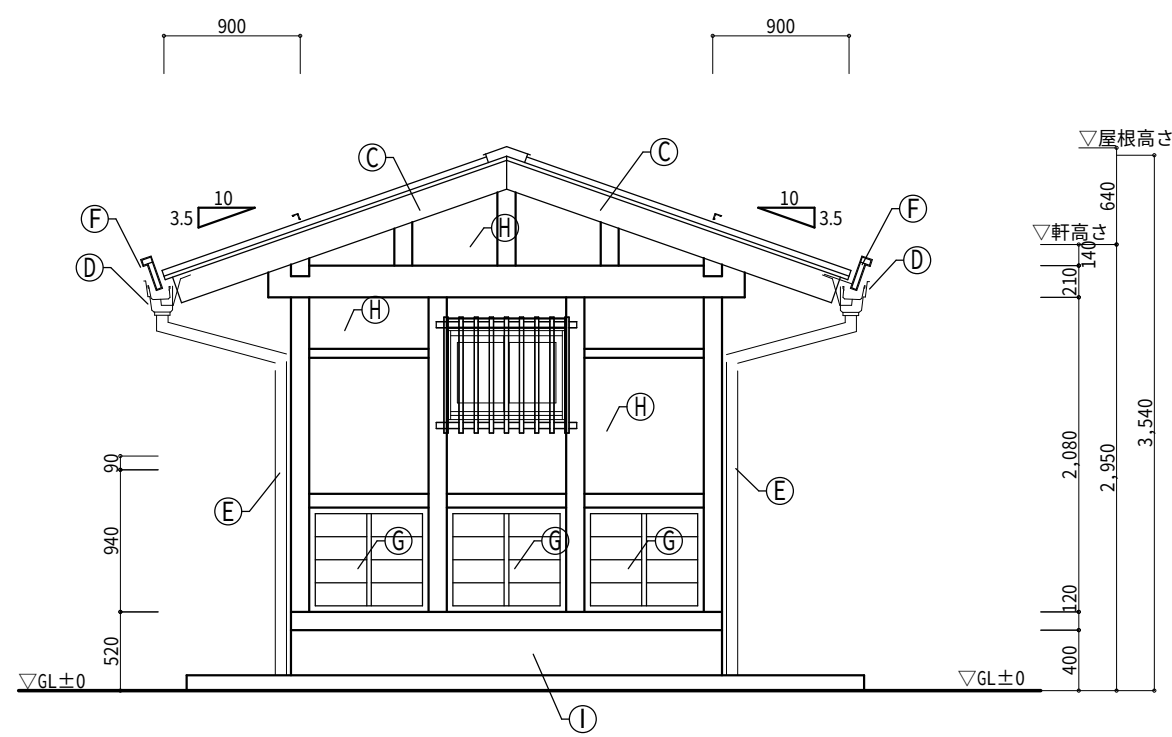
東立面図 1/50



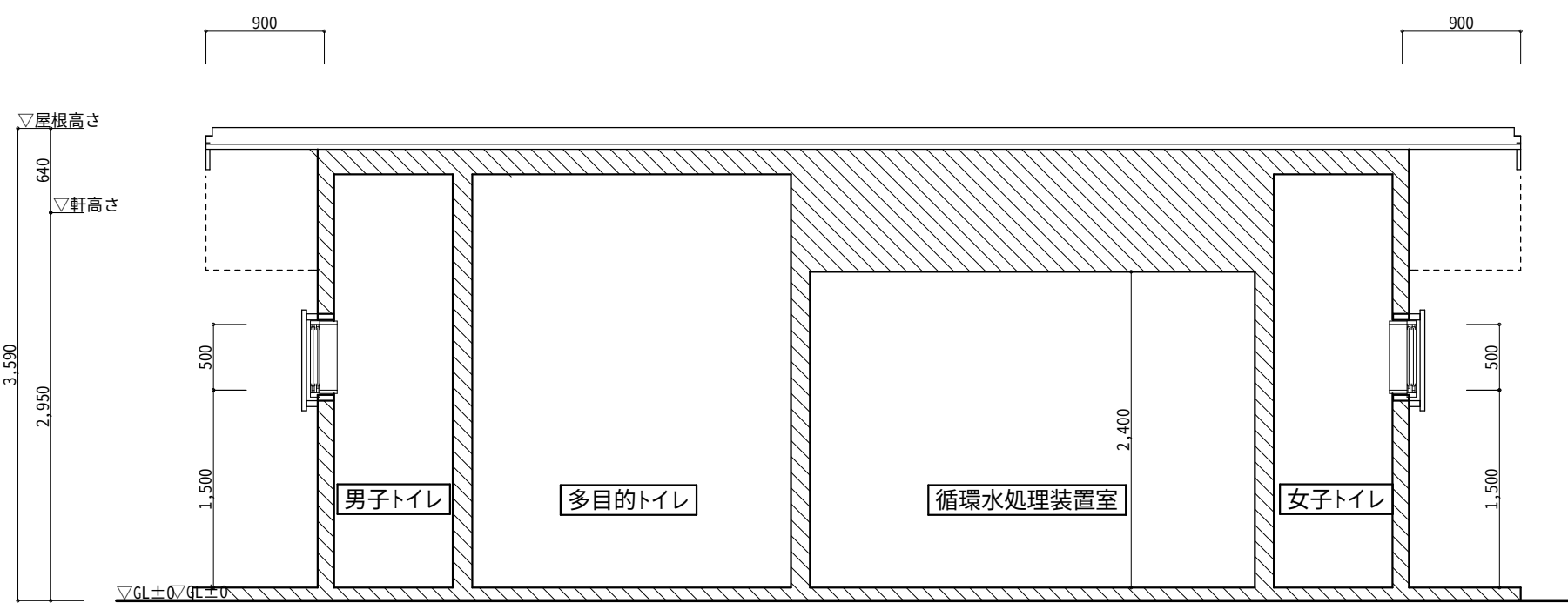
北立面図 1/50



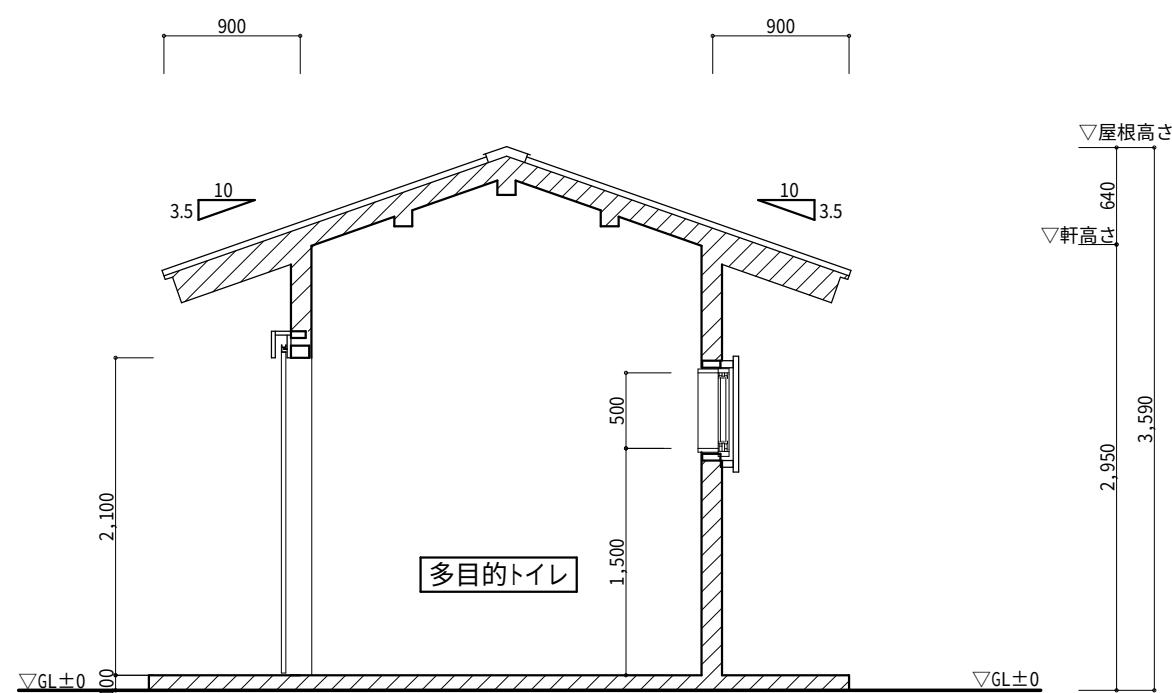
西立面図 1/50



南立面図 1/50



A-A断面図 1/50

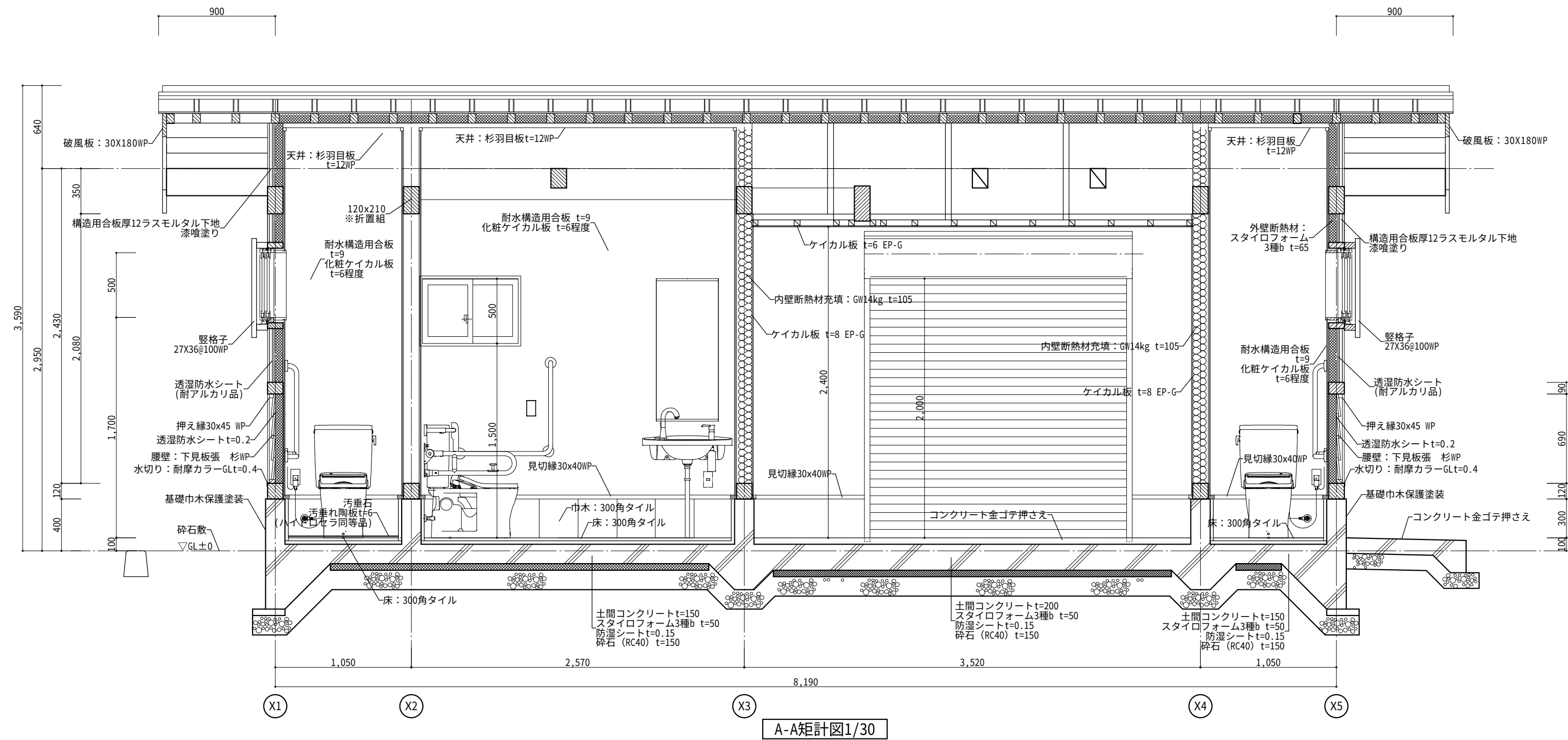
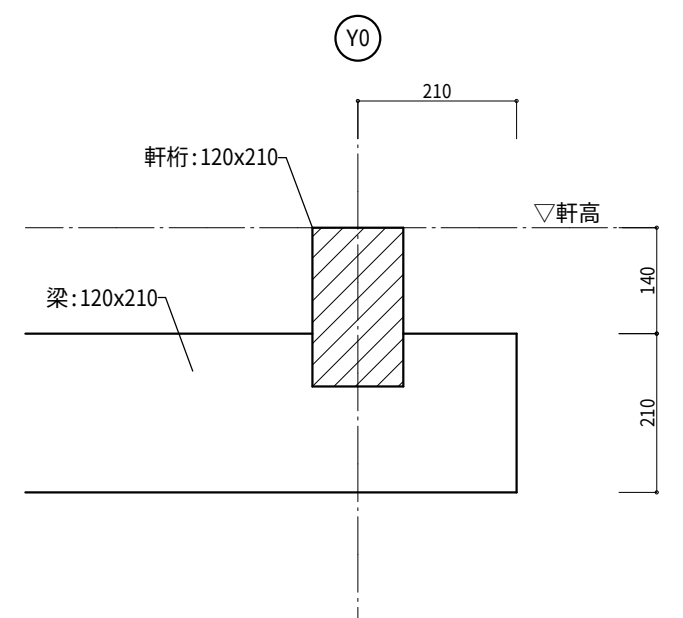
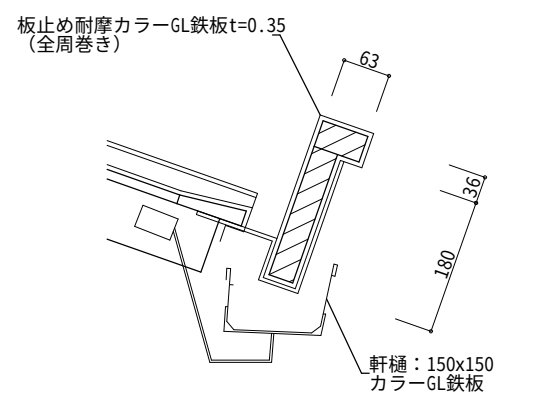
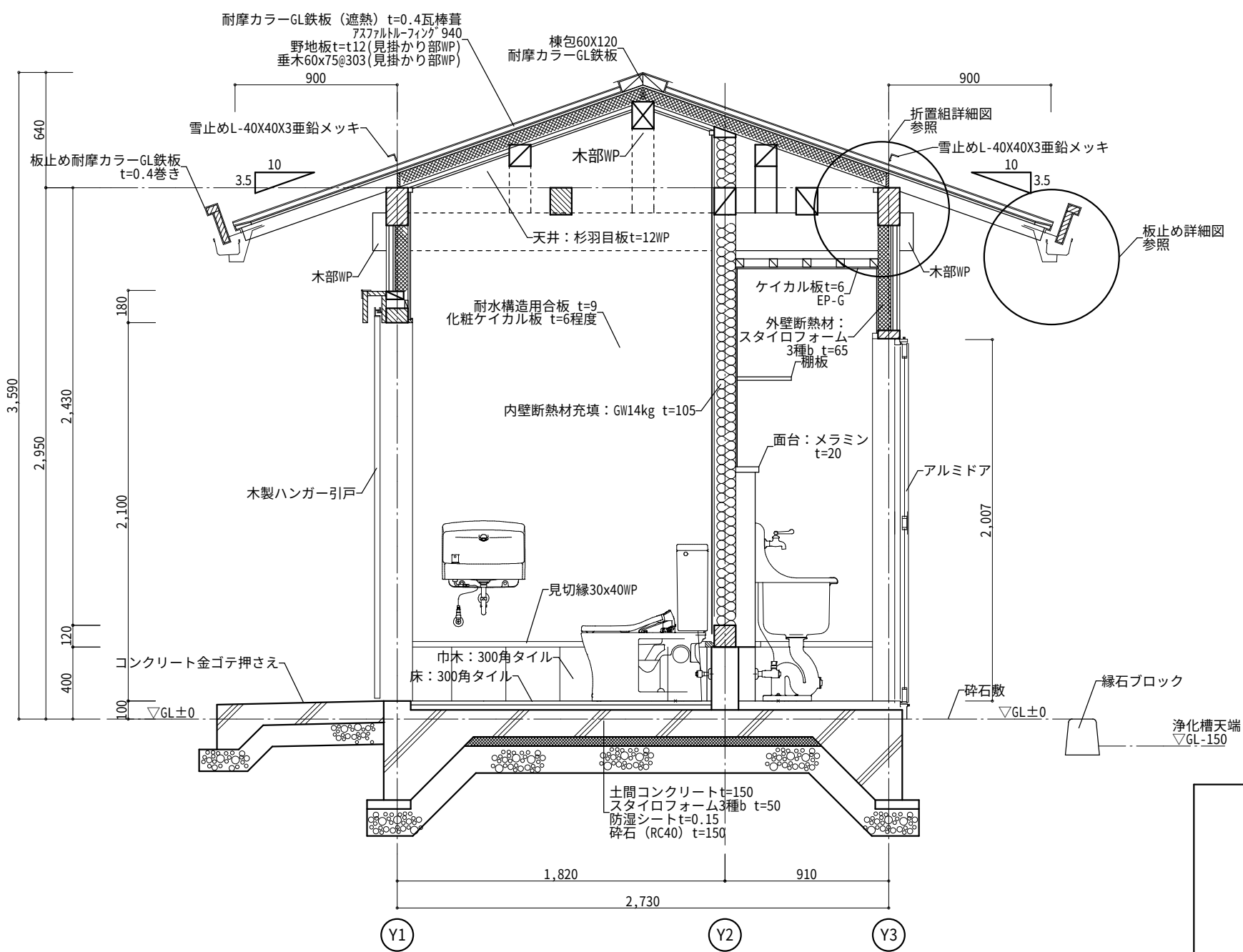
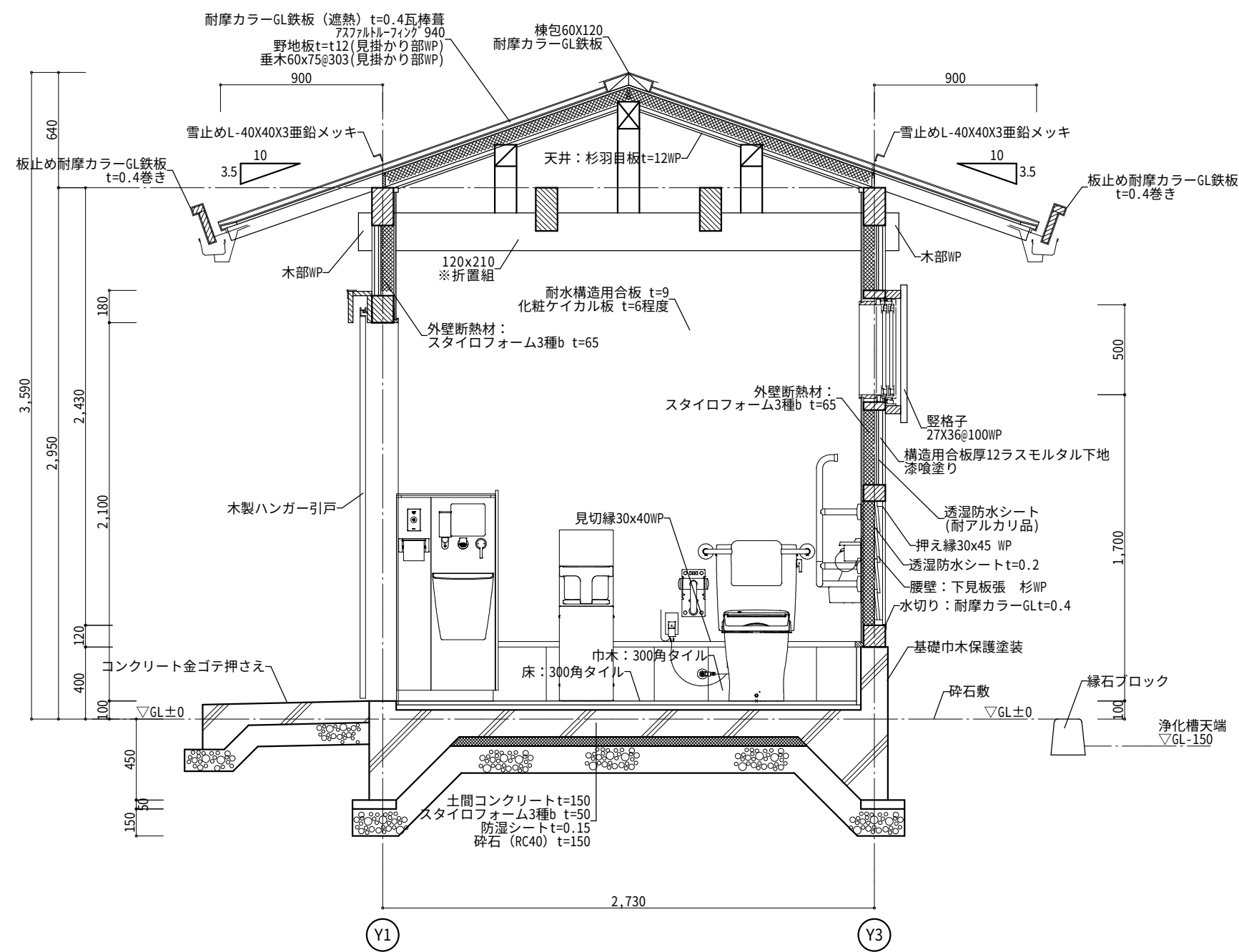


B-B断面図 1/50

①	耐摩カラーGL鉄板瓦棒葺t=0.4
②	L-40X40X3亜鉛メッキ
③	30x180 木材保護塗装(WP)
④	GLカラー鉄板角型150
⑤	GLカラー鉄板φ75
⑥	GLカラー鉄板 t=0.35巻き
⑦	杉板押縁下見板張り 木材保護塗装(WP)、透湿防水シート
⑧	漆喰塗 ラスモルタル 透湿防水シート 構造用合板t=12
⑨	基礎巾木保護塗装(ポリマーセメント系微弾性塗材)
⑩	木部見掛け部分 木材保護塗装(WP)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	立面図、断面図		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 8号
設 年 月 日 計	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

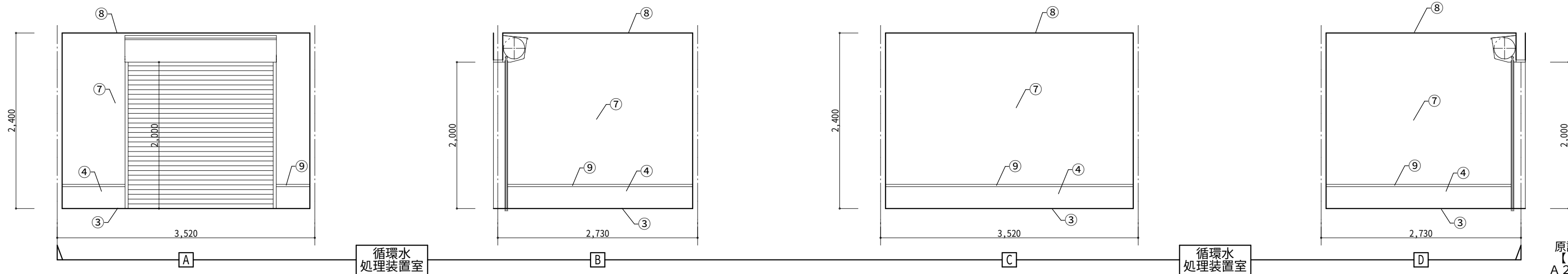
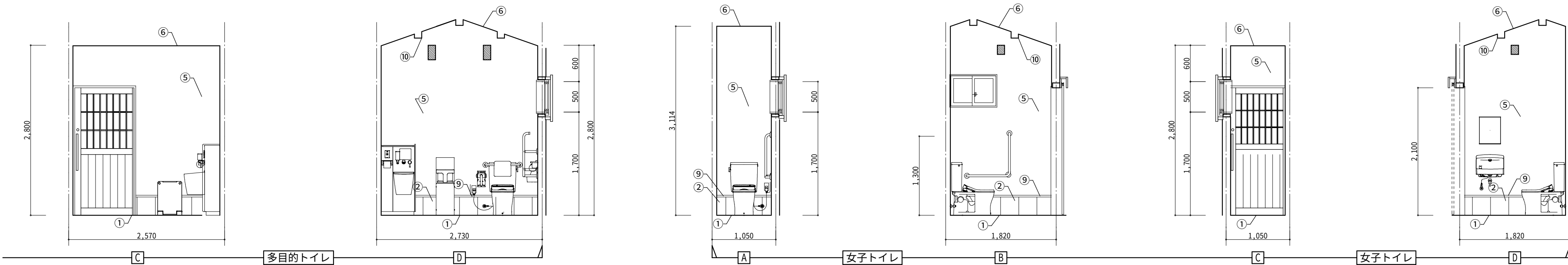
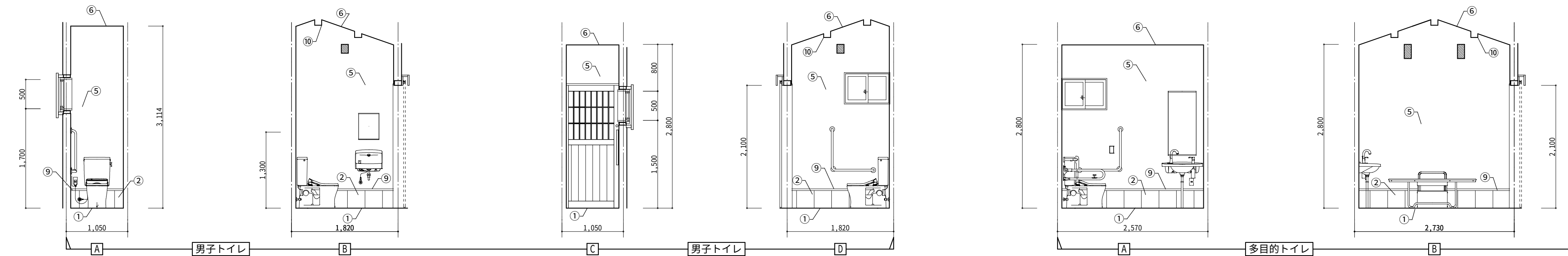
原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)



※GL+1,000部分の土台、下地、仕上げ材は防蟻塗装を行うこと。
※透湿防水シートは同上塗装、下地材に影響のないものを使用すること。

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	矩計図、部分詳細図		
縮 尺	1/30・1/10	番号	29枚の内 9号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

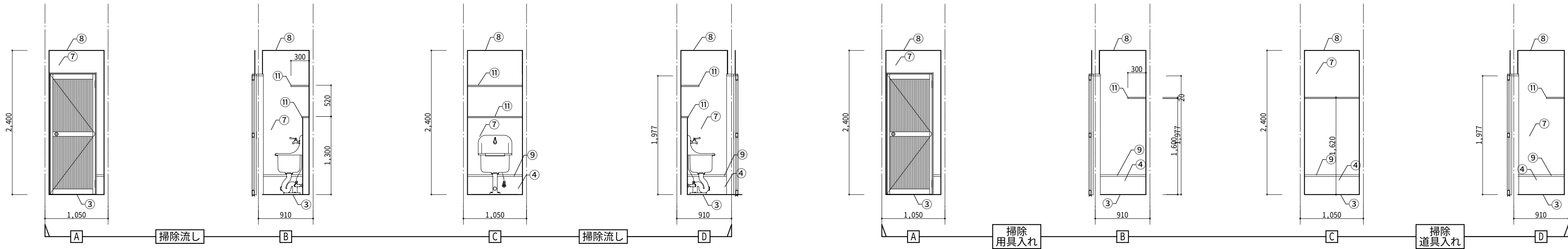
A2版	A3版	
1:30	1:42.4	
1:50	1:70.7	原設計図
1:100	1:141.4	【A2】
1:200	1:282.8	A2→A3
1:400	1:565.7	(70.7%縮小)



①	磁器質300角タイル張り (床)
②	磁器質300角タイル張り (巾木)
③	コンクリート金ゴテ (床)
④	モルタル刷毛引き (巾木)
⑤	化粧ケイカル板 t=6程度
⑥	化粧杉羽目板t=12 WP
⑦	ケイカル板t=8 EP-G
⑧	ケイカル板t=6 EP-G
⑨	木製見切、廻縁WP
⑩	木部表しWP
⑪	面台、棚板 (メラミン)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	展開図 1		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 10号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

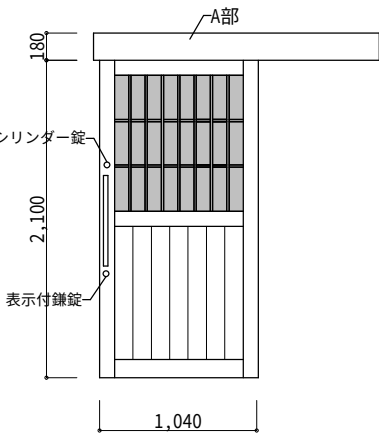
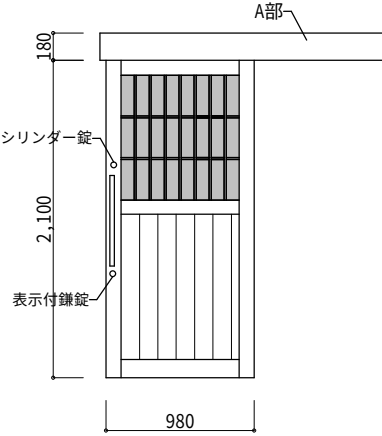
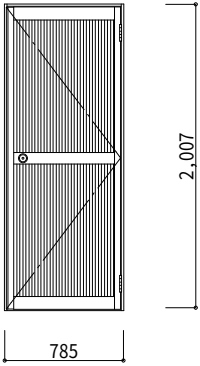
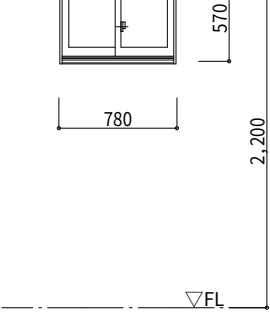
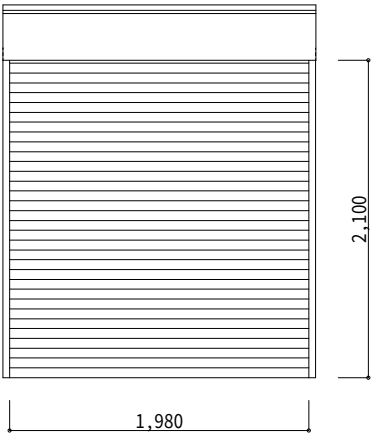
原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

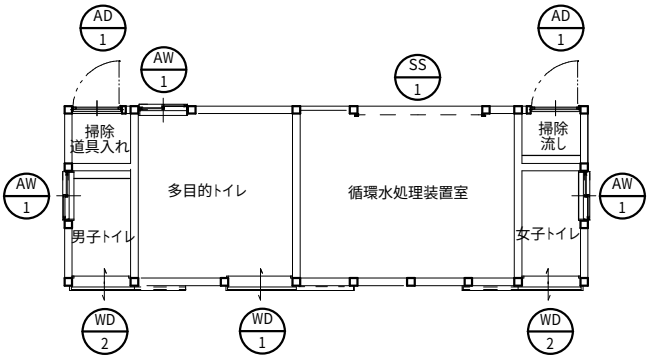


①	磁器質300角タイル張り (床)
②	磁器質300角タイル張り (巾木)
③	コンクリート金ゴテ (床)
④	モルタル刷毛引き (巾木)
⑤	化粧ケイカル板 t=6程度
⑥	化粧杉羽目板t=12 WP
⑦	ケイカル板t=8 EP-G
⑧	ケイカル板t=6 EP-G
⑨	木製見切、廻縁WP
⑩	木部表しWP
⑪	面台、棚板 (メラミン)

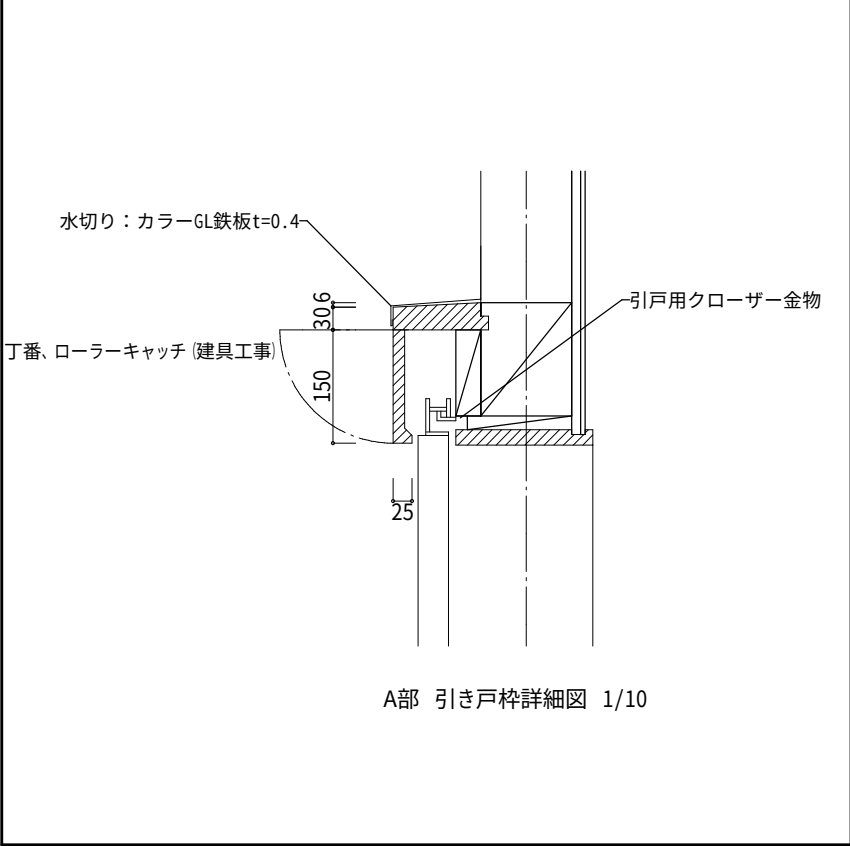
工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	展開図 2		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 11号
設 計 年 月 日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

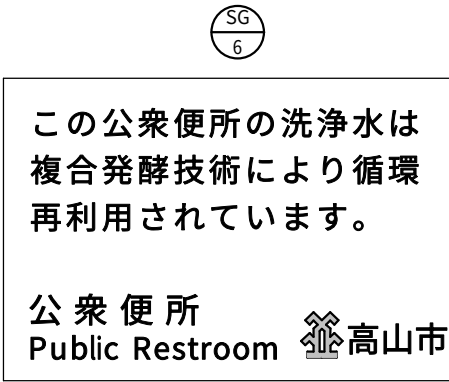
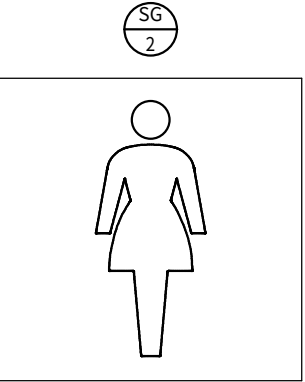
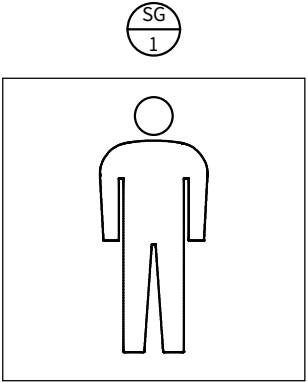
記 号		WD 1	WD 2	AD 1	AW 1	SS 1
形 状 寸 法						
室名	数量	多目的トイレ 1	男子トイレ、女子トイレ 2	掃除流し、掃除道具入れ 2	男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ 3	循環水処理装置室 1
形式	見込	片引きハンガードア 40	片引きハンガードア 40	腰パネル付框ドア 70	引違い窓 70	軽量バランスシャッター ー
材質・仕上		高山市産杉材 木材保護塗装	高山市産杉材 木材保護塗装	アルミ・カラー	アルミ樹脂複合・カラー	スチールカラー鋼板・スラット厚0.4
金 物		ハンガー金物一式（フリーストップバー）、握手 表示付鍵錠、シリンダー錠、その他付属品一式	ハンガー金物一式（フリーストップバー）、握手 表示付鍵錠、シリンダー錠、その他付属品一式	握り玉、サムターン付表示錠付、DC	クレセント、網戸	角ケース、三方枠
ガ ラ ス		スチロール樹脂板（梨地調2.4mm）ワーロン張り	スチロール樹脂板（梨地調2.4mm）ワーロン張り	アルミパネル	F4+A12+FL3 (Low-E)	ー
備 考			男子トイレ：右引き、女子トイレ：左引き	木造用	木造用	



建具配置図



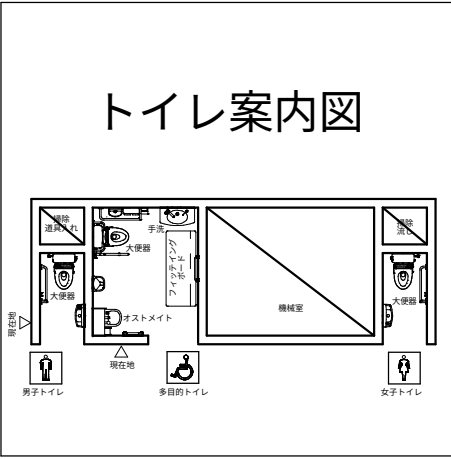
A部 引き戸枠詳細図 1/10



公衆便所
Public Restroom 高山市

SG1～SG3・SG-6 集成材 t=25 200x200、300x200 サイン：カラー、カッティングシート貼り

注：表示内容は参考とし、製作に先立ち施工図を作成し、監督員の承認を得た後、作製すること。
ピクトグラムのデザインはJIS Z8210 とする。



SG-4 触知板 300x300、基盤：集成材+アルミ複合 t=3.0
点字加工、画面：インクジェットプリント+UV点字、
文字表記部分は文字と点字で表記すること。
注：表示内容は参考とし、製作に先立ち施工図を作成し、
監督員の承認を得た後、作製すること。

トイレの使用方法に関する外国人観光客向け啓発看板



SG5 アクリル樹脂板 t=3 210x297 (A4サイズ) サイン：カラー、インクジェットプリント

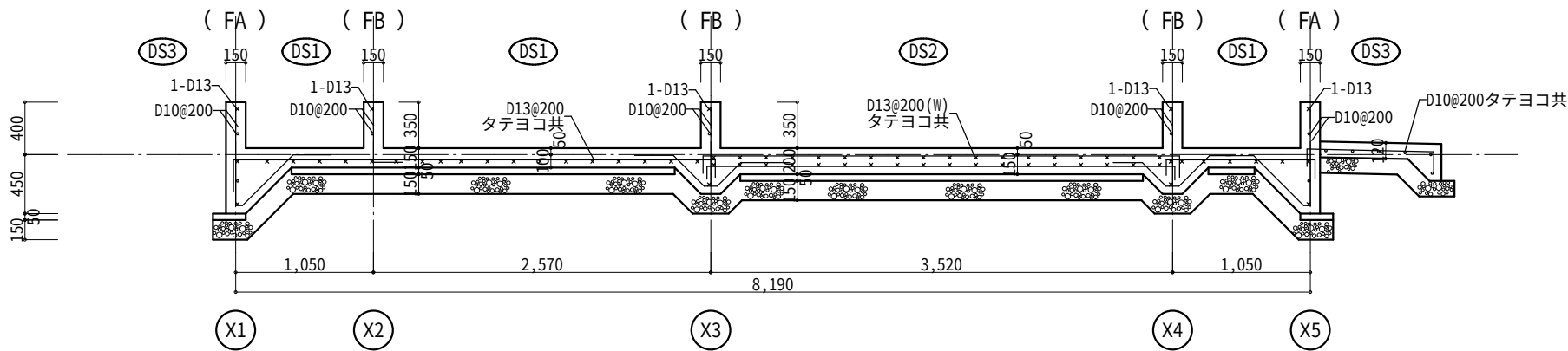
注：表示内容は参考とし、製作に先立ち施工図を作成し、監督員の承認を得た後、作製すること。

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	建具リスト、サイン一覧		
縮 尺	1/50、10、5	番号	29枚の内 12号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

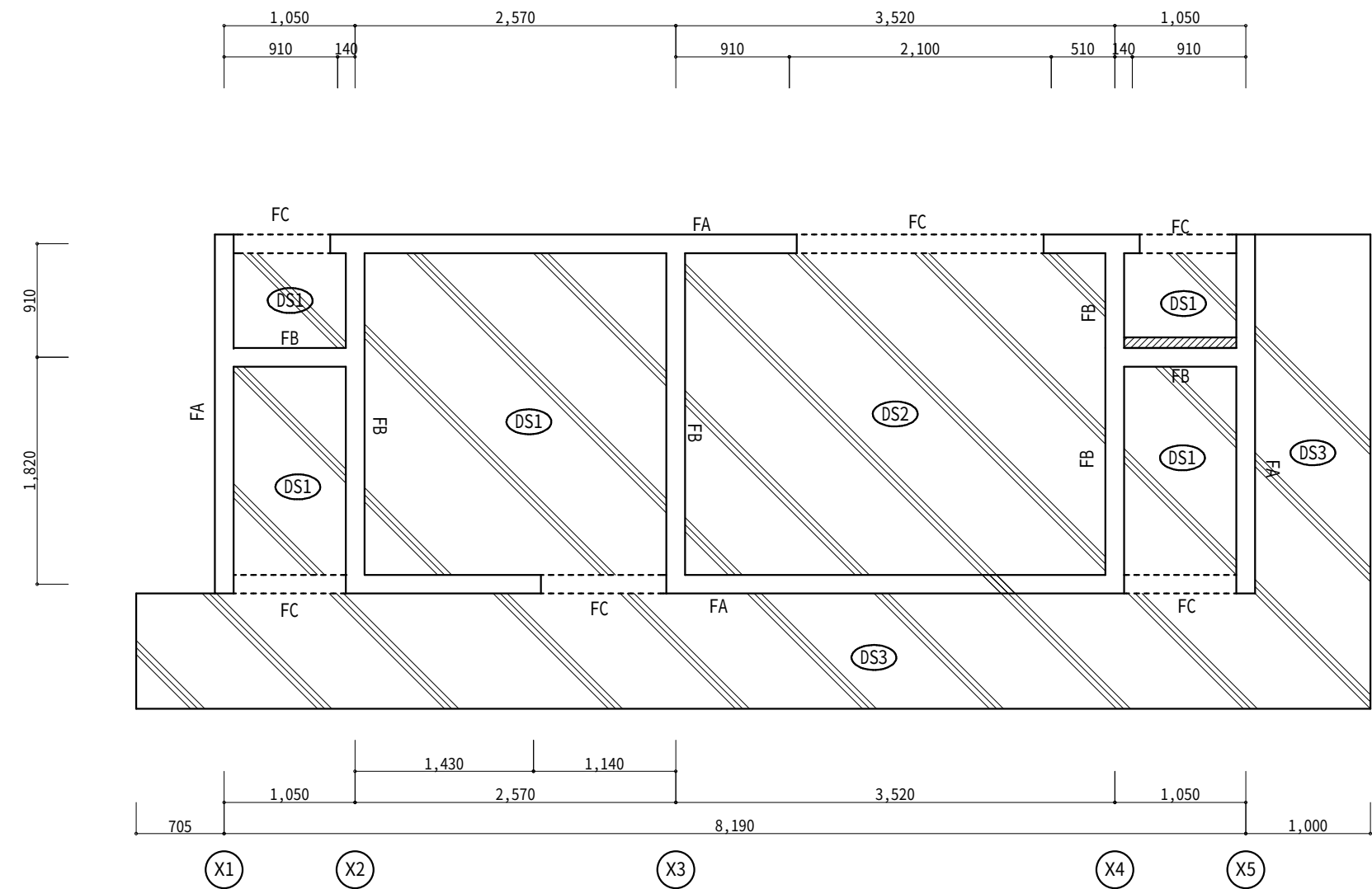
原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

部 材・凡 例

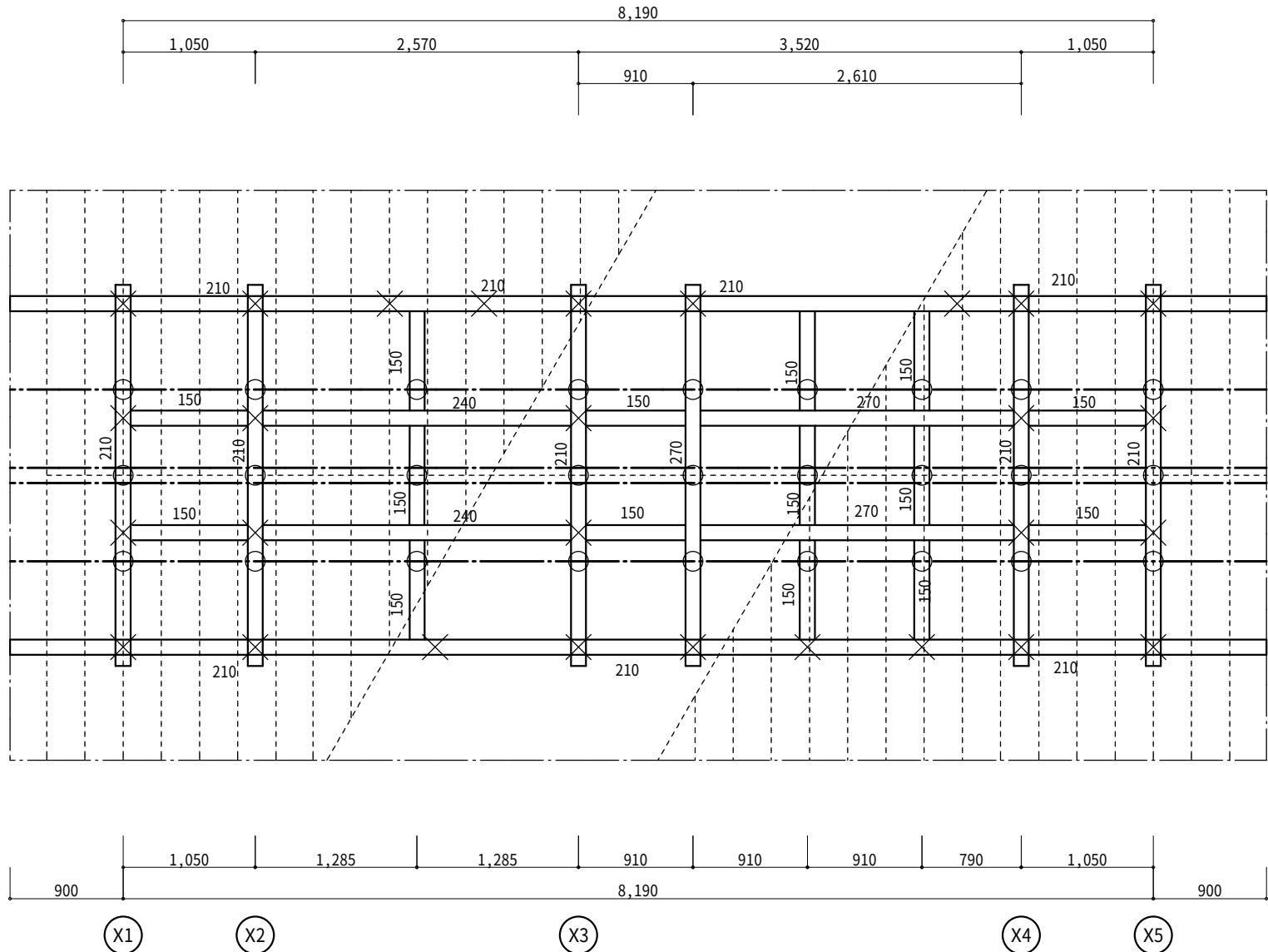
土 台	120x120	桧 特1等	×	下階柱
柱	120x120	桧 特1等	+	アンカーボルトW12 L=400 （コンクリート定着240mm以上）
間 柱	45x120、45x70、45x60@455	杉 特1等	▨	増打ちW=75、H=500
桁・梁	120x150、210、240、270	杉 特1等	継手及び仕口の構造－告示第1460号による	
母 屋	120x150、120x120	杉 特1等	外壁の軸組等の防腐防蟻－地盤面より高さ1.0mをキシラデコール（同等品）塗	
			※木材は高山市産材とする。	
垂 木	60x75@303	桧 特1等（芯持ち）	特 記 ※木材の継手・仕口等は手さざみ加工とし、機械プレカット加工材は使用しないこと。 ※小屋組は折置組とする。 ※梁巾は全て120とする、数値は梁成を示す。 スクリーウエイト貫入試験結果 ・測点：5箇所 ・貫入状況：測点5箇所に自沈層無し。測点全てが300KN/㎡以上の地盤支持力が認められる。 ・考 察：今回の調査において自沈を計測する軟弱な箇所は認められず、非常に良好な地盤が確認された。	
小屋束	○ 120x120	杉 特1等		
筋違い	▽ 45x90（シングル）	杉 特1等		
筋違い	▨ 45x90（ダブル）	杉 特1等		



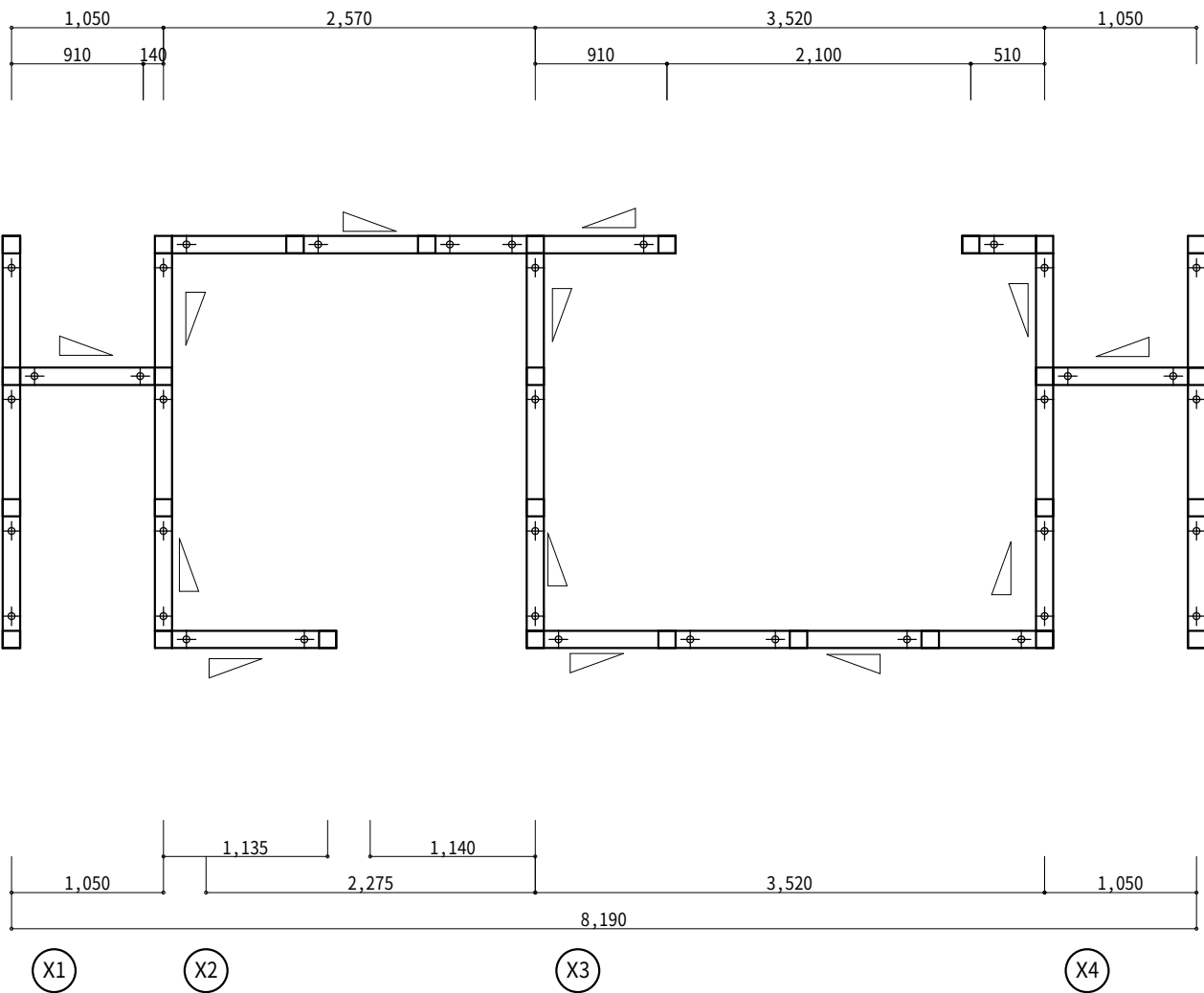
基礎詳細図 1/50



基礎伏図 1/50



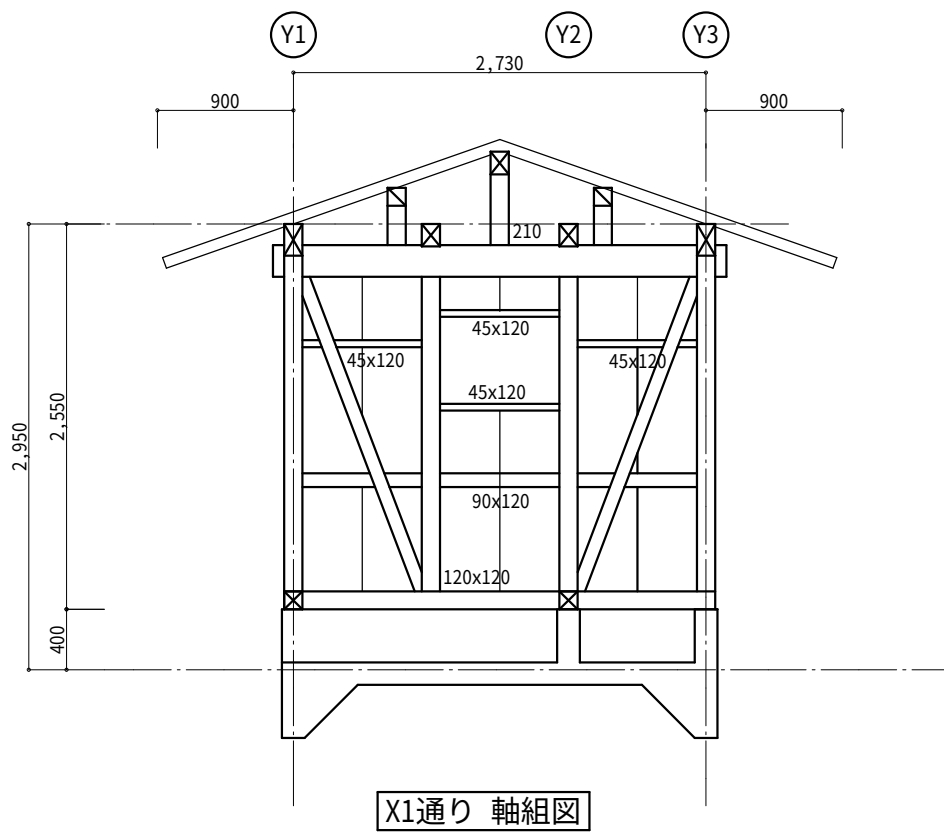
小屋伏図 1/50



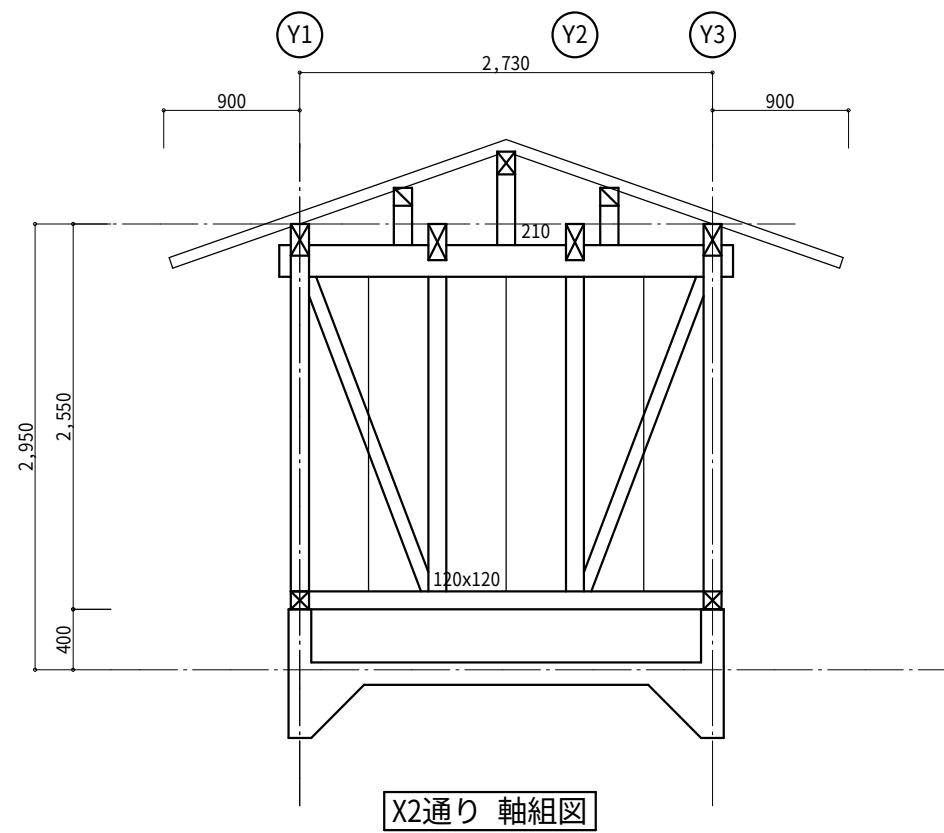
土台伏図 1/50

原設計図
【A 2】
A 2→A 3
(70.7%縮小)

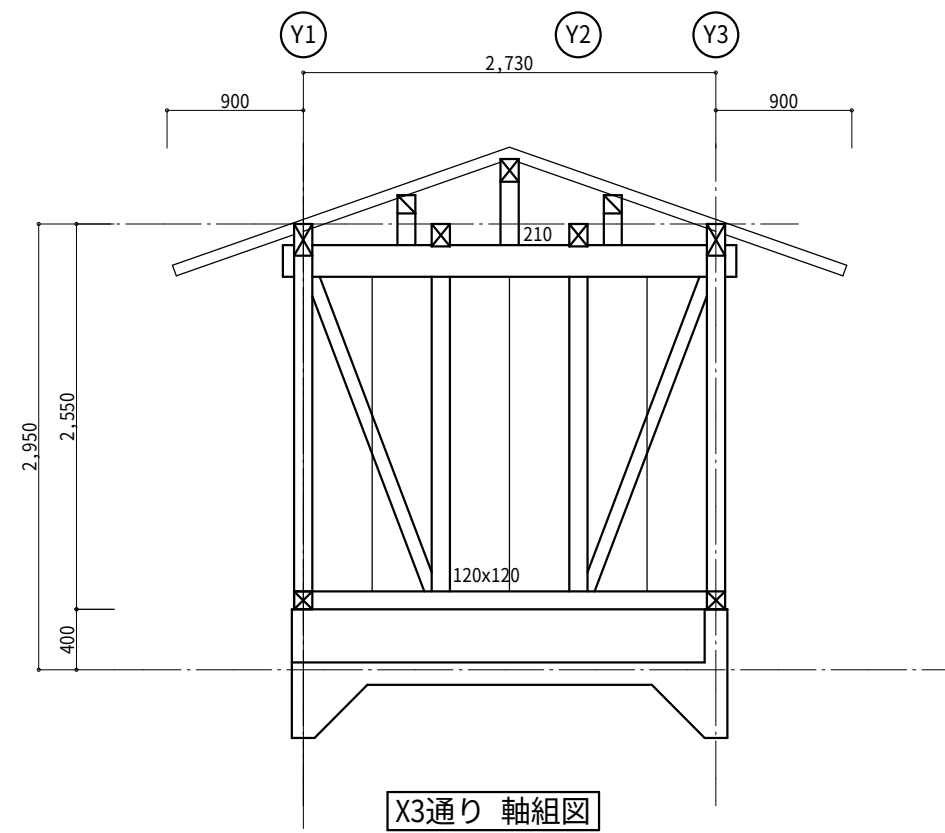
工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	構造図 各図		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 13号
設 計 年 月 日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			



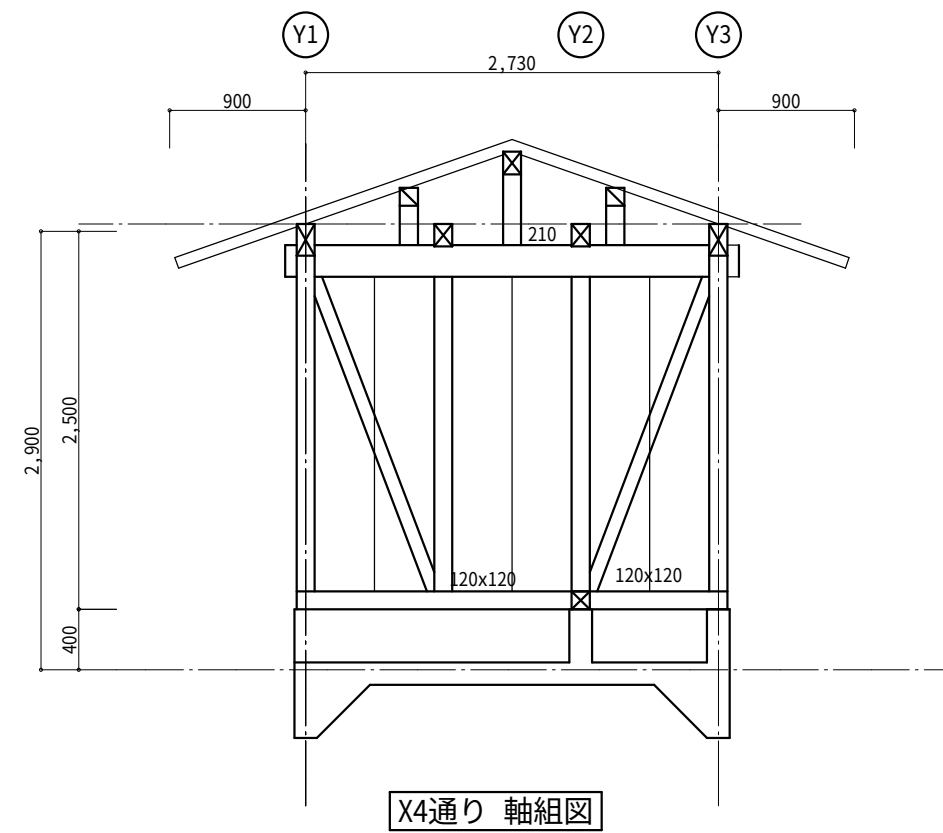
X1通り 軸組図



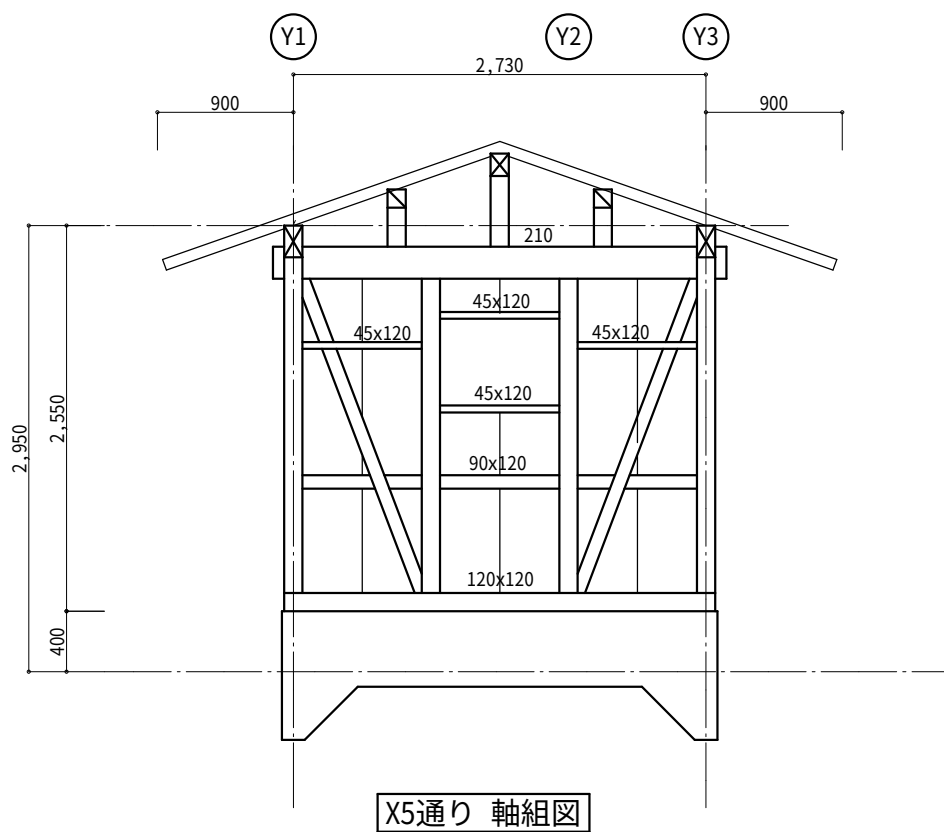
X2通り 軸組図



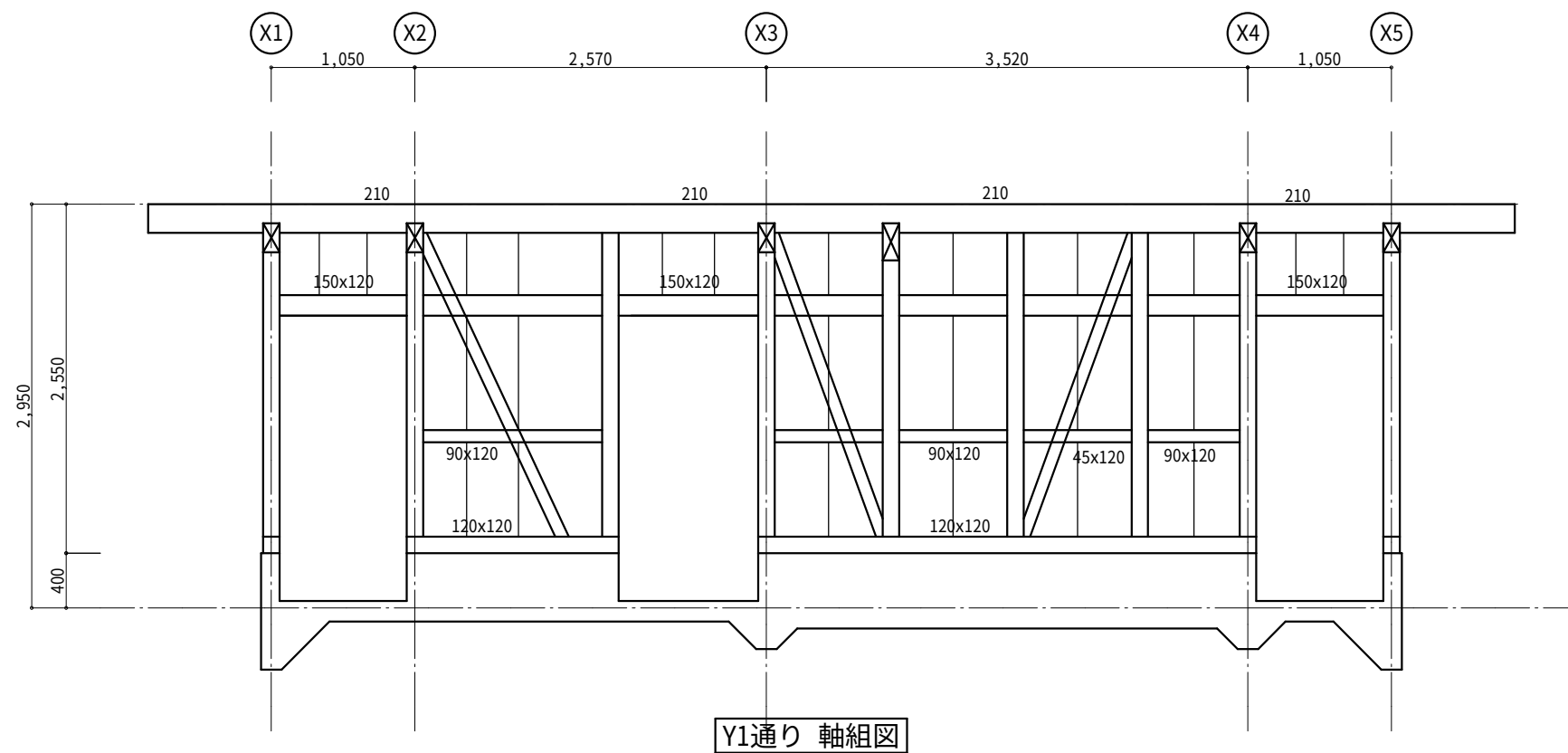
X3通り 軸組図



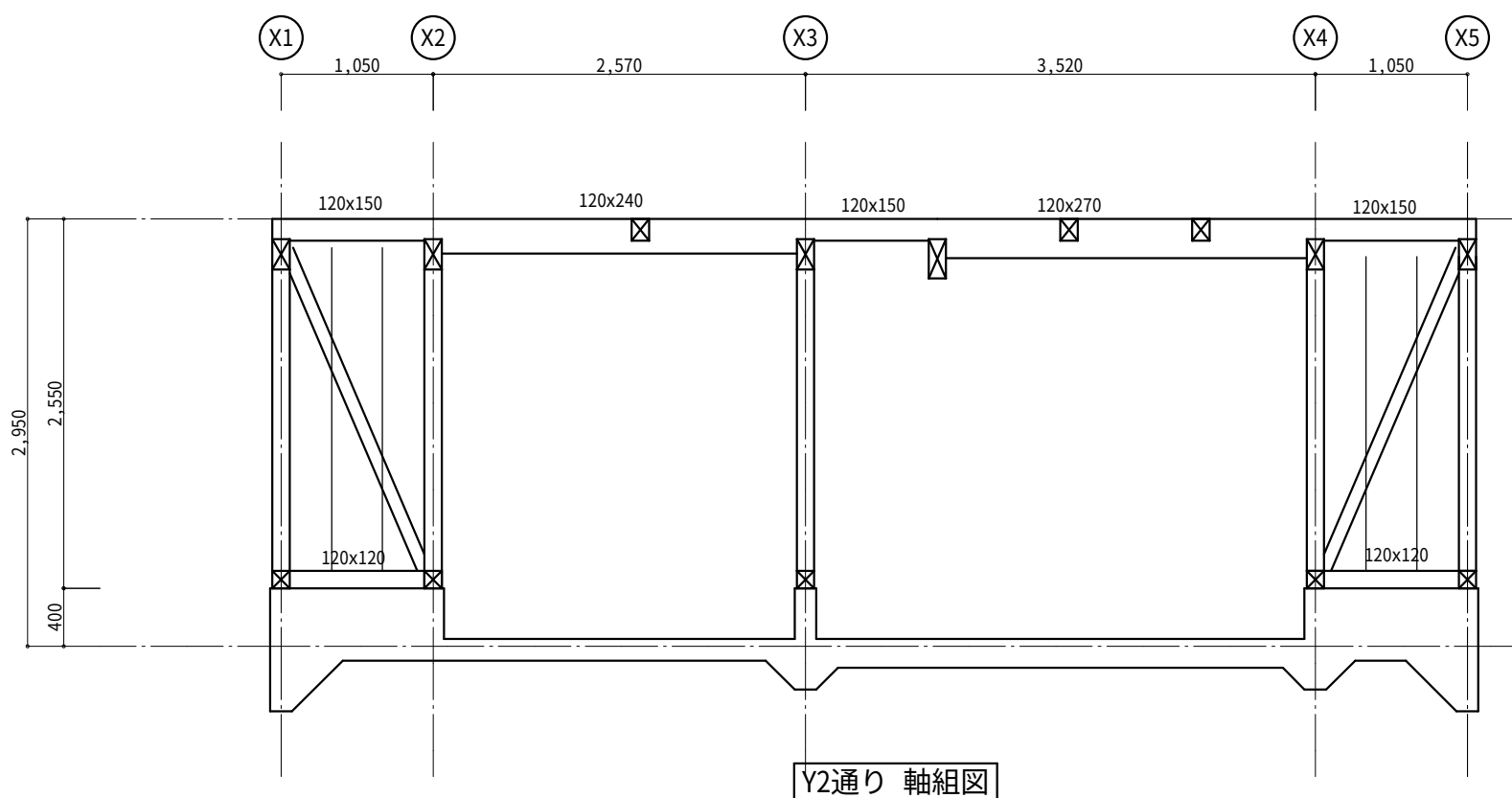
X4通り 軸組図



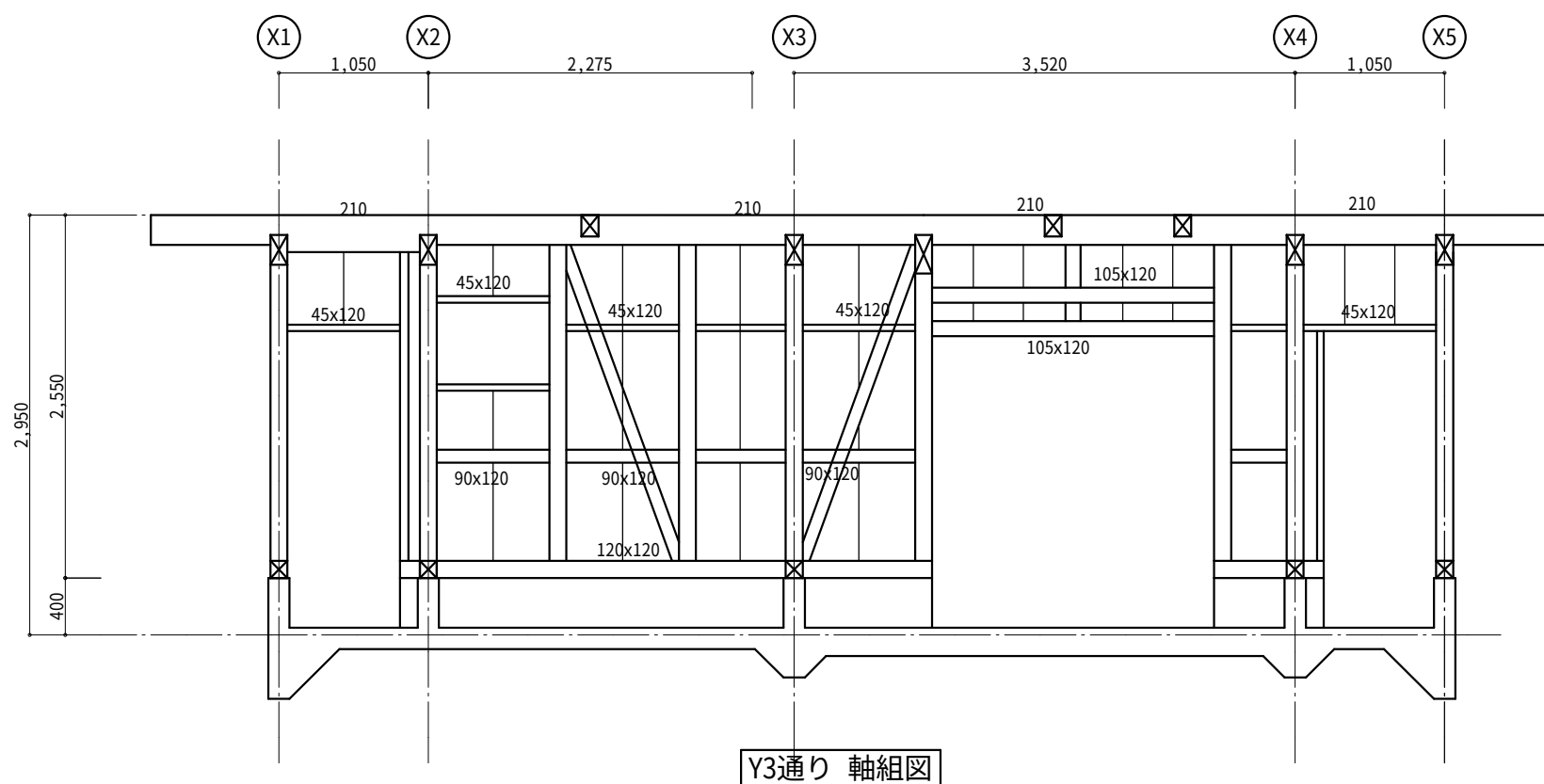
X5通り 軸組図



Y1通り 軸組図



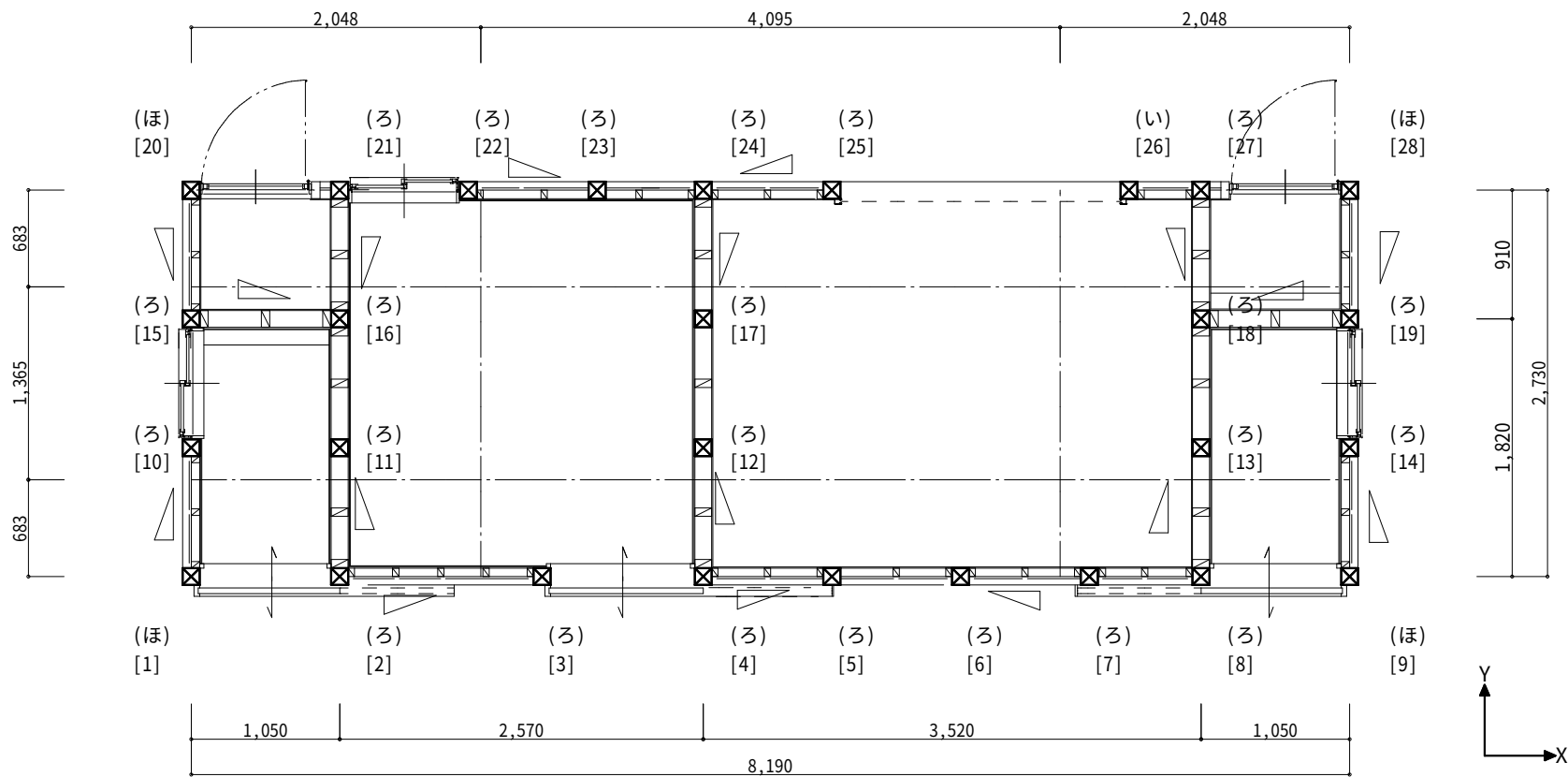
Y2通り 軸組図



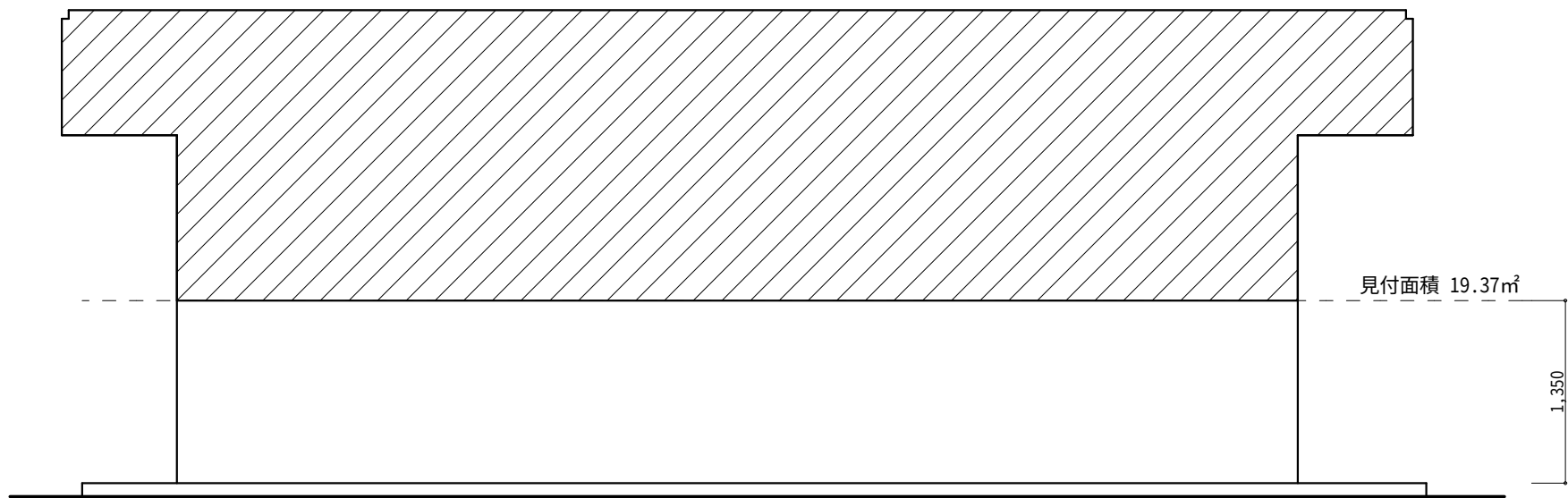
Y3通り 軸組図

原設計図
【A 2】
A 2 → A 3
(70.7%縮小)

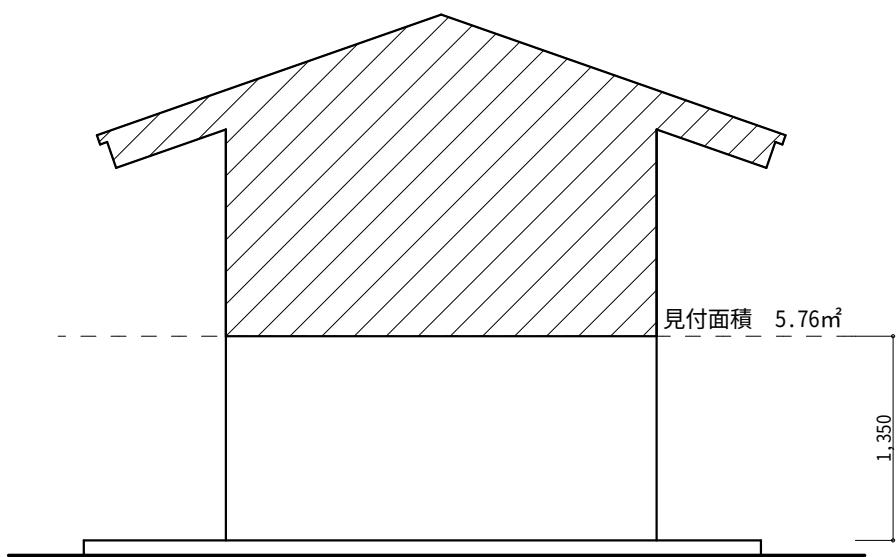
工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事			
図 名	軸組図			
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 14号	
設 計 日 月 年	令和8年 7月			
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市				



平面図 1/50



X方向見付 1/50



Y方向見付 1/50

告示表三 Nの値		継手・仕口の仕様
(い)	0	短ほそ差し又はかすがい打ち
(ろ)	0.65	長ほそ差し込み栓又はかど金物 CP-L
(は)	1.0	かど金物 CP-T 山形プレート VP
(に)	1.4	羽子板ボルト又は短ざく金物 (スクリュークぎなし)
(ほ)	1.6	羽子板ボルト又は短ざく金物 (スクリュークぎあり)
(へ)	1.8	引き寄せ金物 HD-B10(S-HD10)
(と)	2.8	引き寄せ金物 HD-B15(S-HD15)
(ち)	3.7	引き寄せ金物 HD-B20(S-HD20)
(り)	4.7	引き寄せ金物 HD-B25(S-HD25)
(ぬ)	5.6	引き寄せ金物 HD-B15(S-HD15)*2個

1 階必要壁量の計算 [面積 (㎡) , 壁長・壁量 (cm)]

必要壁量 (地震力)			必要壁量 (風圧力：X 方向)			必要壁量 (風圧力：Y 方向)		
床面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量
22.36	12.00	268.32	19.37	50.00	968.50	5.76	50.00	288.00
			判定値		968.50	判定値		288.00

1 階存在壁量の計算

軸組の種類	存在壁量 (X 方向)				存在壁量 (Y 方向)			
	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量
4 5 × 9 0 木材	143.00	1	2.00	286.00	91.00	10	2.00	1820.00
4 5 × 9 0 木材	105.00	2	2.00	420.00				
4 5 × 9 0 木材	91.00	4	2.00	728.00				
合計				1434.00	合計			1820.00
判定				OK	判定			OK

1 階側端部分必要壁量の計算

必要壁量 (X 方向)						必要壁量 (Y 方向)					
側端部分 (上)			側端部分 (下)			側端部分 (左)			側端部分 (右)		
床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量
5.59	12.00	67.08	5.59	12.00	67.08	5.59	12.00	67.08	5.59	12.00	67.08

1 階側端部分存在壁量の計算

存在壁量 (X 方向)						存在壁量 (Y 方向)					
側端部分 (上)			側端部分 (下)			側端部分 (左)			側端部分 (右)		
壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量
91.00	2	2.00	364.00	143.00	1	2.00	286.00	91.00	4	2.00	728.00
				91.00	2	2.00	364.00				
合計			364.00	合計			650.00	合計			728.00

1 階壁充足率の計算

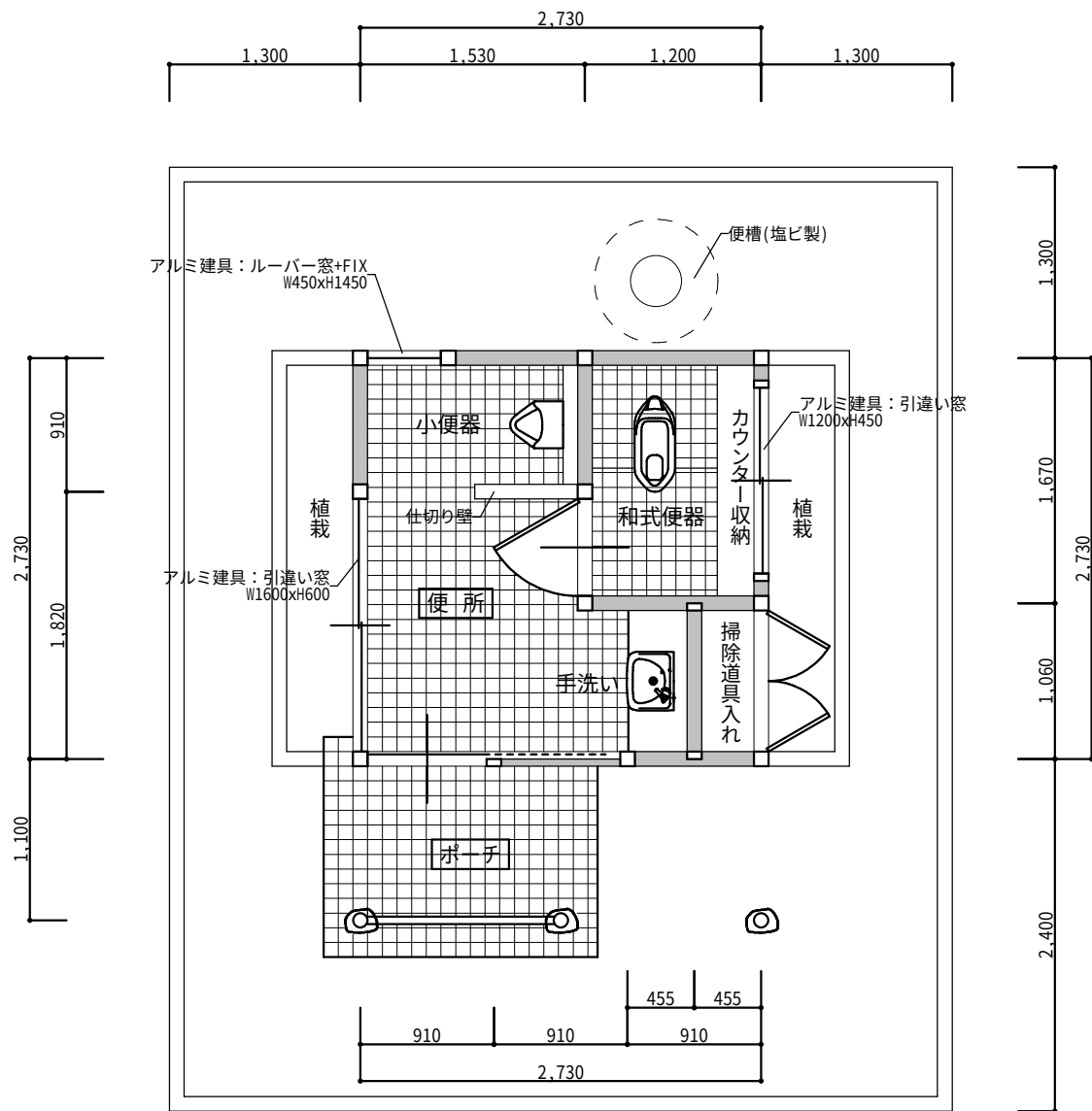
壁充足率 (X 方向)						壁充足率 (Y 方向)					
側端部分 (上)			側端部分 (下)			側端部分 (左)			側端部分 (右)		
存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率
364.00	67.08	5.42	650.00	67.08	9.68	728.00	67.08	10.85	728.00	67.08	10.85

(備考)
・側端部の壁充足率が全て 1 を超えているので壁率比の検討は不要です。

階	柱の番号	A1	補正值	B1	A2	補正值	B2	L	N値	採用N値	接合金物	
		X方向									柱頭部	
		Y方向									柱脚部	
1階	[1]	0.0	0.0	0.8				0.4	-0.40	1.60	(ほ)	
		2.0	0.5	0.8				0.4	1.60		(ほ)	
	[2]	2.0	0.5	0.5				0.6	0.65	0.65	(ろ)	
		2.0	0.5	0.5				0.6	0.65		(ろ)	
	[3]	2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15	0.15	(ろ)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(ろ)	
	[4]	2.0	0.5	0.5				0.6	0.65	0.65	(ろ)	
		2.0	0.5	0.5				0.6	0.65		(ろ)	
	[5]	2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15	0.15	(ろ)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(ろ)	
	[6]	2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15	0.15	(ろ)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(ろ)	
	[7]	2.0	0.5	0.5				0.6	0.65	0.65	(ろ)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(ろ)	
	[8]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.65	(ろ)	
		2.0	0.5	0.5				0.6	0.65		(ろ)	
	[9]	0.0	0.0	0.8				0.4	-0.40	1.60	(ほ)	
		2.0	0.5	0.8				0.4	1.60		(ほ)	
	[10]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[11]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[12]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[13]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[14]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[15]	2.0	0.5	0.5				0.6	0.65	0.65	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[16]	2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[17]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[18]	2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15	0.15	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[19]	2.0	0.5	0.5				0.6	0.65	0.65	(ろ)	
		2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15		(ろ)	
	[20]	0.0	0.0	0.8				0.4	-0.40	1.60	(ほ)	
		2.0	0.5	0.8				0.4	1.60		(ほ)	
	[21]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.65	(ろ)	
		2.0	0.5	0.5				0.6	0.65		(ろ)	
	[22]	2.0	0.5	0.5				0.6	0.65	0.65	(ろ)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(ろ)	
	[23]	2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15	0.15	(ろ)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(ろ)	
	[24]	0.0	1.0	0.5				0.6	-0.10	0.65	(ろ)	
		2.0	0.5	0.5				0.6	0.65		(ろ)	
	[25]	2.0	-0.5	0.5				0.6	0.15	0.15	(ろ)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(ろ)	
	[26]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	-0.60	(い)	
		0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60		(い)	
	[27]	0.0	0.0	0.5				0.6	-0.60	0.65	(ろ)	
		2.0	0.5	0.5				0.6	0.65		(ろ)	
	[28]	0.0	0.0	0.8				0.4	-0.40	1.60	(ほ)	
		2.0	0.5	0.8				0.4	1.60		(ほ)	

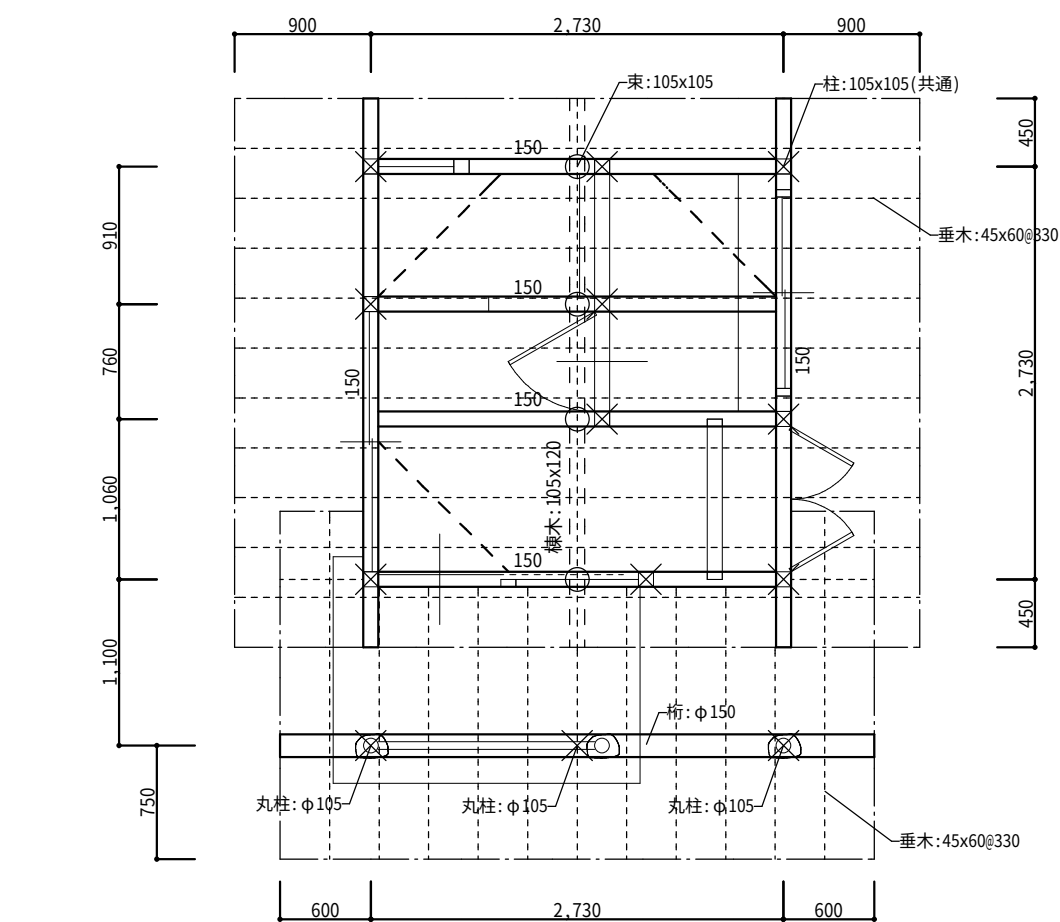
工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	壁量検討図、金物検討図		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 15号
設計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

原設計図
【A 2】
A 2 → A 3
(70.7%縮小)



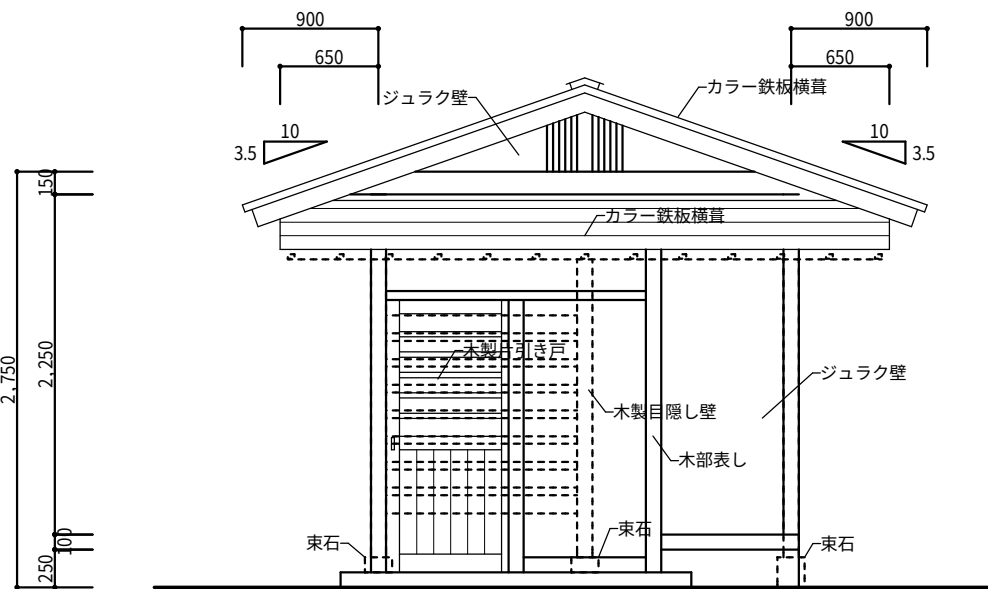
【既存建物】平面図 1/50

※既存建物(公衆便所)は全て解体撤去、
附属する設備機器も撤去する。

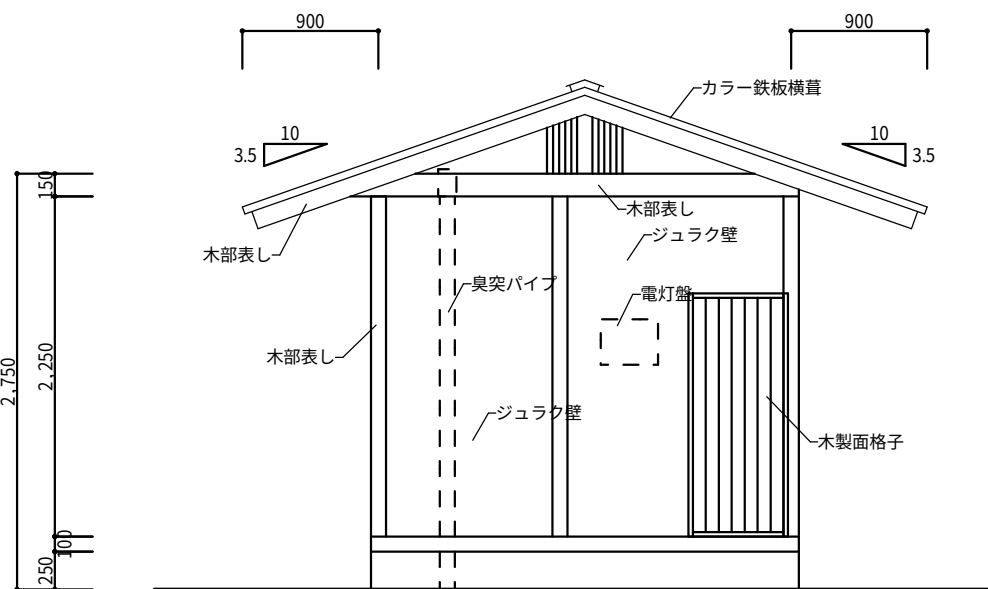


【既存建物】小屋伏図 1/50

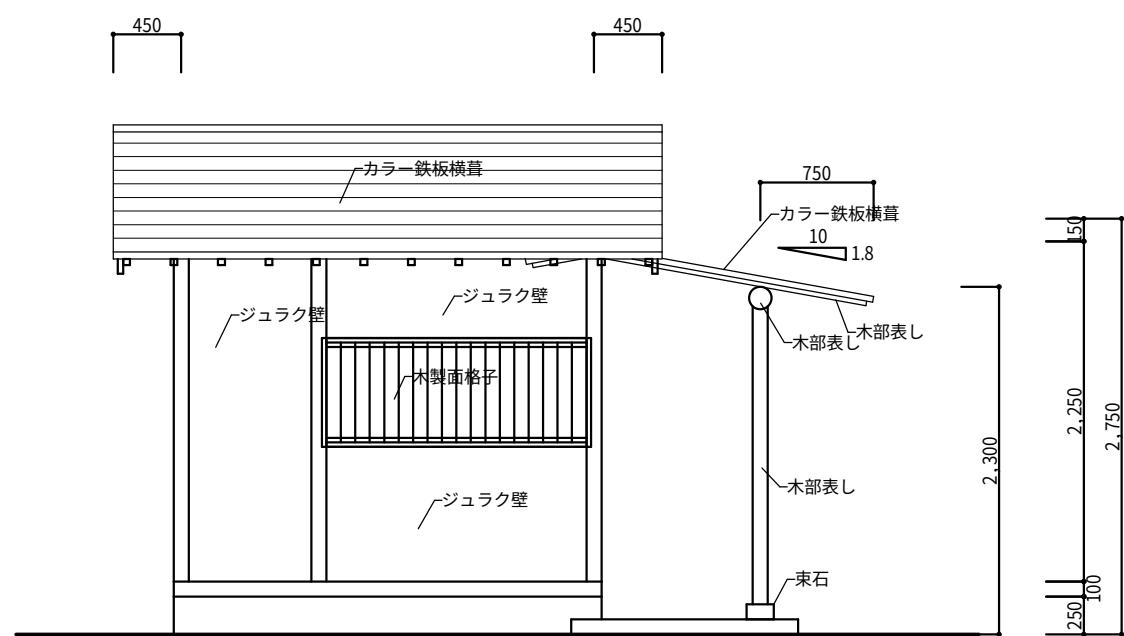
※梁巾は全て105とする。数値は梁成を示す
※見え隠れ部分の部材寸法は同規模建物の寸法を参考にしています。



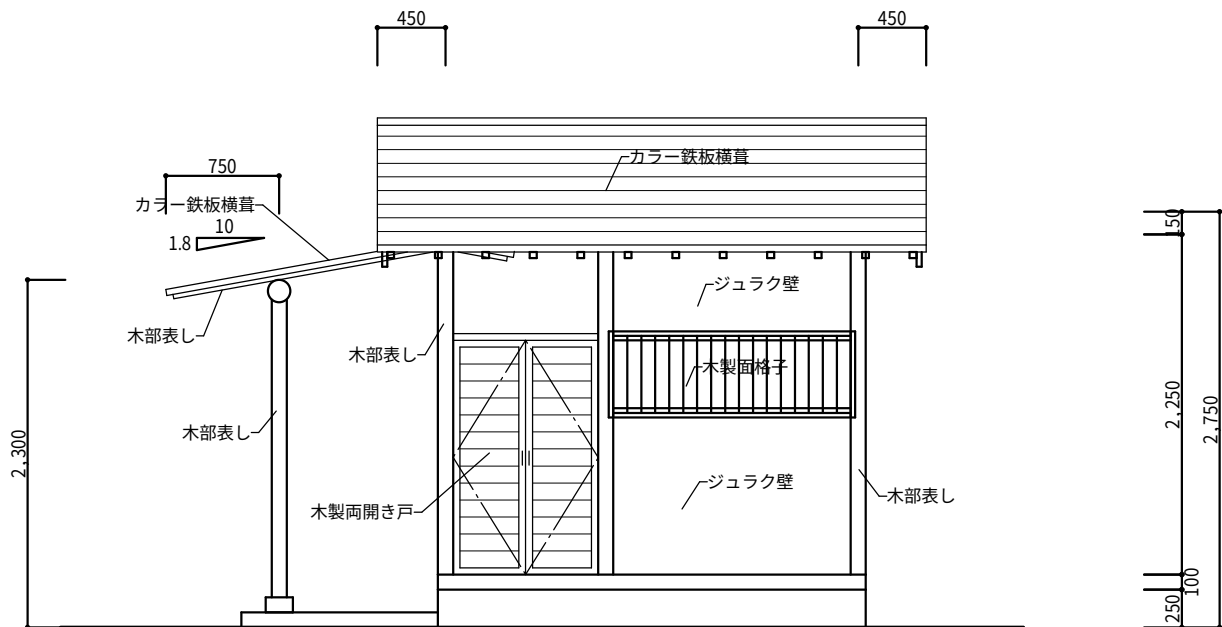
【既存建物】東立面図 1/50



【既存建物】西立面図 1/50



【既存建物】南立面図 1/50



【既存建物】北立面図 1/50

内部仕上表

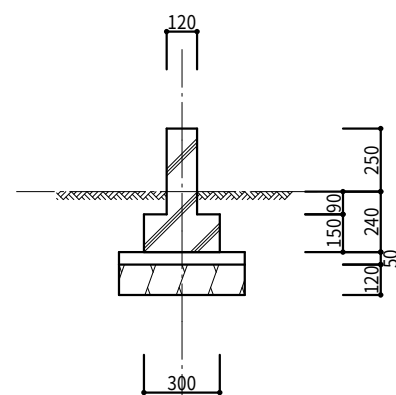
階	室名	床		巾木		壁		廻り縁		天井		備考
		仕上	厚	仕上	厚	仕上	厚	仕上	厚	仕上	厚	
1階	便所	磁器質タイル100角		タイル	—	タイル貼り100x200 (FL+1800まで) ジュラク壁	—	木製	—	ビニールクロス		小便器:1、和式便器:1 手洗い器:1、LED照明:1 白熱灯照明器具:1 カウンター収納棚 外灯照明:1
		コンクリート	120			モルタル下地	—			石膏ボード	9.5	
	ポーチ	磁器質タイル100角		モルタル	—	外壁ジュラク壁	—	—	—	垂木、野地板表し		
		コンクリート	120									



既存建物 内部(大便器+カウンター収納)



既存水飲み場 撤去



【既存建物】基礎断面図 1/30



既存建物 東面・北面



既存建物 西面



既存建物 内部(手洗い)



既存建物 内部(小便器)

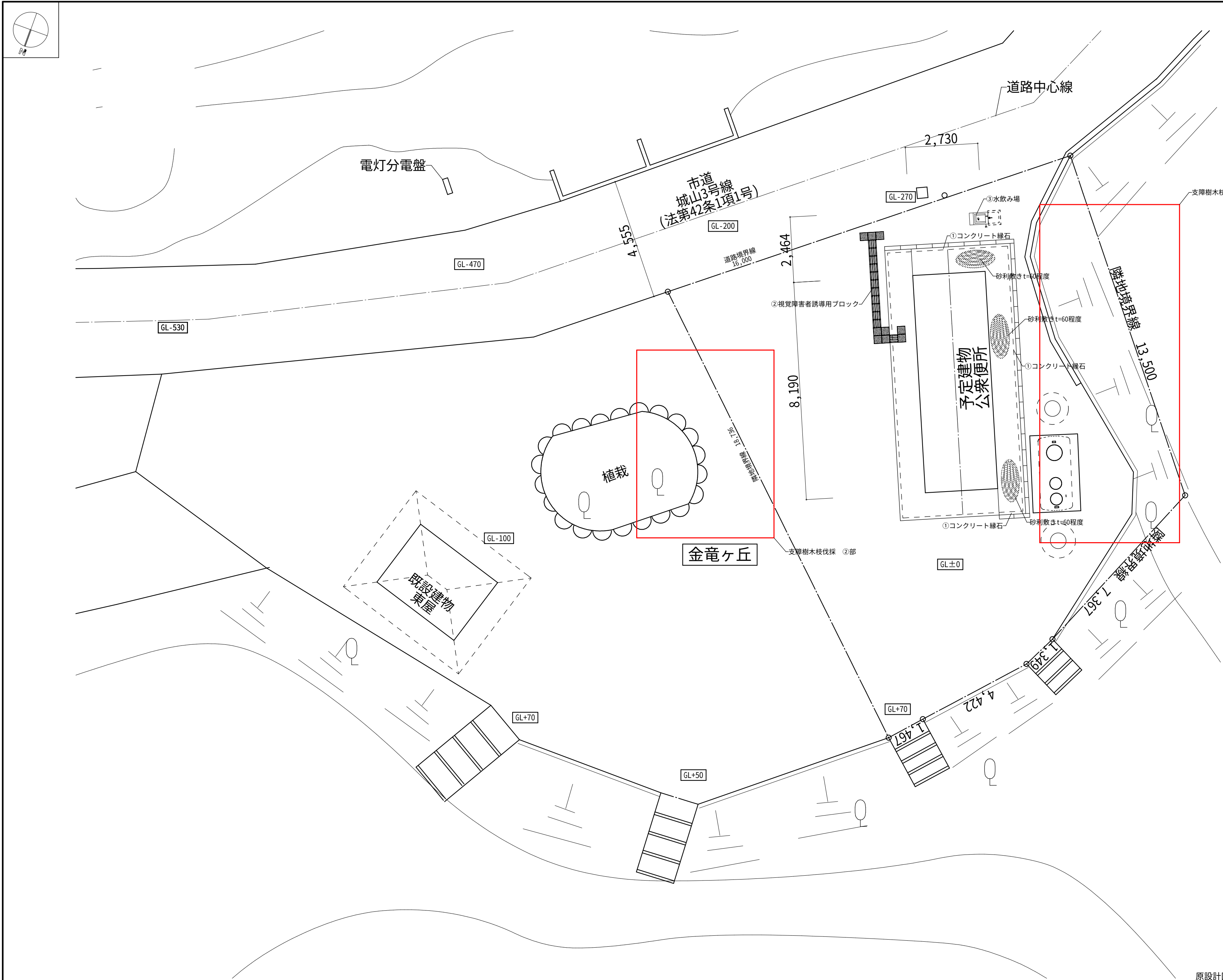


既存建物 内部(大便器+カウンター収納)

注)既存建物見え隠れ部分の部材、寸法などは、建設時の設計図等の資料がないため
同等規模の建物を参考にしています。

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	解体建物 各図		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 16号
設 年 月 日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)



建物隣接支障樹木枝伐採 ①部分



建物隣接支障樹木枝伐採 ②部分

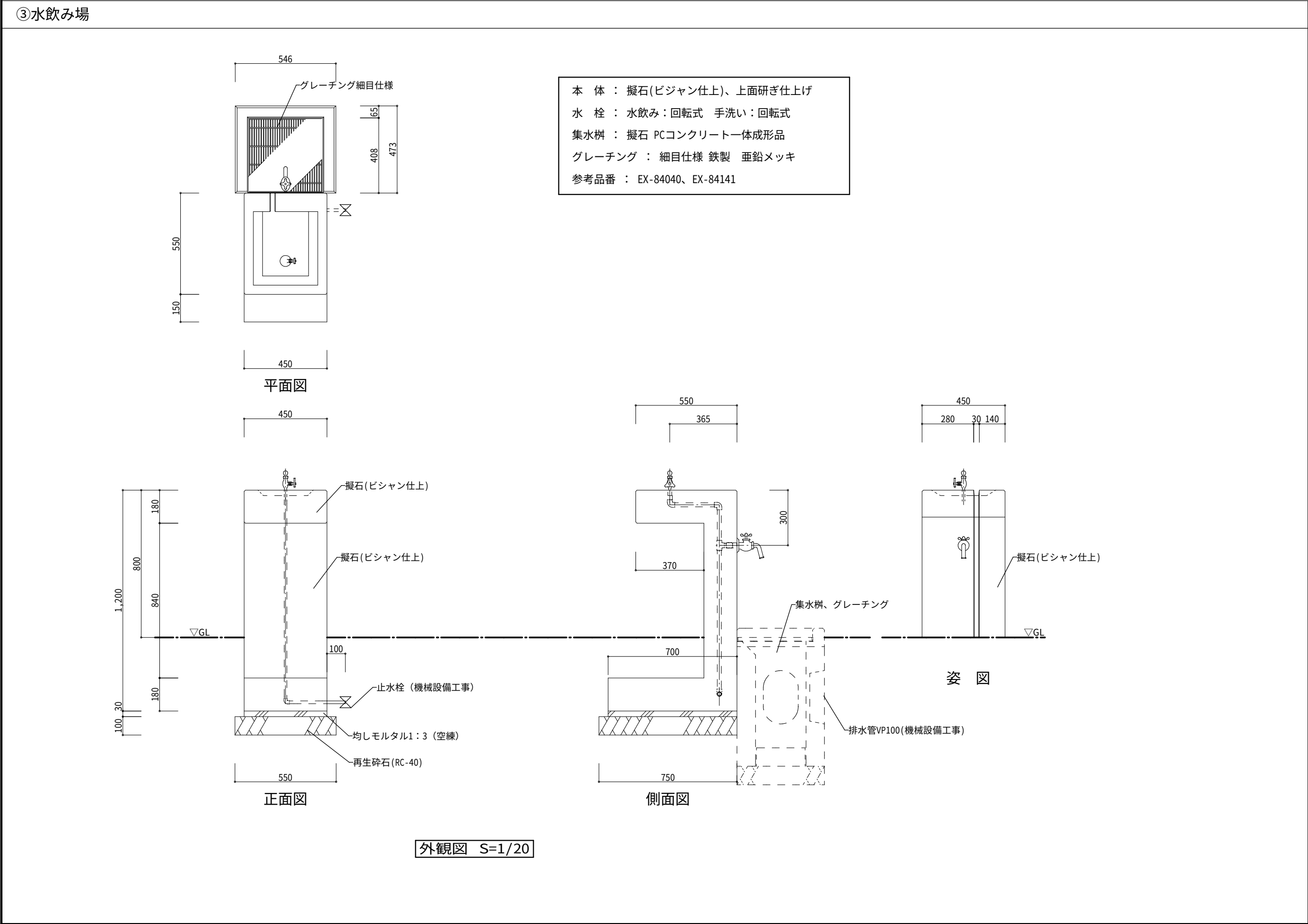
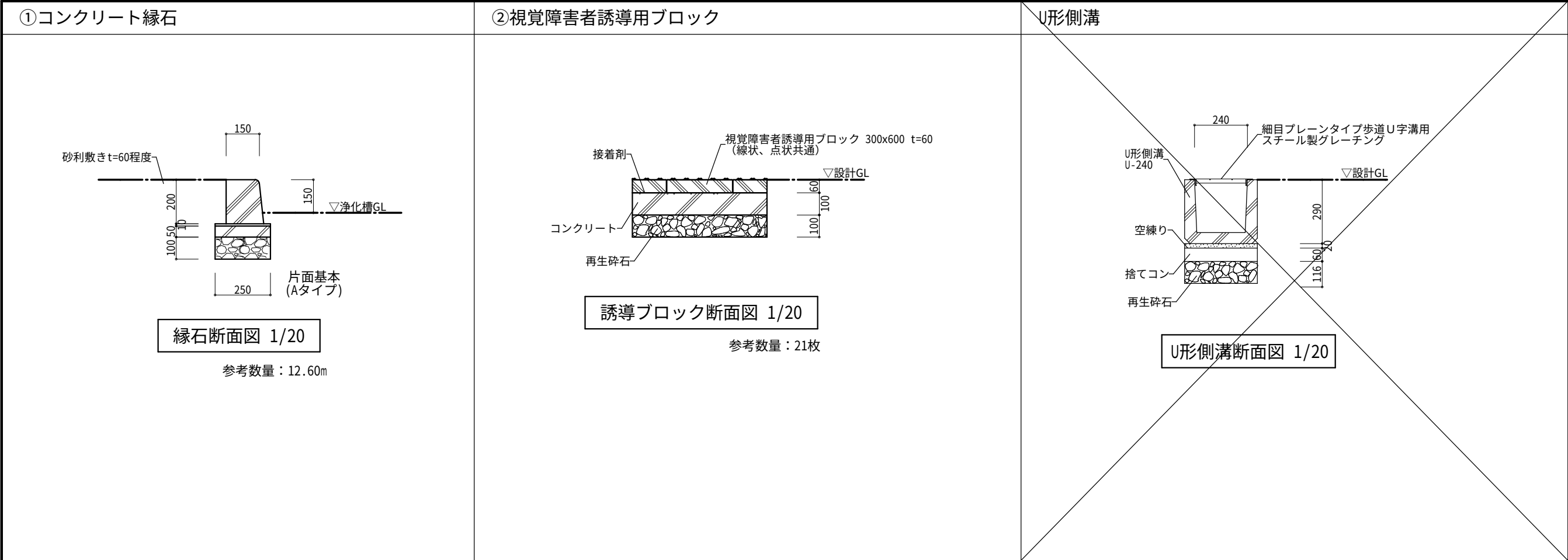


建物隣接支障樹木枝伐採 ①部分

支障枝伐採前に、公園管理者と伐採予定範囲の確認を行う事。
伐採作業時は、落下した樹木等が公園利用者に危害が及ばないよう
十分な作業区画を設置すること。

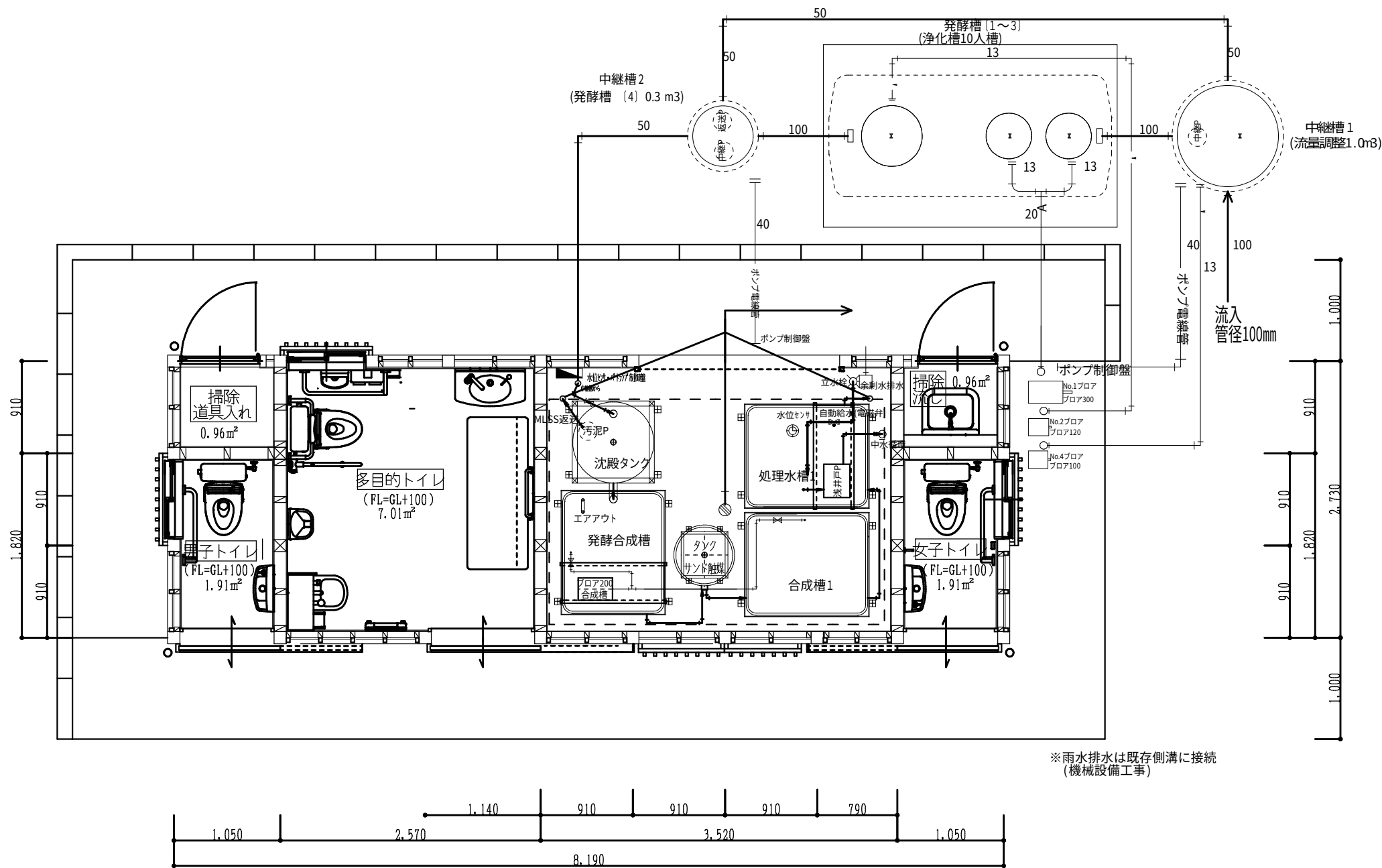
原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名		城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事	
図名		外構・造成図、現況図	
縮尺		1/100	番号 29枚の内 17号
設計年月日		令和8年 7月	
設計		保木建築設計事務所 2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高山市			



原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

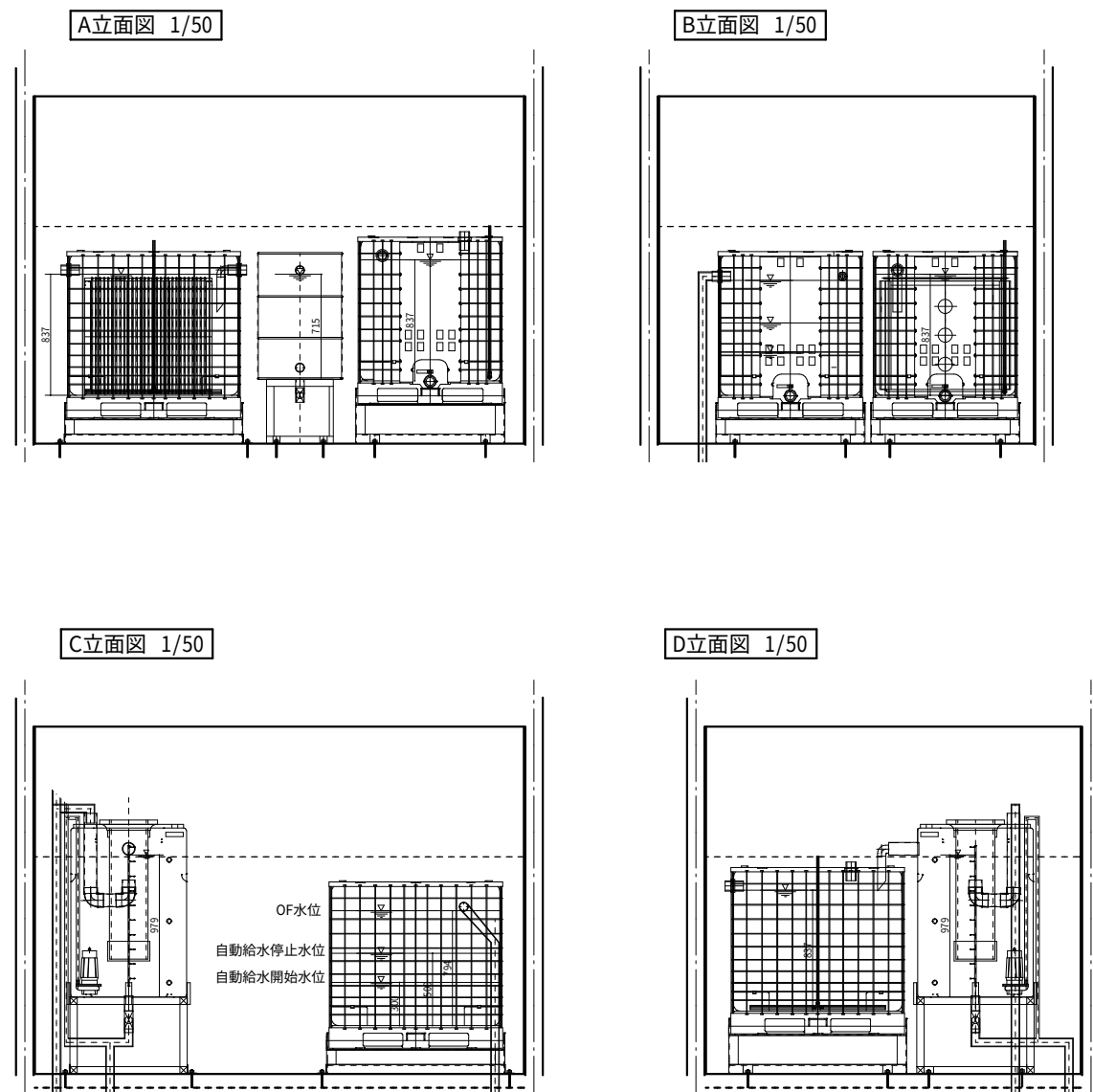
工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	外構各図		
縮 尺	1/20	番号	29枚の内 18号
設 計 年 月 日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



複合発酵式循環水処理装置図 1/50

処理機器メーカー 施工範囲

装置名称	複合発酵式循環水処理独立型トイレ
仕様	処理能力:50回/日 (300ℓ/日) 最大流入量 100回/日×6ℓ/回=600ℓ/日 処理方式:複合発酵式 (中水利用完全循環処理トイレ、基本、汚泥の汲み取りを要しない) (給排水管) 下水道接続不要、洗浄水として循環供給
規格等	[男子トイレ] ・洋式便器(温水洗浄機能付) 1、手洗器 1 [女子トイレ] ・洋式便器(温水洗浄機能付) 1、手洗器 1 [多目的トイレ] ・洋式便器(温水洗浄機能付) 1、オストメイト 1、手洗器 2 [掃除流し] ・掃除流し 1 ※循環処理方式についてはフロー図を参照



城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所・複合発酵式循環水独立型トイレ設備仕様

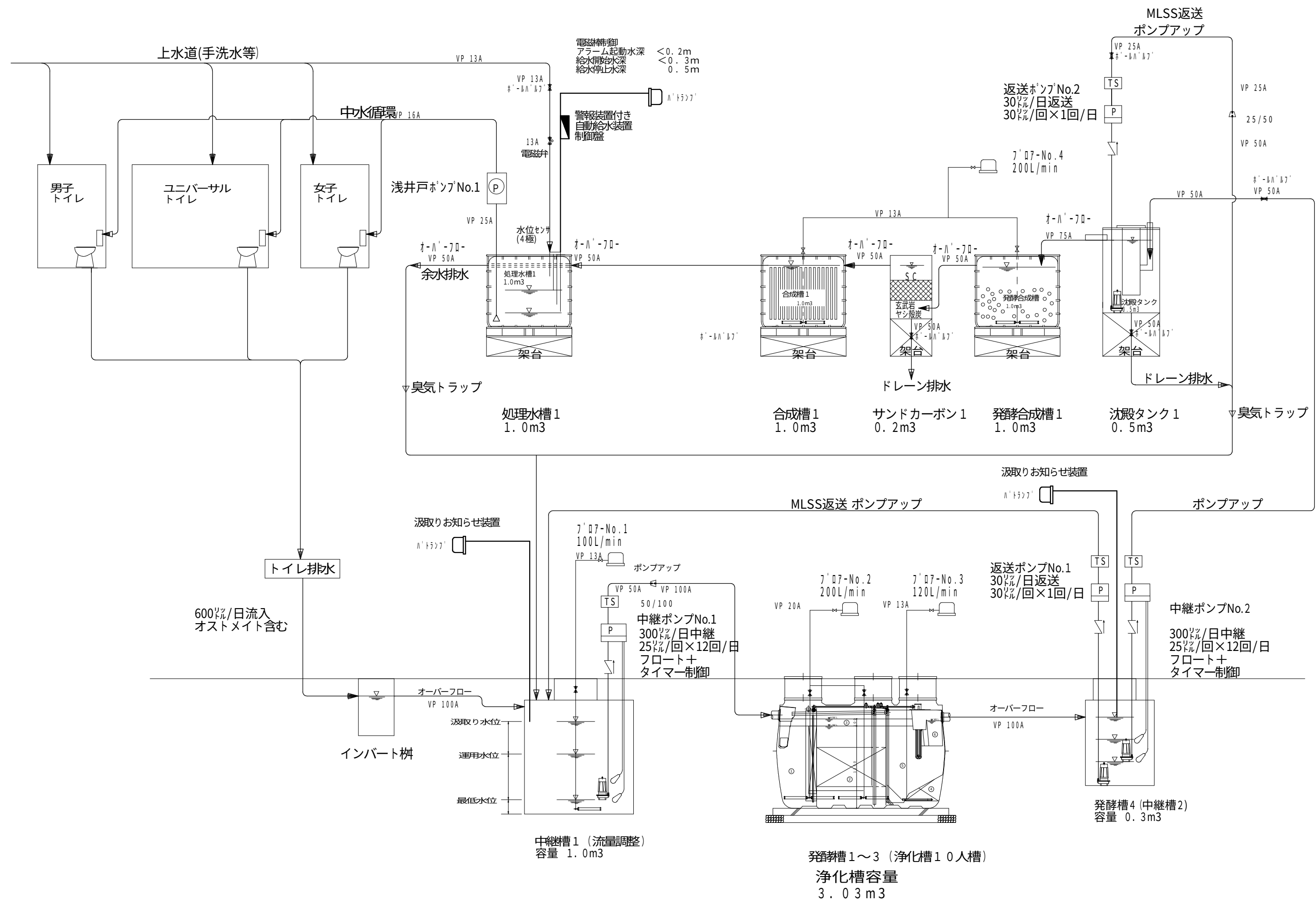
処理設備名称	数量 (基)	容量 (m3)	水位 (mm)	寸法 (mm)	主な材質	備考
沈殿タンク	1	0.5	979	φ800×H1170	樹脂	水深:オーバーフロー管理のため 最低水深の変動なし
発酵合成槽	1	1.0	837	W1200×L1000×H1172	樹脂	水深:オーバーフロー管理のため 最低水深の変動なし
サンドカーボン	1	0.2	715	φ590×H875	SS	水深:オーバーフロー管理のため 最低水深の変動なし
合成槽	1	1.0	837	W1200×L1000×H1172	樹脂	水深:オーバーフロー管理のため 最低水深の変動なし
処理水槽	1	1.0	H.L.500 L.L.300	W1200×L1000×H1172	樹脂	水深:自動給水により水位管理

参考処理方式: 複合発酵式循環水処理方式(メーカー名: RQ)

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	複合発酵式循環水処理装置 各図		
縮 尺	1/50	番号	29枚の内 19号
設 年 月 日 計	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所 複合発酵式循環水処理独立型トイレ 処理フロー図



原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	処理フロー図		
縮 尺	－	番号	29枚の内 20号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

新設

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称

城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事

2. 工事場所

高山市 城山町 地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	消防法施行令別表第一	備考
公衆便所	棟	W	1	22.358	15項 ()
	棟				
	棟				
	棟				
	棟				

4. 工事項目

○印内に番号記入のもの及び○印のみ適用する)

建物名称	公衆便所					屋外 その他
工事項目	棟	棟	棟	棟	棟	
①幹線設備	○					
○動力設備						
②電灯設備						
○照明設備	○					
○コンセント設備	○					
③表示、警報設備	○					
④構内配電線路(強電)						○
○構内配電線路(弱電)						

II. 工事仕様

1. 共通仕様 (○印のみ適用する)

特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

・工事請負契約書

○公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

○公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

・公共建築改修工事標準仕様書 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

・公共住宅建設工事共通仕様書 令和7年度版 (公共住宅事業者等連絡協議会監修)

○内線規程 2022年版 (電気技術基準調査委員会編集)

・放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様 (項目は番号に○印記入のもの、選択時の特記事項は○印のみ適用する)

項目	特記事項
①適用範囲(1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書(質疑応答書を含む)に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(7年版)、公共建築改修工事標準仕様書(7年版)による。
②適用範囲(2)	設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書(添付された場合に限る) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書
③法規等の事項	本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。
④配線器具	配線器具は、下記を標準とする。 ○大角形連用型 ○ワイドハンドル型(スイッチ)
⑤フラッシュプレート	プレートは、下記を標準とする。 ・樹脂製(洋風モダン) ○新金属製 ・電力会社外線工事負担金 ・電話機器納入、取付
6 別途工事	・光ケーブル(CATV)引込工事 ・有線放送引込及び機器納入、取付 ・警備保障配線工事及び機器納入、取付
⑦工事方法	○電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。 ○建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。 ○分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合はC-25とする) ○配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線(1.2m/㎡ビニル被覆鉄線)を挿入する。 ○鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。(エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2回塗り) ○位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。 ○建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中でプルボックス又はジョイントボックスを設ける。 ○FP板(スタyroフォーム等)打込みの部分に取付けれる位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。(外壁部のみ) ○ジョイントボックス等、配線器具を実装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。 ○分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート(樹脂製、エッチング文字)を設ける。

共通事項

⑧その他

①幹線設備

①電気方式

・動力 三相3線式 200V
・〃 三相4線式 V
○電灯 単相3線式 200/100V
・〃 単相2線式 200V
・〃 単相2線式 100V
・鋼製電線管 ○合成樹脂可とう電線管(PF)
○硬質ビニル電線管(VE) ・金属ダクト
・ケーブルラック ・縦ひ配線
・ケーブル配線 ・
ドアの裏面の充電部には、感電防止処置を施す。

②配線方法

1 電気方式 三相3線式 200V
2 配線方法 ・鋼製電線管 ・
・硬質ビニル電線管(VE) ・金属ダクト
・ケーブルラック ・縦ひ配線
・ケーブル配線 ・
3 制御盤
4 その他
ドアの裏面の充電部には、感電防止処置を施す。
別途機器への接続は、本工事とする。

②電灯設備

①配線方法

・鋼製電線管 ・合成樹脂可とう電線管(PF)
・硬質ビニル電線管(VE) ・金属ダクト
・ケーブルラック ・縦ひ配線
○ケーブル配線 ・
・構内連絡用 ○トイレ呼出用 ・夜間受付用
・防犯用 ・侵入警報用 ・警備保障設備
下記に示す設備の配線、機器の取付等はメーカー責任施工とする。
・警備保障会社用配管設備 ・

②用途

3 その他

④構内配電線路(強電)

①電気方式(強電)

・高圧 三相3線式 6,600V
・低圧 三相3線式 200V
○〃 単相3線式 200/100V
・〃 単相2線式 200V
・〃 単相2線式 100V
・放送 ・電気時計 ・電話
・表示、警報 ・インターホン ・テレビ共聴
・自火報 ・LAN ・
(イ)引込等に使用する電柱は下記とする。
・コンクリート柱 ○鋼管柱(既設品) ・パンザーマスト
(ロ)腕金、碍子、支線等の架線器具は、所轄電力会社仕様による。
(イ)布設方法: ○管路式 ○直接埋設式 ・
ケーブル保護材料は下記とする。
○耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE)
○波付硬質ポリエチレン管 (FEP)
・ポリエチレンライニング銅管 (PE)
・配管用炭素鋼々管 (白管)
・厚鋼電線管(防蝕材巻き) (G管)
(ハ)埋設深度は、土冠り0.6m以上とする。
(ニ)ハンドホール等の鉄蓋には、鋳型流し込みで用途名を明記する。
(ホ)埋設標示杭は、地中線路の曲折部分、道路横断部分等に設ける。
又、直線部分が30m続くごとに1本、30mに満たない場合はその間に1本設ける。
(ハ)埋設標示テープ(ダブル)を○標示する ・標示しない

④地中配線

新設

電灯分電盤結線図

名称・仕様	結線図	回路番号	分岐回路										備考及びその他取付機器	
			電圧(V)	分岐開閉器					リモコンリレー	負荷名称	負荷容量(KW・VA)			
				MCCB	ELCB	P	AF	AT			電灯	コンセント	空調機	その他
分電盤名称	L-1		100	SB	1	2P1E	30	20		照明、警報表示	409			10
キャビネット形式	銅板製・扉付		100	SB	1	2P1E	30	20		多目的トイレコンセント		100		
	市販品		100	SB	1	2P1E	30	20		男子トイレコンセント				350
電気方式	相線		100	SB	1	2P1E	30	20		女子トイレコンセント				392
	電圧		100	SB	1	2P1E	30	20		多目的トイレコンセント				370
負荷容量	5.818kVA		100	SB	1	2P1E	30	20		多目的トイレオストメイト				10 (将来1000VA)
			100	SB	1	2P1E	30	20		循環水処理装置室電気暖房機			1000	EH-1
主幹器具	種類		100	SB	1	2P1E	30	20		多目的トイレ電気暖房機			800	EH-2
	定格電流		100	SB	1	2P1E	30	20		男子トイレ電気暖房機			500	EH-3
幹線	種別		100	SB	1	2P1E	30	20		女子トイレ電気暖房機			500	EH-3
	入線方向		100	SB	1	2P2E	30	20		循環水処理装置室				626
備考	CV MAZV 38sq		100	SB	1	2P2E	30	20		外部ブロワー等機器				1106
	下方より		100	SB	1	2P2E	30	20		予備				
MODEL HMD3E5-142			100	SB	1	2P2E	30	20		予備				
						1P E	30			開閉器スペース				
						1P E	30			開閉器スペース				
										計	409	100	2800	2864 6173

新設

照明器具一覧表

注記)メーカー型番は参考とする

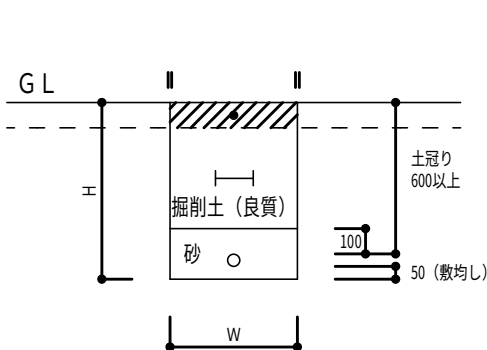
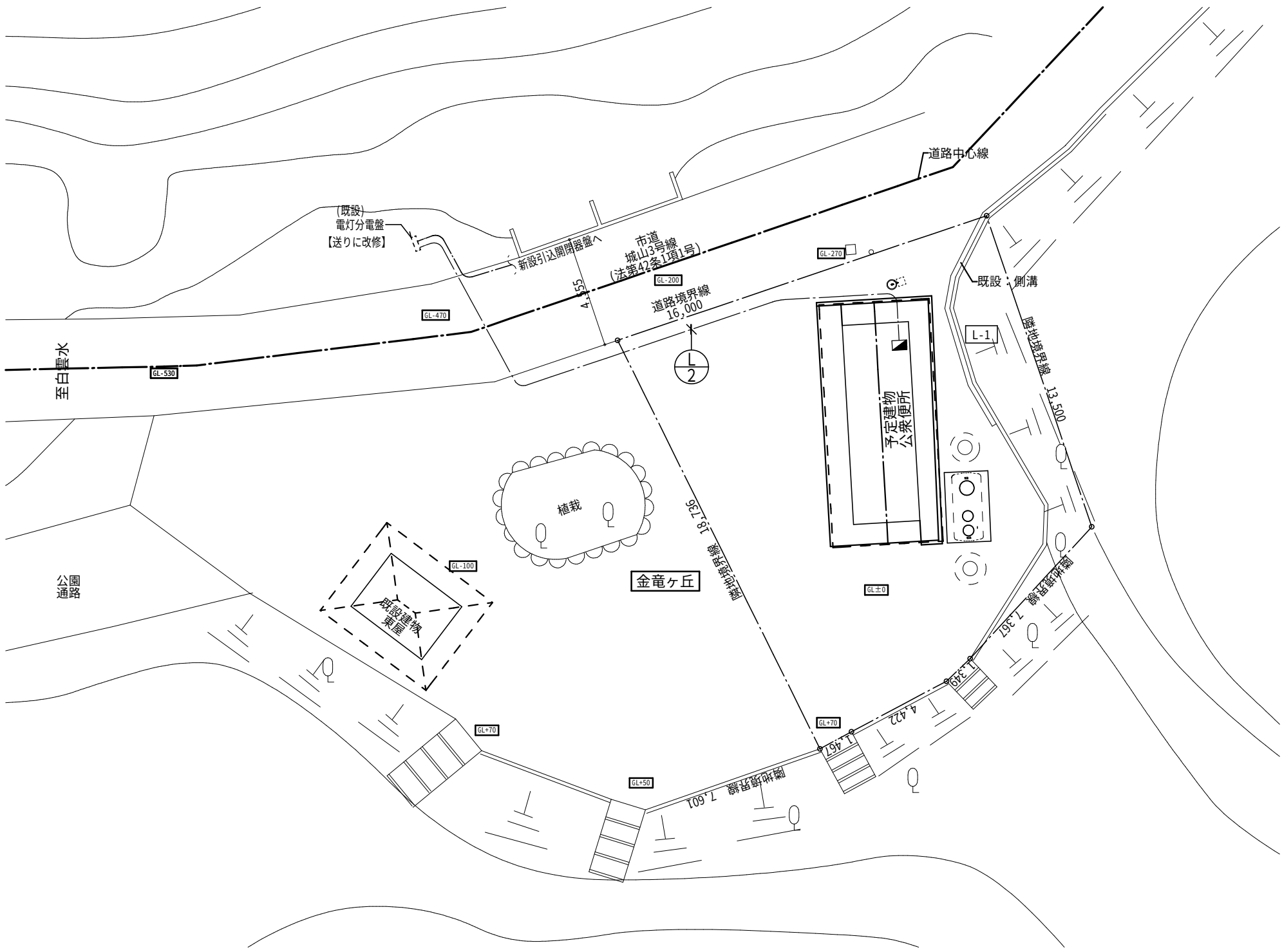
A321H	LED×1(20.6W) (昼白色) 3040lm (FH F32W×1高出力相当)	B1200	LED×1(23.0W) (昼白色) 2820lm	C1001	LED×1(7.6W) (温白色) 840lm (IL100W×1相当)	D401	LED×1(4.3W) (電球色) 352lm (IL40W×1相当)
LSS1MP/RP-4-30 LN	梁下取付						
MODEL) 直付XLIV433NENZ LE9	MODEL) SLB50679 LB1	MODEL) LGB51637 LE1	MODEL) LGW 85056F				
本体 ステンレス(高反射白色粉末塗装)	本体 ブラック	カバー プラスチック(ブラック)	本体 アルミダイカスト(ホワイ				
防湿型・防雨型ライトバー	L:1199	φ:130、H:35	ガラス(乳白つや消し)				
ボルトフリー(100~242V)	100V専用	100V専用	100V専用				
防湿・防雨型			防湿型・防雨型				
光源寿命40000時間(光束維持率85%)	光源寿命40000時間(光束維持率70%)	光源寿命40000時間(光束維持率70%)	光源寿命40000時間(光束維持率70%)				
E401 LED×1(5.0W) (電球色) 347lm (IL40W×1相当)	F401 LED×1(4.3W) (電球色) 274lm (IL40W×1相当)	G101 LED×1(5.0W) (昼白色)					
MODEL) LGW85011U	MODEL) LGW85082F	MODEL) NWF1930 LE1 + FK11571J					
本体枠 木製(オフブラック)	本体枠 木製(桧)	本体 銅板(クールホワイトつや消し仕上)					
カバー アクリル(乳白)	カバー アクリル(乳白)	枠 プラスチック(クールホワイトつや消し仕上)					
100V専用	防雨型	消し文字パネル					
防雨型	光源寿命40000時間(光束維持率70%)	100V専用					
光源寿命40000時間(光束維持率70%)		光源寿命40000時間(光束維持率70%)					

源設計図

A2→A3

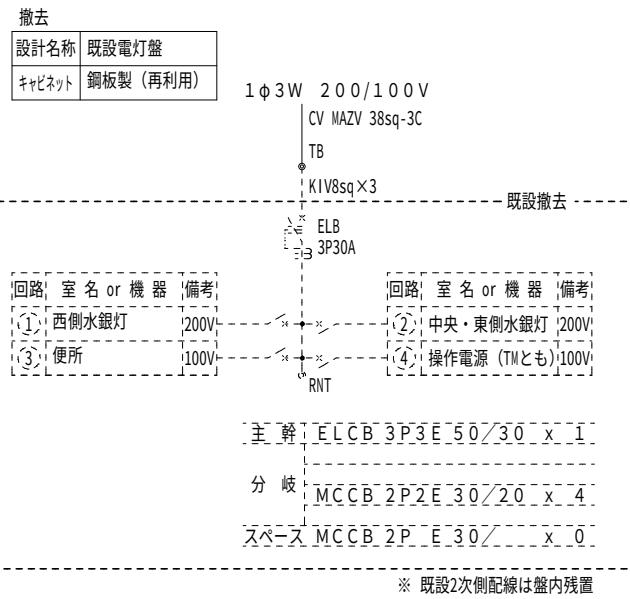
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図名	電気設備工事特記仕様書・電灯分電盤類結線図・照明器具一覧表		
縮尺	—	番号	29枚の内21号
設計年月日	令和8年 7月		
設計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号	保木 和幸
高山市			

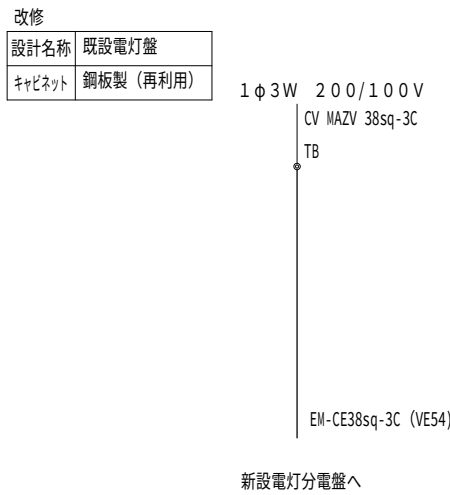


注記1) W、Hは施工上最小限とする。
注記2) ー：ケーブル埋設標示テープ (W)

管路布設土工事標準断面図



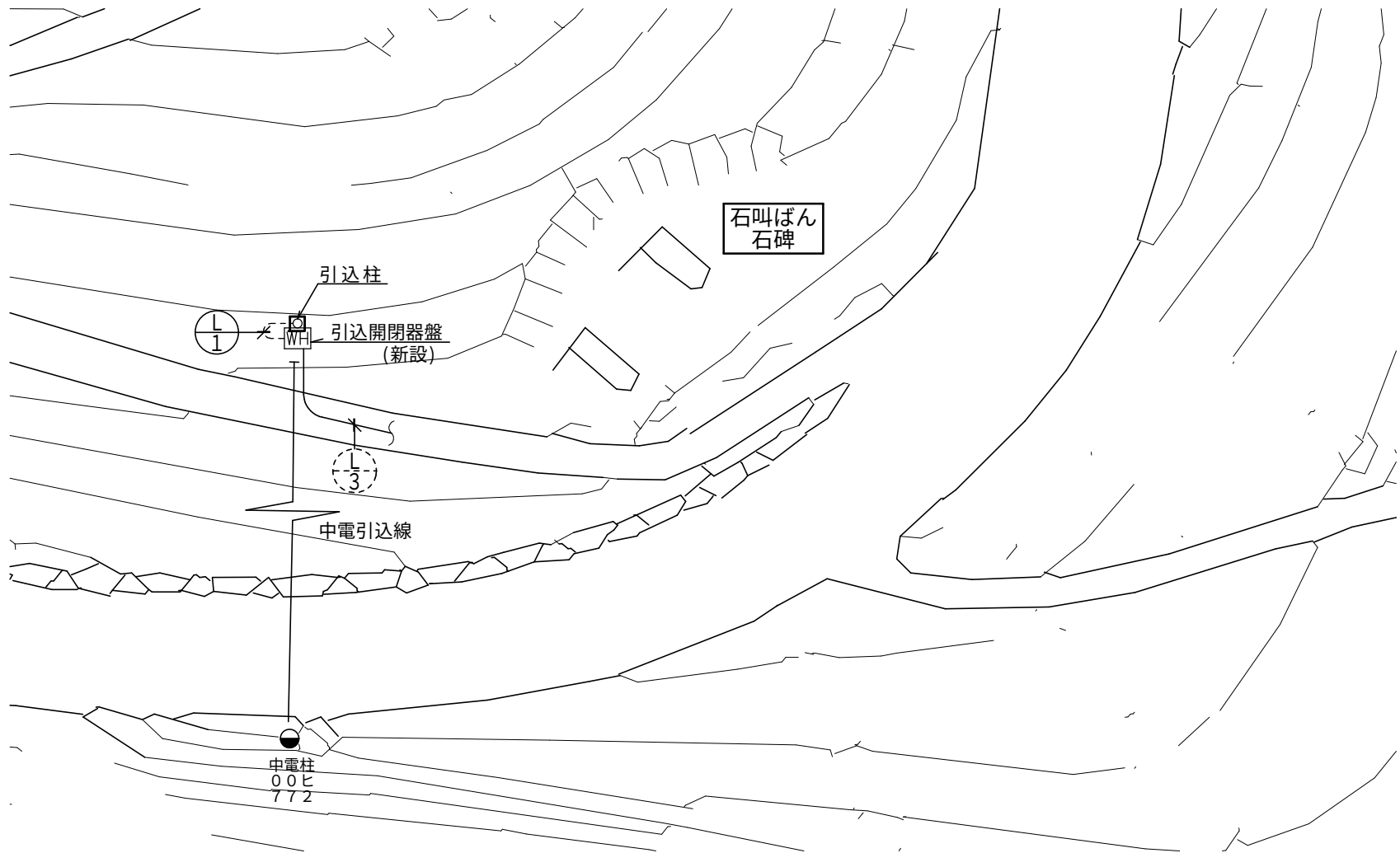
※ 既設2次側配線は盤内預置



新設電灯分電盤へ

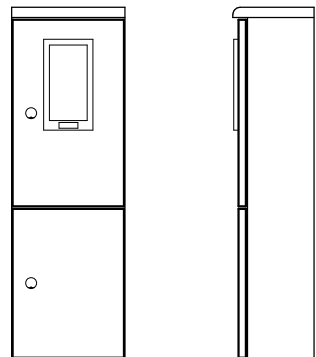
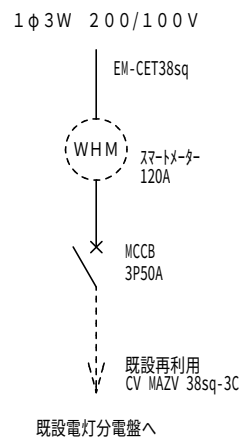
引込柱		
撤去 (現状)	新設 (改修後)	
1φ3W 200/100V	1	1φ3W 200/100V
		1

引込開閉器盤		
撤去 (現状)	新設 (改修後)	
SB 30A	1	MCCB 3P50A
ELCB 3P30A 30mA	1	



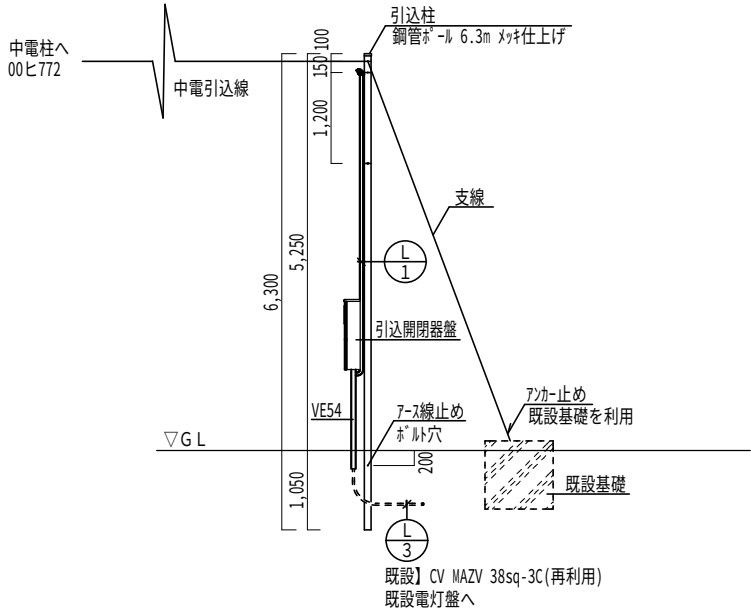
設計名称	引込開閉器盤
キャビネット	市販品 銅板製屋外防雨型 屋根付

中電契約：ﾌﾟﾚｰﾙ契約(10kVA)



MODEL OMS-11B

参考引込開閉器盤図 1/20



参考引込柱詳細図 1/100

線路内訳表

番号	ケーブル・電線	配管						電気方式		用途	送元	行先
		二重天井内	壁内保護管	22㍉引込	隠蔽(屋内)	露出(屋内)	露出(屋外)	相	電圧			
①	EM-CE 38sq-3C						PE54	1φ3W	200/100V	電灯引込	新設引込口	新設引込開閉器盤
②	EM-CE 38sq-3C		PF-S54	PF-S54		PE54	PE54	1φ3W	200/100V	電灯	既設電灯分電盤	新設L-1
③	CV MAZV 38sq-3C							1φ3W	200/100V	電灯	新設引込開閉器盤	既設電灯分電盤

既設再利用

源設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	構内配電線路図		
縮 尺	1/200、100、20	番 号	2 9 枚の内 2 2 号
設 計 年月日	令和8年 7月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

機械設備工事 特記仕様書

A. 工 事 概 要

1. 工事名称	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事
2. 工事場所	高山市城山 地内
3. 用途地域等	都市計画区域 ○ 都市計画区域内 (・ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 ○ その他) ・ 都市計画区域外 用途地域 ・ 第一種低層住居専用地域 ・ 第二種低層住居専用地域 ・ 第一種中高層住居専用地域 ・ 第二種中高層住居専用地域 ・ 第一種住居地域 ・ 第二種住居地域 ・ 準住居地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域 ○ 用途地域の指定のない区域 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし その他の指定 ○ 建築基準法第22条指定区域内 ・ 建築基準法第22条指定区域外 ・ 指定なし

4. 建物概要					
建 物 名 称	構造及び階数	延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備 考
公衆便所	W-1	22.36㎡	－	－	改築

5. 工事種目	(・ (B)が付いたものが対象)						
工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別					
	公衆便所	***	***	***	***	***	屋 外
○暖房設備	○						
○換気設備	○						
・ 排煙設備							
・ 自動制御設備							
○衛生器具設備	○						
○給水設備	○						
○排水通気設備	○						
・ 給湯設備							
・ ガス設備							
・ 消火設備							

6. 設備概要	(○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)						
方式及び種別	設 備 概 要						
・ 空調方式	・ダクト方式(・ 各階ユニット ・ 中央) ・パッケージ方式(・ マルチ ・ 個別)						
○暖房方式	・ファンコイルユニット・ダクト方式 ・ ガスエンジン・ヒトポンプ方式 ○電気暖房器(凍結防止)						
・ 自動制御方式	・電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御						
○給水方式	・水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式 ○ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式						
○排水方式	建物内汚水、雑排水 (○合流式 ・ 分流式) ポンプ排水 ・ 有(・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧水) ・ 無 建物外放流汚 水(・ 下水管直放流 ・) 雑排水(・ 下水管直放流(生活排水) ・ 側溝)						
・ 消火設備の種別	・屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連結散水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備(・)						
・ ガスの種類	・都市ガス(種別: 発熱量 MJ/m (N) 供給事業者名) ・液化石油ガス(・ ボンベ ・ バルクタンク ・)						

B. 工 事 仕 様

1. 一般仕様	1) 新設工事共通仕様書 (1) 特記仕様、図面及び現場説明書(現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和7年版)による。 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。 (3) 改修工事共通仕様書 (1) 特記仕様書、図面及び現場説明書(現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和7年版)による。 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。 (3) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(1)～(5)の順番とおりとする。 (1) 質疑回答書(2) 現場説明書(3) 特記仕様(4) 図面(5) 標準仕様書及び標準図 この仕様書は下記の要領により適用する。 1) 章は●印の付いたものを適用し、項目は○印内に数字のあるものを適用する。 2) 特記事項は ○印だけを適用する。 3) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が寄せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第27条(臨機の措置)によって処理されるものとする。
2. 特記事項	

章	項 目	特 記 事 項
●一般共通事項	① ・ 法令その他	本工事は工事に関する法令・条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とするものにあつては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、CORINS「工事実施情報サービス」への登録を原則とする。
	2 ・ 工事実績情報の登録	
	③ ・ 機材等	1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。ただし、仮設工事材料・その他に指定したものは新品でなくともよい。また、これらの機器・機材は監督員の承諾を受け施工する。 2) 主要材料については、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。 3) 設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上の程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。
	④ ・ 環境への配慮	使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。 ・ 要 ・ 不要(※建築工事)
	5 ・ 室内汚染物質の測定	基準以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準以上だった場合は、直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用の全ては受注者の負担とする。
	6 ・ 発生材の処理	1) 引き渡しを要するもの(・) 2) 特別管理産業廃棄物 (・) 3) 再生資源化を図るもの(・) 4) 石綿含有品 (・ 配管用成形保温材・フランジ用ガスケット(・ 配管 ・ ダクト・ボイラー本体))
	7 ・ 建設廃棄物	撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理をする。 配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事に撤去する。 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。 混合物の処理については管理最終処分場に持ち込むものとする。
	8 ・ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書	建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書(COBRIS)を提出すること。
	⑨ ・ 残土処分	建設発生土(建設工事に伴い発生する土砂等)を撤出又は搬入する場合は「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」(平成19年4月1日施行)を遵守すること。またその実施に際しては事前に計画書を作成し監督員へ提出、承認を得ること。 ・ 土壌検査(・ 実施する ・ 実施しない ・ 実施済み) ・ 構内敷均し ・ 場外搬出(処分) ・ 別契約の関係受注者(包含工事の場合は元請)が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。
	10 ・ 足場その他	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の種別は以下による。 ・ 内部足場(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種) ・ 外部足場(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)
	⑪ ・ 機材(工事材料)の検査等	使用する機材について、自主検査記録(任意様式)を作成すること。ただし、主要な機材については監督員の検査を受ける。なお、監督員検査の結果、合格とされた機材と同じ種別の機材は、以後原則として抽出検査とする。 また、製造工場等における検査を行う機材については、監督員の指示による。
	⑫ ・ 技能士	○配管(建築配管作業) ・ 熱絶縁施工(保温保冷工事作業) ・ 建築板金(ダクト板金作業) ・ 冷凍空調和機器施工(冷凍空調和機器施工作業) ・ 空気圧縮装置組立て(空気圧縮装置組立て作業) ・ 塗装(・ さく井(・ パーカッションさく井工事作業 ・ ローター式さく井工事作業) ・ 鉄工(・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業)
	13 ・ 検査	中間検査 ・ 対象工事(対象部分:) ・ 対象外工事
	14 ・ 概成工期	工事施工途中における技術検査の対象箇所・実施回数等は監督員の指示による。
	15 ・ 火災保険等	総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。
	⑬ ・ 施工計画書	工事施工中、火災保険又は、それに代わる請負賠償責任保険等に参加し、証書の写しを提出する。 1) 総合施工計画書(仮設含む) 2) 工種別施工計画書
	⑭ ・ 施工図等	施工図等の著作権にかかる使用権は、発注者に移譲するものとする。

●一般共通事項

⑬

・ 軽微な変更等

19

・ 工事写真

20

・ 完成図書

21

・ 監督員事務所

22

・ 工事用水・電力等

23

・ 電気保安技術者

24

・ 工事用仮設物

25

・ 総合調整

26

・ 耐震措置

27

・ 案内板

⑮

・ 配 管

⑲

・ 地中埋設標等

1) 本仕様書・設計図に明記なき事項でも本工事完成の為機能上・構造上・外観上当然施工を要する事項は請負金額の増減なく完全に施工のこと。

2) 本設計図書内明記の既設配管は、既設図面及び所轄支所担当課指示に基づき作成されている為、既設の状況と図面との間に差異が生じ、本設計書による事が困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従い施工する。
国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)・同解説「工事写真の撮り方(建築設備編)」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
高山市監督員の指示による。
・ 設けない ・ 設ける(・ 既設建物を使用 ・ 構内に新設)
本工事に必要な工事用電力・水等及び諸手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。
・ 要 ・ 不要
構内につくことが(・ できる ・ できない)。
○本工事として下記の測定表を提出する。
総合調整の項目
・ 風量調整 ・ 水調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内空気流じんあいの測定
・ 騒音の測定 ・ 振動調整 ・ 初期運転状態の記録 ・ 飲料水の④水質の測定(残留塩素)
耐震措置の計算及び施工方法は次のよほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。

1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数[・ 1. 0
・ 1. 2]及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

部 位	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上・及び塔屋	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中間階	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
1階及び地下階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。
・ 給水機器() ・ 排水機器()
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
・ 避難経路上に設置する機器
2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。
機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した案内板を設備機械室に設ける。

1) 呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は、下記による。
メカニカル形管継手(・ 拡管式 ・ プレス式)
2) 建物導入部配管の変位吸収方法は標準図施4・5(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。
・ (a)フレキシブルジョイントを使用 ・ (b)ボールジョイントを使用 ・ (c)スロークッション
3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要()
4) 給水に使用するポリエチレン管は、呼び径50以下は○1種(軟質)・2種(硬質)の2層管とし75以上の管は、JWWA K 145 による。
5) 呼び径50以下のポリエチレン管の継手は下記による。
○金属継手(JWWA B 116)
1) 地中埋設配管(排水管を除く)
(1) 地中埋設標 ○ 要(分岐点・曲点) ○樹脂製(SUSプレート) ○鉄製) ・ 不要
(2) 埋設表示テープ ○ 要(表示テープ) ・ 要(ローケーティングワイヤー) ・ 不要
2) 埋戻土及び盛土
○ 根切土中の良質土 ・ 場外搬入土
○ 山砂の類 管下:100mm、管上:100mm。
3) 地中埋設の銅管類(排水配管の銅管類及び合成樹脂等で外面を被覆された部分は除く)の防食処理
・ ベトロラムタム系 ・ プチルゴム系 ・ プラスチックテープ
4) 保温を施さないの銅管類でコンクリートへ埋込又は貫通部の防食処理
・ ベトロラムタム系 ・ プチルゴム系 ・ プラスチックテープ

原設計図
[A.2]
A.2→A.3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	機械設備工事特記仕様書 1		
縮 尺	－	番 号	29枚の内 24号
設 計 年月日	令和 8 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

●一般共通事項

○井類

31絶縁フランチ・絶縁継手

32銅管用伸縮管継手

33防振吊り金物及び防振支持金物

○保温工事

35塗装

○はつり

37天井仕上区分

○他工又は他工程とのとりあい

39電線類

○その他

特記のない井の耐圧は、JIS又はJV 10Kとする。
油系に使用する井の耐圧は、10K(マレアル弁等)とする。
水道直結給水配管系に使用する井の耐圧は、JIS又はJV 10Kとする。
ステンレス鋼管に取り付ける呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。
○弁名札及び開閉状況札を取付ける。

図示の位置に取り付ける。
・ベローズ形 ・スリーブ形

図示の位置に取り付ける。

1)標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。
・多湿箇所 室名:
・共同溝内 ダクト: 配管:
2)保温の種類(下記表の他は標準仕様書による)
 保温材料の種類:〔イ〕ロックウール保温材 〔ロ〕グラスウール保温材 〔ハ〕ポリスチレンフォーム保温材

仕様区分\種類	衛生設備			空調設備			
	給水管	排水管	給湯管	冷媒管	ドレン管	長方形ダクト	スパイラルダクト
屋内露出部							
機械室等							
天井内・室内等	C・ロ・VII	C・ロ・VII					N・イ・XI
床下等							
屋外露出等							
土間							

・保温無し屋外出の配管及びダクトは塗装を行う。(ただし、機械室内及び屋上は除く)
・
鉄骨のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。
穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋探査を行う。
()書きの室名は直天井を示し、その他の二重天井を示す。
図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
電線類は、EMケーブルを使用する。(機器・盤類を除いてもよい)
屋外設置のマノホール類には用途名を入れる。
屋外用使用する鋼材等は、()・溶融亜鉛めっき仕上げ ・ステンレス鋼材」とする。

●改修関係事項

○既設との取合い

○施工調査

3仮設間仕切

4養生

5既設ダクトの再利用

6非破壊検査

7試験

8あと施工アンカー

9撤去工事

10冷媒(フロン類)の回収

1)本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
2)撤去及び取壊し工事は、既存設備の概要を充分に調査・把握・検討した後着工する事。
事前調査 ○本工事 ・別途
調査項目 ・既存資料調査
調査範囲・方法 ・図示 ○工事範囲
仮設間仕切りは、改修標準仕様書第1編2.2.3による。種別(・A種・B種・C種)
既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。
改修標準仕様書第3編2.2.8「既設ダクトの再利用」による。
改修標準仕様書第3編2.2.9「ダクト清掃」を ・行う ・行わない
放射線透過検査等による埋設物の調査は(・要 ・不要)とする。
範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。
1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。
2)新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
改修標準仕様書第2編5.1.3「インサート及びアンカー」による。
下記の試験を行う場合には、範囲は監督員と協議による。
・アンカー引抜試験 (・性能確認試験 ・施工後確認試験)
検査数量については、1ロット3程度とする。

撤去する配管 断熱材被覆鋼管を含む)、ダクト等の保溫は分離する。
撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事に伴って撤去する。
石綿含有分析調査 ・本工事 ・別途工事
石綿撤去方法 ・本工事 (・図示による) ・別途工事
業務用冷凍空調機器の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第1編2.4.3により、次の書類の写しを監督員に提出する。
・冷媒充填・回収証明書 ・特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)
撤去する前にフロンを屋外側ユニットに集める作業(ポンプダウン)を行う。
パッケージ型空気調和機の移設等により、冷媒の回収・再充填が必要となる場合においては、上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講じること。

●暖房設備

○設計温度

2はいじん量測定口

3はいん量測定計取付座

4ダクト

5チャンバー

6ダンパー

7風量測定口

8配管材料

9井類

10温度計・圧力計

1)設計温度

2)はいじん量測定口
3)はいん量測定計取付座
4)ダクト

5)チャンバー

6)ダンパー

7)風量測定口
8)配管材料

9)井類

10)温度計・圧力計

外気

一般系統

温度(DB)

湿度(RH)

温度(DB)

湿度(RH)

温度(DB)

湿度(RH)

温度(DB)

湿度(RH)

凝結防止系統

夏季℃%

冬季℃%

湿度(RH)

成行℃%

設ける(測定口は30mm以上とし、取り付け箇所は建物の直縁部とする)
・設ける ・設けない
・低圧ダクト ・コーナーボルト工法(長辺の長さ1,500mm以下の部分)
・アングルフランジ工法
・高圧1ダクト(範囲は図示による。)
1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
2)空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには内貼したチャンバーには点検口を設置し、寸法は図示による。
3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞溜のないように施工する。
1)防煙ダンパー 復帰方式(・遠隔(定格入力DC24V 0.7A以下) ・)
2)ピストンダンパー 復帰方式(・遠隔 ・)
図示の位置に取り付ける。
1)冷温水管 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・
・架橋ポリエチレン管(20A以下)
2)冷却水管 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・
3)空調用排水管 ・配管用炭素鋼鋼管(白)※屋外露出部 ・
・硬質ポリ塩化ビニル管
4)冷媒管 ・断熱材被覆鋼管(難燃性)
5)膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管(白)とする。
6)加温用給水管 ・ステンレス鋼管 ・ポリ粉体鋼管(PA又はPB)
・塩ビラインング鋼管(VA又はVB)
7)蒸気管 給水管 ・配管用炭素鋼鋼管(黒) ・
・圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40
・遠管 ・圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch80
8)油管 ・配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ポリエチレン被覆鋼管 ・灯油用被覆鋼管
1)冷温水コイル廻り(標準図)の弁は(・仕切弁・バタフライ弁)とする。
2)蒸気加熱コイル廻り(標準図)の弁は仕切弁とする。
3)ファンコイルユニットと冷温水管の接続部(往・還)には、ボール弁を取り付ける。
また、ファンコイルユニットには、(・流量調整弁・定流量弁)を設置する。
下記表に○をつけた箇所を設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。

機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計	
			入口側	出口側	入口側	出口側
冷温水機	冷温水	円形指示計	-	-	-	-
	冷水機	円形指示計	-	-	-	-
パッケージ型 空気調和機	サブライチャンバー	円形指示計	-	-	-	-
	レタンチャンバー	円形指示計	-	-	-	-
ユニット形 空気調和機	冷温水	円形指示計	-	-	-	-
	サブライチャンバー レタンチャンバー	円形指示計	-	-	-	-
熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	-	-	-	-
ヘッダー	水循環	円形指示計	-	-	-	-

瞬間流量計はどー管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。
なお瞬間流量計の形式は、(・固定式 ・着脱式)とする。
着脱式の場合、(40A 個 100A 個)を付属する。
制御盤には(・給油ポンプ制御)・返油ポンプ制御)・漏えい検知警報 ・満油警報 ・減油警報 ・遠隔警報
・電磁弁制御)の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部に制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製(油面検出部)とする。
標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。
・膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保溫は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。
・建物内の空気抜き管の保溫は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜き弁までとする。
・空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保溫は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。
・冷媒管の保溫外装は下記による。ただし、天井内、機械室内、PS内は保溫外装不要
 屋内露出(・合成樹脂製カバー ・保溫化粧ケース(材質:))
 屋外露出(・ステンレス鋼板 ・保溫化粧ケース(材質: 鋼板ダクト及び樹脂カバー)
・カラー亜鉛鉄板 ・溶融アルミニウム-亜鉛鉄板)
・外気取入れ用ダクトの保溫要 (保溫の厚さ25mm、範囲は図示による)
・排気用ダクトの保溫要 (保溫の厚さ25mm、範囲は図示による)
・送気用ダクトの保溫要 (保溫の厚さ25mm、範囲は図示による)

○換気設備

○ダクト

2風量測定口

3ダンパー

4シールする排気

5チャンバー

○保温

○低圧ダクト ・コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分)
・アングルフランジ工法
○スパイラルダクト ・フレキシブルダクト(・保溫付 ・保溫無)
・高圧1ダクト(範囲は図示による。)
・ステンレスダクト及び強化ビニルダクト(範囲及び仕様は図示による)
・厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。
範囲は図示による
図示の位置に取り付ける。
空気調和設備の当該項目による。
・厨房系統 ・浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 ・

空気調和設備の当該項目による。
次のダクトは保溫を行う。
○外気取入れ用ダクトの保溫要 (保溫の厚さ25mm、範囲は給気口まで全て)
・排気用ダクトの保溫要 (保溫の厚さ25mm、範囲は図示による) ※外壁より1m
・多湿箇所のダクトの保溫要 (保溫の厚さ50mm、範囲は図示による)

●衛生器具設備

①

・大便器

②

・小便器

③

・水栓

④

・掃除流し

⑤

・和風大便器

耐火カバー

洋風便器の洗浄弁の洗浄水量は8.5L/回以下とする。ただし、タンク式の洗浄水量は6.5L/回以下とする。
洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。
・カウンター取付け形
○耐寒水栓（吊コマ） ・湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。
排水口は（○目皿 ・鎖付きゴム栓）とする。
和風大便器の防火区画貫通処理は標準図による。

●給水設備

①

・配管材料

2. 引き込み納付金

3. 量水器

4. 量水器併

⑤

・水栓柱

⑥

・管の地中埋設深さ

⑦

・凍結深度

1) 一般配管 ・ステンレス鋼管（SUS304）
○耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管
・塩ビライニング鋼管（・VA又はVB ・ ）
・ポリ粉体鋼管（・PB ・ ）
上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はPD又はVDとする。
2) 地中埋設配管・ステンレス鋼管（SUS316）（・建物内 ・屋外部分）
○ポリエチレン管（屋外埋設部分）
3) 水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、1)及び2)による。
・要（ ・本工事 ・別途工事） ・不要
親メーター（ ・貸与品 ・ ） 親メーターの形式（ ・直読 ・パルス）
子メーター（ ・買取り ・ ） 子メーターの形式（ ・直読 ・パルス）
・水道事業者指定品（ ・貸与品 ・買取り） ・標準図MC形（子メーター用）
・合成樹脂製 ○ステンレス製 ・人造石とぎ出し製 ・アルミニウム合金製
○埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より○600mm ・ mm）以上
その他の部分では管の上端より（ ・300mm ○600mm）以上
屋外配管の凍結深度は 600mm

●排水設備

①

・配管材料

2. 洗面器等の排水管

3. 放流納付金

4. 満水試験機手

1) 屋内 汚水管 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・
○硬質ポリ塩化ビニル管（○VP ・VU ）※地中配管
・耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（ ・VP ・VU ）※地中配管以外
雑排水管・通気管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・
○硬質ポリ塩化ビニル管（○VP ・VU ）※地中配管
・耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（ ・VP ・VU ）※地中配管以外
ポンプアップ排水管 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・配管用炭素鋼鋼管（白）
・硬質ポリ塩化ビニル管（ ・VP ・VU ）
衛生器具廻り ○ビニル管 ・鉛管
2) 屋外 第1樹以降及び樹間○硬質ポリ塩化ビニル管（○VP ・VU ）
・
1) 洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。
2) 給湯室台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管でもよい。
・要（ ・本工事 ・別途工事） ・不要
立管の各階1ヶ所に取り付ける。

○給湯設備

1

・配管材料

2. 保温

3. その他

給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む）
・ステンレス鋼管（SUS304） ・銅管 ・保温付き被覆鋼管
・耐熱性ライニング鋼管 ・被覆鋼管 ・外周断熱付ポリエチレン管（温泉パイプ）※地中配管
標準仕様書第2編3.1.5によるほか、下記による。
・湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は表2.3.5のh・(h)・IXの保温を行う。
電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。

●循環水処理装置設備

①

・配管材料

1) 循環水配管 ・ステンレス鋼管（SUS304）
○耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管
2) 臭突管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・
○硬質ポリ塩化ビニル管（○VP ・VU ）
1) 循環水配管 ○耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管
・

C.高山市特記事項

①

下請契約について

本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」(平成30年4月1日施行)に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。
下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。
②使用資材について
本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」(平成30年4月1日施行)に基づき、当該契約の相手方は、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあっては、岐阜県産）を選定するよう努めること。
③実施状況の提出について
受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
④工事着手前協議について
1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。
2) 協議にあたっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。
3) 協議にあたって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。
4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。
⑤電子メールの利用
本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。
⑥ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について
1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。
2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には、協力すること。
⑦工事書類の簡素化について
1) 実施にあたっては、市の基準に準じ簡素化に取り組むこと。
⑧施工中の安全確保
1) 「建築基準法」「労働安全衛生法」その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編」に従うとともに「建築工事安全施工技術基準指針」を参考に施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
2) 安全委員会の組織を構成するとともに、「日常活動（安全朝礼・ミーティング・KY活動・工事打ち合せ等）」及び「月例行事（安全パトロール・安全協議会・安全大会等）」の実施と記録を行うこと。
⑨事故報告
工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。
⑩重点監督対象工事
当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。
⑪提出書類・完成図等
高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。
○作成する ・作成しない
○完成図 提出部数 各2部（A2各2部 製本及び電子媒体（CD－R））
○施工計画書 提出部数 各1部
○施工図 提出部数 各1部
○安全に関する資料 提出部数 各1部
発注図としてCAD製図基準に基づいたCADデータの貸与を受けた場合は、完成図をCADデータで納品すること。なお、完成図として提出する図面については、監督員の指示によるものとする。
⑫写真等
(1)工事写真
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和5年版・同解説「工事写真の撮り方（建築設備編）」）による他、監督員の指示により撮影し提出する。
(2)完成写真
下記のを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

15A～80A	撮影箇所数	提出部数	原版の大きさ（mm）
・カラー ・キャビネ版 ・べた焼 (他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出)	外部（ ） 内部（ ）	2部	・100×125以上
・カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ） 内部（ ） 監督員の指示による	2部	
・電子データ	外部（ ） 内部（ ）	2部	・200万画素以上 ・300dpi以上

⑬週休二日制工事の実施
○実施する ・実施しない
実施する場合は完全週休二日制工事（現場閉所）とする。詳細は「高山市発注の建設工事に係る週休二日制工事実施要領」に従うこと。
⑭その他
1) 本工事は公共施設内において施工をするものであるから、利用者への危険防止には細心の注意を払うこととはより、仮設並びに施工方法について、監督員及び施設管理者と充分協議の上、施工すること。

D.工事区分	注記：各工事の関連工事施工区分は下記によるも、各工事請負業者、監督員と打合せを行い施工の事。				
工事区分表	建築	電気	機械	別途	
設備用スリープ入れ		○	○		
設備用スリープ構造補強	○				
設備用スリープ防水処理	○				
天井・壁埋込器具切込補強		○	○		
壁取付器具下地補強		○	○		
天井裏・壁内点検口	○				
設備換気ガラリ					
設備機械用基礎（コンクリート製）	○				
設備機械用基礎のアンカーボルト	○				
防火区画貫通処理					
壁樋及び排水ドレイン	○				
壁樋以降の排水処理			○		
側溝及び集水溝					
集水溝以降の排水処理					
設備機器の二次配線	○				図中明記のあるもの
トイレ手摺			○		
化粧鏡			○		
キッチン					
手洗シンク（家具）					
陶器製衛生器具			○		
循環水処理装置	○				
同上二次側配管	○				図中明記のあるもの（屋内露出配管）
同上二次側配管			○		図中明記のあるもの（地中・屋外露出配管）
同上用一次側電源		○			
換気機器類			○		
同上用一次側電源		○			

暖房・換気 機器一覧表

記 号	名 称	仕 様	消費電力	男子トイレ	多目的トイレ	循環処理装置	女子トイレ	計
EH-1	電気暖房器	遠赤外線輻射式、壁掛けコーナ－形、防湿加工、放熱量：3600KJ／h、附属品：サーモスタット（本体組込）、取付金具、	1φ100V 1.0kw	－	－	1	－	1
EH-2	電気暖房器	遠赤外線輻射式、壁掛けコーナ－形、防湿加工、放熱量：2880KJ／h、附属品：サーモスタット（本体組込）、操作部カバー、取付金具、	1φ100V 0.8kw	－	1	－	－	1
EH-3	電気暖房器	遠赤外線輻射式、壁掛けコーナ－形、防湿加工、放熱量：1800KJ／h、附属品：サーモスタット（本体組込）、操作部カバー、取付金具、	1φ100V 0.5kw	1	－	－	1	2
FE-1	壁付換気扇	φ200×480m3／h、インテリア形、格子ルーバー、電気式シャッター、附属品：取付木枠、SUS製屋外フード（防鳥網付）、	1φ100V 13.5w	－	1	－	－	1
FE-2	パイプファン	φ150×100m3／h、壁取付、格子ルーバー、電気式シャッター、附属品：取付パイプ、SUS製深形パイプフード（ガラリ付）、	1φ100V 7.9w	1	－	1	1	3
OA-1	自然給気口	φ150、角形・天井取付、ネットフィルター付、風量調節付（全閉可）、SUSパイプフード（深形・防虫網付）、		－	－	1	－	1

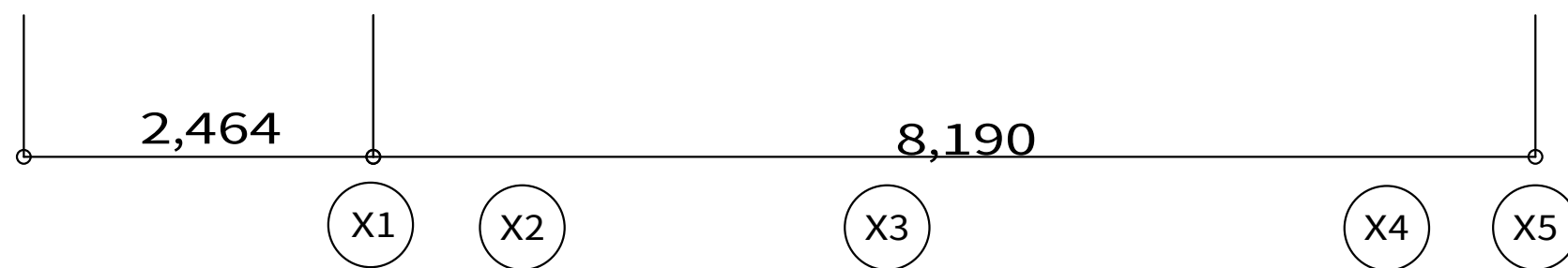
※屋外フード・パイプフードは指定色焼付塗装仕上げとする

衛生 機器一覧表

名 称	記 号	仕 様	消費電力	参考品番（TOTO）	参考品番（LIXIL）	男子トイレ	多目的トイレ	循環処理装置	女子トイレ	掃除流し	計
腰掛便器	C-1	再生水対応、パブリック向け、床置床排水便器、掃除口付き、タンク式（手洗い無）、金具一式、 温水洗浄暖房便座（蓋なし・発電式リモコン（洗浄・操作））、棚付二連紙巻器（SUS製）、	1φ100V 350w	CS597BCS、SH596BAYR、TCF553AUY、 TH484V3、YH701、	BC-P20SUM、DT-PA250UWCH、CF-008-1、 CW-PA21ALQF-NEC-R1、CF-63HS、	－	1	－	－	－	1
腰掛便器	C-2	再生水対応、パブリック向け、床置床排水便器、掃除口付き、タンク式（手洗い無）、金具一式、 温水洗浄暖房便座（蓋あり・本体操作）、棚付二連紙巻器（SUS製）、	1φ100V 350w	CS597BCS、SH596BAYR、TCF589AUR、 TH484V3、YH701、	BC-P20SUM、DT-PA250UWCH、CF-008-1、 CW-PB21A-NE、CF-63HS、	1	－	－	1	－	2
壁掛洗面器	L-1	壁掛形（オーバーフロー付）、自動単水栓（床給水・止水栓付）、排水金具（床排水）、取付金具、	1φ100V	L270DM、TLE28SS1A、T6BR、TLDS2105JA、 T156PH、TL220D、TS126AR、	L-275N、AM-300CV1、LF-105SAL、A-6224、 SF-10E、KF-30DN、KF-24F、	－	1	－	－	－	1
壁掛手洗器	L-2	コンパクト形、自動単水栓（止水栓付・床給水）、排水金具（床排水）、水石けん入れ、	1φ100V	LSE870BSMS、	L-A74TA2B、	1			1		2
壁掛手洗器	L-3	丸形、自動単水栓（止水栓付・床給水）、排水金具（床排水）、	1φ100V	LSA90ABS、	AWL-71U2AM（S）（100V）、	－	1	－	－	－	1
オストメイトバック	SK-1	再生水対応、ロータンク式、シングルレバー水栓、水石けん入れ、※電温なしとし、給水のみ接続、	1φ100V	UAS82RNB2N、UTR141、	PTOM-B210-C、PTOM-ESCR、	－	1	－	－	－	1
掃除用流し	SK-2	バック付、リムカバー、20mm送り座付横水栓、アングル形止水栓（給水ホース）、 床排水金具（トラップ無）、取付金具、		SK22A、TK22、T23AE20C、TN114、 T37SGEP（トラップ無）、T9R、	S-202A、LF-7E-19-U、SF-202、 SF-20SAF-P（トラップ無）、SF-10E、	－	－	－	－	1	1
背もたれ	BR-1	ハードタイプ、背もたれ：FRP製、フレーム：ステンレス（塗装仕上げ）、		EWC285CS、	KFC-271T1U2、	－	1	－	－	－	1
L型手すり	TR-1	樹脂被覆タイプ、800×800×230、固定金具、		T112CL11、	KF-926AE80D25J／WA、	－	1	－	－	－	1
L型手すり	TR-2	樹脂被覆タイプ、700×700×120、取付金具、		T112CL10、	KF-920AE70D12J／WA、	1	－	－	1	－	2
はね上げ手すり	TR-3	樹脂被覆タイプ、700L、紙巻器付、固定金具、		T112HP7、	KF-481EHP70J／WA、	－	1	－	－	－	1
化粧鏡	M-1	450×1000、取付金具、		YM512、	KF-5010AG、	－	1	－	－	－	1
化粧鏡	M-2	350×450、盗難防止形、取付金具、		YM3545AE、	KF-3545、A-669-1、	1	－	－	1	－	2
ベビーチェア	BC-1	平壁設置タイプ、		YKA15S、	AC-BK-F62、	－	1	－	－	－	1
多目的シート	MS-1	収納式、グリップ付、		EWC520ARN、	AC-US-41、	－	1	－	－	－	1
フィッティングボード	FB-1	収納式、		YKA41R、	AC-CB-14、	－	1	－	－	－	1
幼児用便座	－	取っ手付き		TC51	－	－	1	－	－	－	1
掃除用水栓	F-1	ホース接続形横水栓、		T28AUNH13、	LF-35-13-U、	1	1	1	1	－	4

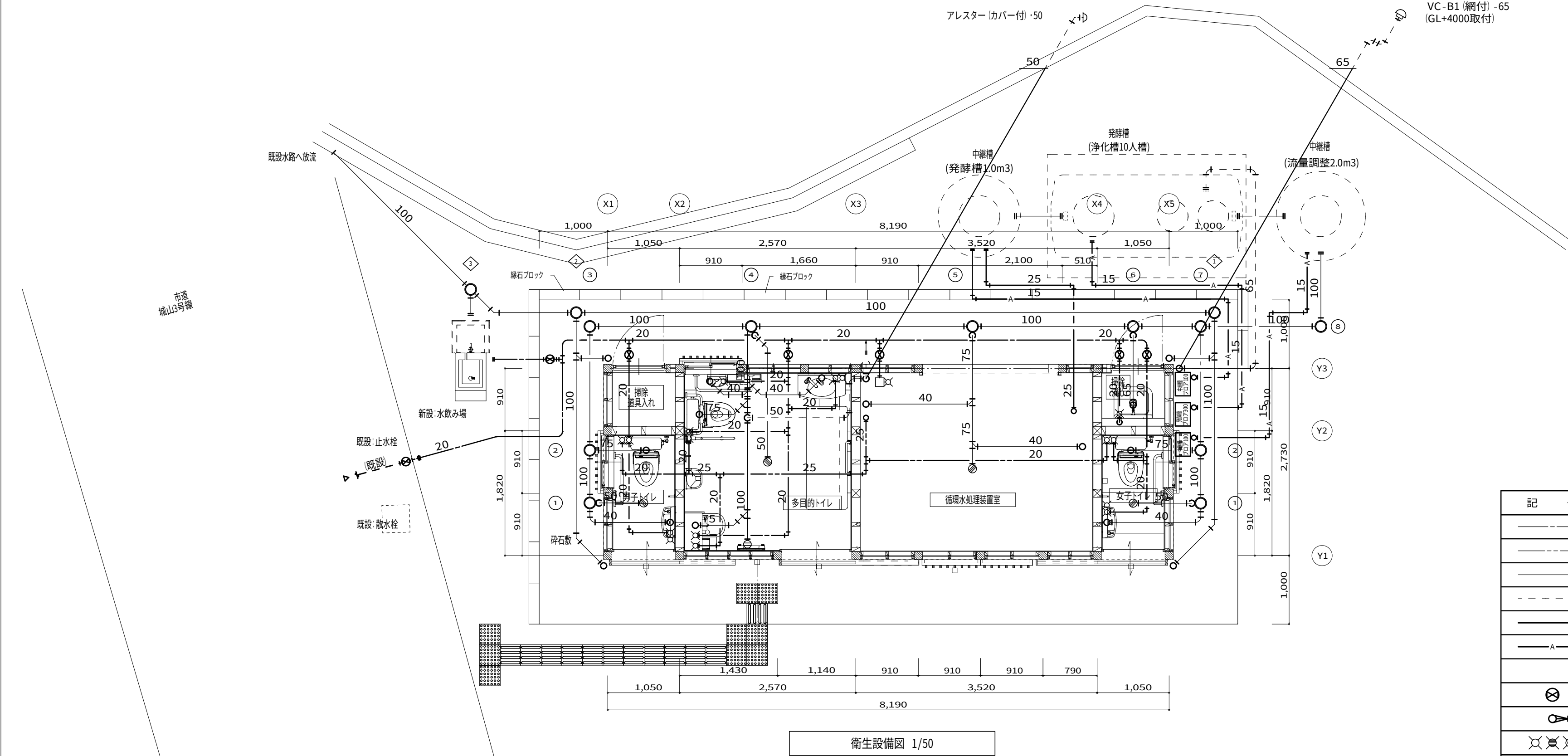
原設計図
[A2]
A2→A3
(70.7%縮小)

工 事 名	城山公園（金竜ヶ丘）公衆便所改築工事		
図 名	機械設備 機器・器具一覧表		
縮 尺	－	番 号	29枚の内 27号
設 計 年月日	令和 8 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	配置図・空調設備図		
縮 尺	1:100	番 号	29枚の内 28号
設 計 年月日	令和 8 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



衛生設備図 1/50

図中凡例

記 号	名 称	備 考
	給水管 (上水)	破線は既設配管を示す
	給水管 (中水)	
	排 水 管	雨水管含む
	通気・臭突管	
	循環水処理管	移送
	ブロー管	
	井 類	埋設井
	井 類	
	水 栓 類	
	床掃除口	
	排 水 金 具	

樹 類 一 覧 表				
記号	名 称	形 状	深 さ	蓋
①	塩ビインバート樹	UT:100-150	400H	塩ビ・ミカケ
②	"	90Y:100-150	430H	"
③	"	90L:100-150	470H	"
④	"	Y-UT:100-150	500H	"
⑤	"	UT:100-150	530H	"
⑥	"	UT:100-150	570H	"
⑦	"	90Y:100-150	600H	"
⑧	"	90L:100-150	640H	"
◇	塩ビ雨水樹	90L:100-150	350H	塩ビ・ミカケ
◇	"	90Y:100-150	460H	"
◇	"	45Y:100-150	480H	"

※ 樹の深さは参考とする。

不凍バルブ		
水飲み場	600L-20	1
男子トイレ	600L-20	1
多目的トイレ	600L-20	1
循環水処理装置室	600L-20	1
掃除流し	600L-20	1
女子トイレ	600L-20	1
井樹	VC-P	6

男子トイレ		
排水金具	C-50	1

多目的トイレ		
床掃除口	COA100	1
排水金具	C-50	1

循環水処理装置室		
水栓柱	YT13-15F	1
排水金具	C-80	1
排水ホッパー	65x40	2

掃除流し		
配管凍結防止ヒーター	自己制御型-1.5m	1
蛇口凍結防止ヒーター	セラミック・カバー付	1
サーモスタット	ヒーター制御用・2口	1

女子トイレ		
排水金具	C-50	1

工 事 名	城山公園(金竜ヶ丘)公衆便所改築工事		
図 名	衛生設備図		
縮 尺	1 : 50	番 号	29枚の内 29号
設 計 年月日	令和 8 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

原設計図
[A2]
A2→A3
(70.7%縮小)